

令和6年度

事業報告書

ふれあいネットワーク

社会福祉法人



北九州市社会福祉協議会

目 次

令和6年度事業報告

事業の総括	1
事業報告	2
基本目標Ⅰ 福祉の風土を広げ、地域の困りごとに気付く力を高めよう ～見守りのしくみの充実～	
＜目標達成のための取組＞	
1 福祉の心を広げよう	2
2 福祉を学び、福祉の仲間を育もう	3
3 見守る力を高めよう	6
4 困りごとを受け止める場をつくろう	7
基本目標Ⅱ 住民、関係機関・団体のネットワークで困りごとを話し合おう ～話し合いのしくみの充実～	
＜目標達成のための取組＞	
1 困りごとを話し合う場をつくろう	9
2 住民、関係機関・団体でつながろう	9
3 困りごとを解決するしくみをつくろう	11
4 未来に向けた活動を考えよう(調査・研究・提言)	11
基本目標Ⅲ 一人ひとりの困りごとを助け合おう ～助け合いのしくみの充実～	
＜目標達成のための取組＞	
1 生活の困りごとを助け合おう	13
2 ボランティア・市民活動をすすめよう	14
3 安心な暮らしを守ろう(権利擁護)	16
4 社会参加・自立をすすめよう	18
5 災害時に備えよう	20
6 活動のための財源をつくろう	21
常設委員会及び組織体制の強化	23

事業の総括

令和 6 年度は、本会の基幹事業である「ふれあいネットワーク活動」が始まって 30 周年にあたり、北九州市社会福祉大会はふれあいネットワーク活動の 30 年を振り返るとともに、次世代へ繋ぐことをテーマに開催しました。

若年層など多くの方に福祉への関心を持ってもらうための取組として、初めて「北九州ゆめみらいワーク 2024」に出展し、若手職員が中心となって本会の PR や災害派遣の報告、福祉教育の紹介を行い、2 日間で延べ 521 名の中高生にブースを訪問していただきました。

また、大学生と連携した福祉教育の取組では、令和 5 年度の福祉教育プログラム作成に続いて、令和 6 年度は遊びの要素を取り入れた福祉教材を開発し、それらを活用して、学校や地域団体など 31 校（団体）で 52 のメニューを実施しました。

誰もが最後まで安心して自分らしく生きるための終活を支援する取組では、死後事務委任契約事業に向けた体制整備を進めました。また、行政主催の「終活在り方検討会」や、民間企業が開催した「終活フェア」に参加するなど、本会の役割を踏まえた「終活」事業に取り組むとともに、広報啓発活動にも努めました。

災害時の対応では、令和 6 年元日の能登半島地震で大きな被害を受けた珠洲市へ本会職員延べ 11 人を派遣して、災害ボランティアセンターの運営支援を行いました。また、本市での災害発生に備えた様々な環境整備に取り組みました。

年長者研修大学校およびウェルとばたの指定管理事業においては、これまでの実績と今後の提案が評価され、令和 7 年度からの次期指定管理者に選定されました。

さらに、既存の事業活動を見直し、組織としての意識改革を図り、具体的な戦略を持った経営の実現を目指すための「中期経営計画」を初めて策定しました。策定の過程で明らかになった課題の解決に取り組みながら、本会が中心となって策定している「地域福祉活動計画」と「中期経営計画」を本会の指針の両輪として、「地域共生社会」の実現に向けた地域福祉の一層の推進に努めてまいります。

令和6年度 事業報告

基本目標Ⅰ

福祉の風土を広げ、地域の困りごとに気付く力を高めよう
～見守りのしくみの充実～

◆基本項目1 福祉の心を広げよう

(1) 北九州市社会福祉大会の開催（ふれあいネットワーク活動30周年記念大会） 【全部署】

「ふれあいネットワーク活動」の30周年を記念した動画上映や、様々な世代の活動者を招いてのパネルディスカッションを実施し、活動への理解を深め、活動を次世代へ繋ぐことへの意識の醸成を図りました。

また、永年にわたり社会福祉の発展に功績等のあった方々に感謝と敬意を表し、社会福祉に関する課題の解決に向けた決意を新たにするために開催しました。

①表彰記念式典

開催日：令和6年10月22日

場 所：ウェルとばた3階 大ホール

参加者：418名

②ふれあいネットワーク活動30周年記念動画の一部上演

内 容：「ふれあいネットワーク活動とは」

「ふれあいネットワーク活動のあゆみ」

③パネルディスカッション

テーマ：「ふれあいネットワーク活動30周年を迎えて

～共に生きるまちづくりの原点とつなぎたい未来へ～」

パネラー：木屋瀬校区社会福祉協議会 会長 福原 武 氏

吉田校区社会福祉協議会 山田 美恵 氏

北九州市立大学 地域創生学群 島田 綺音 氏

正岡 すみれ 氏

(2) 広報紙やSNSを活用した情報発信 【全部署】

<資料編：P4 参照>

広く市民に福祉情報を届けるため、「北九州市社協だより」及び「区社協だより」を発行しました。また、LINE とインスタグラムの公式アカウントを作成し、SNS による情報発信を開始しました。

① 「北九州市社協だより」公式LINE にて月2回配信

② 「区社協だより」（各区2～4回）

③ ホームページによる情報発信（適宜）

(3) 北九州ゆめみらいワーク 2024 への参加

【全部署】

市社協のブースを設置し、若手職員が中心となって本会の PR や災害派遣の報告、福祉教育の紹介を行いました。来場した中高生のうち、2 日間で延べ 521 名の学生に訪問していただきました。

(4) 企業・事業所への社協活動 PR の促進

【活動推進課・区事務所】

<資料編：P67 参照>

「北九州市社協だより」の『企業の社会貢献活動』コーナーにおいて、2 社の企業の取組を掲載し、企業等の社会貢献活動を PRすると同時に、社協活動への関心を高めました。

(5) ボランティア啓発事業の開催

【活動推進課】

<資料編：P70～72 参照>

「地域共生社会」の実現に向けて、「学びと発信の場」を基本コンセプトに、「ボランティアウィーク」を開催しました。「北九州市社会福祉大会」や「ウェルとばた秋まつり」と一体的に運営し、様々な世代の参加者に福祉やボランティア・市民活動への関心を深めてもらうとともに、日頃から取り組んでいるボランティア活動の発信を行いました。

○開催日：令和6年10月22日～26日

○主な内容：講座（6回）、能登半島地域での災害支援活動報告、ミニステージ、活動支援バザー、クイズ・スタンプラリー、活動紹介体験コーナー、福祉車両展示・体験コーナー、パネル展・スライド映像による活動紹介、フードドライブ、おもちゃ病院

○延参加者：616人（講座・イベント延べ参加人数）

◆基本項目2 福祉を学び、福祉の仲間を育もう

(1) 地域福祉人材の育成

【活動推進課・区事務所】

<資料編：P75～78 参照>

本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向け、ボランティア活動の推進や地域福祉の向上を目指し、関係機関・団体と連携し、延べ1,263人に対し研修を実施しました。

また、「市民講演会」では、終活をテーマに、誰もが安心して老いを迎え生きいきと暮らすために必要な備えや、エンディングノートの活用法について学ぶとともに、「ふれあいネットワーク活動」の紹介を行い、参画のきっかけを提供しました。

○延べ研修参加人数

	R2	R3	R4	R5	R6
開催回数	53	42	39	39	23
延開催日数	74	63	57	59	36
延べ参加人数	2,174	1,781	1,853	1,956	1,263

(2) 研修企画や情報発信、活動に関する調査研究

【活動推進課】

各研修でのアンケートの結果を今後の研修企画に活かすとともに、新たな人材発掘等を目指している「ふくしのまちづくり講座」では、研修実施後、受講者の活動状況等を調査・把握し、区事務所とも共有して研修企画に活かしました。

また、市民生委員・児童委員協議会をはじめ行政や自治会等の研修企画の支援や、他県の社会福祉協議会へ講師の紹介を行いました。(7件)

(3) ICTを活用した研修の開催

【活動推進課】

「地域福祉活動指導者研修『トップセミナー』」と「校(地)区社会福祉協議会新任役員研修」については、ICTを活用し、対面型と動画配信を併用することで幅広い年代の方が参加しやすいよう環境を整えて実施しました。

(4) ウェルクラブ活動の実施

【地域支援課・区事務所】

<資料編：P15 参照>

子どもたち(主に小学4～6年生)が、「ふれあいネットワーク活動」等の校(地)区社協の地域福祉活動を体験する取り組みを校(地)区社協と連携して実施しました。

	R2	R3	R4	R5	R6
取組校(地)区社協数	14	18	33	44	50
参加児童数	689	788	1,192	1,766	1,887

(5) 小・中学生向けの福祉教育プログラム実施

【地域支援課・活動推進課・区事務所】

施設や企業等と協働し、小・中学校やウェルクラブ活動で実施する福祉教育プログラム「ふくしの出前授業」を実施するとともに、北九州市立大学の学生と連携し、遊びの要素を取り入れた福祉教材を開発しました。学校や地域と連携し、子どもたちの多様性を認め合う力を醸成する52のメニューを31箇所の団体・学校で実施しました。

	R6
ふくしの出前授業実施校(団体)数	31
ふくしの出前授業実施メニュー数	52

また、車いす体験や高齢者疑似体験などの福祉教育を行い、学校や地域で実施する際の支援を15箇所で行いました。

	R2	R3	R4	R5	R6
福祉教育支援実施件数	8	14	23	18	15

(6) 出前講演活動の実施

【地域支援課・区事務所】

<資料編：P17 参照>

地域住民や地域の関係機関・団体への福祉に関する理解促進を図るため、様々な福祉分野のテーマをとりあげた出前講演を実施しました。

	R2	R3	R4	R5	R6
出前講演回数	51	78	105	140	111
受講者数	1,322	1,923	2,765	4,098	3,532

(7) 認知症サポーター養成講座の実施

【生活福祉課】

<資料編：P36～37 参照>

市民が認知症についての正しい理解と接し方を学び、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらうために認知症を学ぶ講座を開催しました。

また、当年度初の試みとして、夏休み期間に放課後児童クラブに通う小学生に講座を27回開催し、1,366名のキッズサポーターを養成しました。

	R2	R3	R4	R5	R6
養成講座受講者数	1,648	1,776	2,962	4,199	5,833
(累計)	(95,748)	(97,199)	(100,161)	(104,360)	110,193

(8) 「学びと活動のマッチング事業」との協働

【活動推進課】

生涯学習等を受講した後、学んだ成果の活用を希望する人にボランティア・市民活動のコーディネートを行いました。

(9) ボランティア体験学習の実施

【活動推進課】

夏休み期間中に中・高校生を対象とした「保育所での夏ボランティア体験学習」を実施しました。(24人/19施設)

また、小学校4年生～中学3年生の児童・生徒とその保護者を対象に親子手話体験教室を開催し、6家族12人が受講しました。

(10) 年長者研修大学校の運営による高齢者の社会参加支援

【周望・穴生】

<資料編：P79～90 参照>

周望学舎・穴生学舎それぞれ年間コースを15コース設定し、高齢者の「生きがい・健康・仲間づくり」を進めました。また、学舎で学んだ成果を地域社会で生かせるよう様々な情報と機会を提供しました。

	R2	R3	R4	R5	R6
周望学舎研修生数(延べ)	5,152	10,807	15,820	14,839	14,040
穴生学舎研修生数(延べ)	4,261	8,209	12,710	12,653	13,757
合 計	9,413	19,016	28,530	27,492	27,797

※R2、R3 は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時休館。

(11) 穴生ドームの運営

【穴生】

<資料編：P82～84 参照>

高齢者をはじめとした一般市民の施設利用促進の他、穴生ドームの利用を利用者指導員による研修生に対する体育授業や、健康増進や生活習慣病予防に資する事業を実施しました。

	R2	R3	R4	R5	R6
年間利用者数（人）	37,497	10,436	3,752	25,471	92,234

◆基本項目3 見守る力を高めよう

(1) ふれあいネットワーク活動推進事業における「見守り活動」の支援

【地域支援課・区事務所】

<資料編：P13～14 参照>

校(地)区社協の見守り活動の充実に向け、近隣圏域の設定や民生委員・児童委員との連携体制づくりに加え、基本台帳の整備等における個人情報保護の理解の促進を図るなど、校(地)区社協の活動状況に応じた支援を行いました。

	R2	R3	R4	R5	R6
福祉協力員数	6,750	6,652	6,450	6,328	6,203
見守り対象世帯	136,262	135,812	132,844	133,382	131,547

(2) 市・区民児協事務局の運営

【自立支援課】

<資料編：P27 参照>

民生委員・児童委員活動を行う上での課題解決や情報共有のための各種役員会の開催を支援するとともに、活動歴に応じた研修会を開催しました。

○事務局の運営（会議：29 回、研修会 4 回）

○民生委員互助共励事業

（弔慰金・見舞金等の支給、指定地区民児協事業：2 地区）

(3) 高齢者見守りサポーター派遣事業の実施

【生活福祉課】

<資料編：P38～40 参照>

認知症等により見守りが必要な在宅高齢者を介護する家族などの負担を軽減するため、その居宅に「見守りサポーター」を派遣し、利用者に寄り添った見守りや話し相手などを行いました。また、新規サポーターを 12 名養成しました。

○利用登録者 28 人、延べ利用者 85 人、サポーター56 人、派遣延べ 379 回

◆基本項目4 困りごとを受け止める場をつくろう

(1) 地域でつながるサロン活動の運営支援【地域支援課・活動推進課・区事務所】

<資料編：P15・66 参照>

校(地)区社協等が取り組むサロンの開設や運営支援を行いました。社会福祉施設等関係機関・団体と連携し、講師派遣、会場確保などの支援のほか、「住民主体による生きがい・健康づくりの場推進事業（助成金）」の実施による支援を行いました。

○校(地)区社協実施のサロン

	R2	R3	R4	R5	R6
校(地)区社協数	122	118	122	127	129
サロン数	431	395	430	480	500

○住民主体による生きがい・健康づくりの場推進事業

	R2	R3	R4	R5	R6
助成団体数	251	305	369	410	468
助成額	5,251,549	7,360,906	8,904,319	10,395,467	9,799,559

(2) 重層的支援体制の構築に向けた関係機関・団体との連携

【地域支援課・自立支援課・区事務所】

多様化・複雑化した地域生活課題に対し、行政や NP0 等関係機関と連携し、重層的支援体制整備事業への移行準備事業を進める区での取組に参画しました。また、来年度から市内全域での本格実施となるため、行政及び NP0 との協議を重ね、実施に向けた体制づくりを行いました。

(3) 人と人がつながるコーナーづくり、他団体との協働

【ウェルとばた管理課】

音楽や植物を通じ、人と人が緩やかにつながるコーナーとして交流プラザを活用した「ウェル・まちかどピアノ」の実施（全 24 回、延 217 人）や入居団体の協力により「ウェル花壇」を設置しました。

また、学生（主に中学生・高校生）が自由に集える場所を「若者のたまりば」として、多目的ホールの利用可能日にスペースを提供するとともに（全 30 回、延 104 人）、「ウェルカム地域食堂」の運営支援や「障害者芸術祭」の参画等、他団体との連携、協働を推進しました。

(4) 子どもの居場所づくり応援基金の運営

【財務企画課・活動推進課】

<資料編：P6～7 参照>

市内の子ども食堂を支援するために設置した基金を原資として、子ども食堂の開設・運営等に対する助成を、関係機関と連携して実施しました。

また、食材確保や運営協力者についての情報提供による支援を行いました。

○寄付（件数：121 件（うち 2 件は物品）、総額 49,030,085 円）

○助成（件数：58 か所、総額 5,800,550 円）

	R3	R4	R5	R6
寄付金	7,050,321	36,388,558	34,851,329	49,030,085
寄付件数	89 件	137 件	115 件	121 件

(5) 介護サービス相談員派遣事業の実施

【生活福祉課】

<資料編：P46～49 参照>

介護サービスの質の向上を図ることを目的に、相談員を介護事業所に派遣し、入所者や家族から介護サービスの疑問や不安、不満等を聞き、相談者に代わり事業所にサービス向上、改善に結びつく提案などを行いました。

○登録 84 事業所のうち 73 事業所に 897 回訪問

基本目標Ⅱ

住民、関係機関・団体のネットワークで、困りごとを話し合おう ～話し合いのしくみの充実～

◆基本項目1 困りごとを話し合う場をつくろう

(1) ふれあいネットワーク活動推進事業における「話し合い活動」の支援

【地域支援課・区事務所】

校(地)区社協が実施する連絡調整会議の定例開催に向けた支援や関係機関・団体、専門職等の参加を促進しました。また、住民の困りごとの共有や解決に向けた協議が行われるよう、校(地)区社協会長会議や研修等の開催を通して連絡調整会議の運営支援を行いました。

○月1回または2か月に1回定期的に連絡調整会議を開催する校(地)区社協

	R2	R3	R4	R5	R6
校(地)区社協数	-	127	131	126	126

(2) 生活支援体制整備事業の実施

【地域支援課・区事務所】

<資料編：P19～21 参照>

各区事務所に地域支援コーディネーターを配置し、各区保健福祉課いのちをつなぐネットワーク担当係長、地域包括支援センター職員等と連携し、担当校(地)区における活動状況や課題、地域資源の把握・情報共有を行い、第2層協議体の運営支援及び支援状況の可視化を図りました。

	R2	R3	R4	R5	R6
地域会議などへの参加回数	1,549	1,794	2,534	3,053	2,876
協議体への運営支援回数	273	294	436	359	423

◆基本項目2 住民、関係機関・団体でつながろう

(1) 「地域における公益的な取組」の推進

【地域支援課・区事務所】

<資料編：P25～26 参照>

「地域における公益的な取組」の充実及び社会福祉施設と社協の相互理解を進めるため、社会福祉施設と校(地)区社協のコーディネートを行い、地域に寄り添った取り組みを進めました。

○校(地)区社協と社会福祉施設の連携した取組

	R2	R3	R4	R5	R6
校(地)区社協数	17	31	37	43	44
社会福祉施設数	21	37	42	48	47

(2) 各種別社会福祉施設協議会連絡会の開催

【地域支援課】

<資料編：P25～26 参照>

市内の各種別社会福祉施設協議会の代表者や実務者が集まる連絡会を開催し、施設運営の情報交換、種別を超えた社会福祉施設協議会間の連携体制づくりを進めました。

また、令和7年度の大都市社会福祉施設協議会（北九州市大会）開催に向けて、関係都市と合同会議を開催しました。

○社会福祉施設協議会連絡会

（大都市社会福祉施設協議会実行委員会：3回）

参加団体：北九州高齢者福祉事業協会、北九州市障害者施設協議会

北九州市保育所連盟、北九州市障害児施設連盟

北九州市児童養護施設協議会、北九州市立母子生活支援施設

(3) 民間社会福祉事業従事者共済事業の実施

【地域支援課】

<資料編：P24 参照>

民間社会福祉事業従事者の福利増進を目的として、脱退一時金の支給等の共済事業と、給付事業やスポーツ観戦、優待食事券等の福利厚生事業を実施しました。

(4) 北九州市社会福祉法人地域協議会の運営

【地域支援課】

<資料編：P25 参照>

「地域公益事業」を実施するための「社会福祉充実計画」を策定した社会福祉法人はなかったため、地域住民その他関係者から地域における福祉ニーズの意見聴取を行うとともに、地域福祉課題の共有とその解決に向けた協議を行いました。

(5) 地域生活課題解決に向けたソーシャルワーク研修の開催

【地域支援課】

<資料編：P26 参照>

ソーシャルワークの基礎知識、個別支援から地域づくりへの展開について、多職種で連携・協働しながら地域生活課題の解決に取り組む研修を実施しました。また、研修後の参加者の連携状況や実践状況の調査を実施しました。

○2回開催 55人参加

(6) 校(地)区社協とNPO法人等との連携の促進

【地域支援課・区事務所】

NPO関係者を把握する中間支援組織から、地域での活動を希望する団体の情報を収集し、ウェルクラブ活動における課題や多頭飼育問題の解決を図るため3校(地)区社協と連携した取組をモデル的に実施しました。

(7) 北九州市孤独・孤立対策等連携協議会への参画

【地域支援課】

社会的な孤独・孤立の問題に対して、官民の関係団体が連携・協働し、取組を進める連携協議会に参画しました。5月の強化月間には、北九州市民生委員児童委員協議会及び北九州市老人クラブ連合会と連携した広報活動を実施し、HP

や SNS で周知・啓発を図りました。

また、連携協議会に関わりのあるフードサポート北九州実行委員会にも参画し、会議への参加やウェルとばたを会場とした地域交流型フードサポート事業を実施しました。

(8) 中間支援組織連絡会への参加

【活動推進課】

<資料編：P64～65 参照>

様々な立場でボランティアや市民活動を育成・支援している 6 団体との連絡会に年間 2 回参加しました。

(9) 市・区域でのボランティア・市民活動ネットワークの構築

【活動推進課・区事務所】

<資料編：P70 参照>

区ボランティア連絡協議会の支援や各区のボランティアから選出された委員によって企画・運営を行う「ボランティアウィーク」の開催などを通じ、市・区域で活動するボランティアグループや市民活動団体同士をつなぎ、活動の活性化を図りました。

◆基本項目3 困りごとを解決するしくみをつくろう

■(1) 小地域福祉活動計画の策定・推進支援

【地域支援課・区事務所】

<資料編：P15～16 参照>

地域住民が地域の様々な福祉課題を見つけて解決していくため、校(地)区社協に小地域福祉活動計画の策定を呼び掛け、新規策定校(地)区への支援や、計画推進の支援を行いました。

○小地域福祉活動計画を策定済校(地)区社協数

	R2	R3	R4	R5	R6
校(地)区社協数	51	59	95	123	137

◆基本項目4 未来に向けた活動を考えよう(調査・研究・提言)

(1) 総合企画委員会の開催

【地域支援課】

<資料編：P115 参照>

「北九州市地域福祉活動第六次計画」の点検・評価及び推進に向け、計画実施の 4 年目では関係機関・団体も含め、これまでの計画推進における成果や課題を共有し、それを踏まえた最終年度の取組や次期計画策定に向けた協議を行いました。

(2) 地域支援力の充実・強化

【地域支援課・区事務所】

区事務所が行う各校(地)区社協への活動支援内容等について、学識経験者等による意見や助言、研修を通して地域支援力の向上を図りました。

(3) 研修受講後の活動実態の追跡調査

【活動推進課】

ふくしのまちづくり講座において、研修実施の翌年に前年度受講者の活動状況等を追跡調査し、調査結果の内容や課題の分析を行い、研修企画に活かしました。

調査により、講座終了後、福祉協力員をはじめとした新たな活動の担い手が13名、協力施設職員5名、協力企業1社が地域福祉活動に加わったことがわかりました。

(4) ボランティア・市民活動実態調査

【活動推進課】

ボランティアグループがボランティア活動保険加入の際に記入する「ボランティアグループ調査票」を基にボランティア・市民活動実態調査を行いました。
(対象グループ数612)

(5) 「希望のまちプロジェクト」への参画

【地域支援課】

認定 NPO 法人「抱樸」が取り組む地域共生社会の拠点施設開設に向けた「希望のまちプロジェクト」に参画し、各種団体との連携、協働による取組に向けた協議を行いました。

基本目標Ⅲ

一人ひとりの困りごとを助け合おう ～助け合いのしくみの充実～

◆基本項目1 生活の困りごとを助け合おう

(1) ふれあいネットワーク活動推進事業における「助け合い活動」の支援

【地域支援課・区事務所】

<資料編：P14 参照>

校(地)区社協が行っている日常簡易な助け合い活動のしくみづくり等の支援を行うとともに、福祉協力員やニーズ対応員の人材育成・確保に努めました。

	R2	R3	R4	R5	R6
ニーズ対応員数	7,526	7,144	6,874	6,614	6,369
助け合い活動件数	603,869	614,417	655,875	701,956	739,641

(2) 地域生活支援活動推進事業の実施

【地域支援課・区事務所】

<資料編：P22～23 参照>

生活支援ニーズと生活支援活動の需給調整や校(地)区社協活動の充実支援を行う地域生活支援相談員を配置し、地域生活課題に対応しました。

	R2	R3	R4	R5	R6
相談員配置校(地)区数	7	11	15	15	14
相談受付件数	761	867	1,222	1,415	1,477
生活支援活動とのマッチング件数	910	1,102	1,634	2,056	2,596

(3) シルバーひまわりサービスの実施

【活動推進課・区事務所】

<資料編：P69～70 参照>

外出が困難な65歳以上の方を対象に、ボランティアが福祉車両を使用して通院等の外出を支援する送迎サービスを実施しました。

	R2	R3	R4	R5	R6
年間活動件数	1,958	2,532	4,241	4,610	4,628
ボランティア登録者数	889	878	901	939	962
利用登録者数	580	626	747	790	821

(4) 多様な主体によるアウトリーチのしくみづくり

【活動推進課】

連合福岡北九州地域協議会や日本製鉄八幡地区係長連合会等に働きかけ、シルバーひまわりサービスや腕自慢おまかせサービスを通じた地域住民の困りごとを解決するための現役世代のボランティア参加者の拡充に努めました。

(5) 腕自慢おまかせサービスの実施

【活動推進課・区事務所】

<資料編：P70 参照>

生活の中での小さな困りごとの解決をボランティアがお手伝いする腕自慢おまかせサービスを 29 件実施しました。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
実施件数	9	25	62	42	29

(6) 研修を通じた生活支援ボランティアの養成

【活動推進課】

<資料編：P75～78 参照>

ふくしのまちづくり講座や福祉有償運送運転協力者研修等の実施により、「お互い様」の気持ちを持って活躍するボランティアの養成や活動のきっかけづくりを行い、生活支援体制整備の促進に努めました。

○「ふくしのまちづくり講座」の実施（8 校(地)区 16 日 504 人）

○福祉有償運送運転協力者研修（3 回 6 日 83 人）

◆基本項目2 ボランティア・市民活動をすすめよう

(1) ボランティアの人材発掘と育成

① 現役世代のボランティア活動者の拡大

【活動推進課・区事務所】

企業や事業所に向けてボランティア活動へのニーズを周知し、現役世代の活動者によるシルバーひまわりサービスや腕自慢おまかせサービスのボランティア活動に 202 件つながりました。

○シルバーひまわりサービス（連合福岡・北九州地域協議会）199 件

○腕自慢おまかせサービス（日本製鉄係長連合会）3 件

㊦ ② 新たな福祉課題に対応するボランティアの人材発掘と育成

【活動推進課】

<資料編：P75～76 参照>

新たな福祉課題に対応するボランティア・市民活動を推進するため、子どもや障害のある方等への孤立防止のためのボランティア講座を開催し、31 人の方が活動に対する意欲を高めました。

○新たな社会問題に対応する講座

・「子育て支援ボランティア養成講座」（1 回 1 日 30 人）

・「居場所づくりを通じたボランティア養成講座～居場所を通じて若者や認知症の方と介護者を支える～」(1 回 1 日 19 人)

○障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座

・「知的・発達障害のある人へのボランティア入門講座」（1 回 1 日 26 人）

地域の課題解決や助け合い活動推進のための「ふくしのまちづくり講座」を

はじめとした地縁型ボランティア講座を開催し、小地域福祉活動の活性化を図りました。

③ ボランティア・市民活動の増進と人材育成

【活動推進課】

<資料編：P76 参照>

ボランティア・NP0 団体等の活動者や市民を対象に、行政や北九州市市民活動サポートセンター等と連携してボランティアグループ運営研修を実施し、参加者間の情報共有と横のつながりの機会を提供し、プラットフォームとしての役割を果たしました。

○ボランティアグループ運営研修

・「～集まろう・つながろう・学び合おう！ つながりから何ができるかを考えよう～」(1回 1日 14人)

新

④ 地域を支援する役割を担う社協職員の育成 【活動推進課・区事務所】

地域を支援するためのスキルアップ研修を実施し、社協職員が出前講演や福祉教育プログラムなどの人材育成を行う際に必要となる知識やスキルの習得・向上を目指しました。(1回 1日 21人)

(2) 区ボランティアコーディネーターの育成強化 【活動推進課・区事務所】

<資料編：P68 参照>

ボランティアコーディネーター連絡会議を年 7 回開催し、ボランティア活動に関する課題の共有とその解決策の検討などを行い、区ボランティアコーディネーターの資質向上に努めました。

(3) 「支え手」「受け手」を超えた全世代参加のボランティア活動の推進

【活動推進課・区事務所】

<資料編：P68 参照>

年齢や障害の有無等でボランティア活動への参加が制限されることなく、誰もがボランティア活動を通じて、地域や社会に参加することができるようコーディネートを実施しました。

	R2	R3	R4	R5	R6
ボランティア相談・コーディネート件数	21,620	25,089	36,705	35,986	37,890

(4) 地域活動情報支援センターの運営

【周望・穴生】

<資料編：P87～88 参照>

穴生学舎内に併設されている地域活動情報支援センターを中心に、両学舎の研修生や修了生をはじめ市民等へのボランティアコーディネートを行うとともに活動の場を提供しました。

	R2	R3	R4	R5	R6
周望学舎コードィネット件数	25	60	31	25	20
穴生学舎コードィネット件数	64	85	79	55	77
合 計	89	145	110	80	97

※R2、R3、R4 は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動の場が縮小。

◆基本項目3 安心な暮らしを守ろう（権利擁護）

重（１）地域福祉権利擁護事業の実施

【権利擁護課】

<資料編：P50～53 参照>

判断能力が不十分なために、自身では福祉サービスの利用契約や日常的な金銭管理等を適切に行うことが難しい人が、地域で安心して暮らせるように、本人の意思に基づいて支援しました。

	R2	R3	R4	R5	R6
新規契約者数	35	35	43	47	53
契約者実数	297	284	267	257	276

（２）法人後見事業の実施

【権利擁護課】

<資料編：P54～55 参照>

本会が家庭裁判所から成年後見人等を選任され、判断能力が不十分なために契約や財産の管理等をすることが難しい人の権利や財産を守り、尊厳をもってその人らしく生活が送れるよう支援しました。

	R2	R3	R4	R5	R6
新規受任件数	5	4	5	2	3
受任件数	44	41	39	38	36

（３）地域福祉権利擁護事業と成年後見制度との連携

【権利擁護課】

<資料編：P50・54 参照>

地域福祉権利擁護事業の利用者が後見制度の利用が必要になった場合に、専門職団体や北九州成年後見センター、家庭裁判所と連携し、利用申立てや成年後見人等の選任が円滑に進むよう支援しました。

- 北九州成年後見センター理事会、業務監理委員会への参加（12回、6回）
- 北九州市成年後見支援センター受任調整会議、地域連携ネットワーク会議への参加（12回、12回）
- 福岡県弁護士会北九州部会高齢者・障害者事例検討会への参加（3回）

（４）権利擁護関係機関、専門職との支援のネットワークづくり【権利擁護課】

<資料編：P50・54 参照>

地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業利用者の個別ケア会議に参加したり、

他都市からの視察を受け入れたりするなど、権利擁護関係機関、専門職との連携を深め、利用者を中心とした見守りのネットワークをつくりました。

(5) 権利擁護の担い手（支援員）の確保・育成

【権利擁護課】

<資料編：P50・54 参照>

支援員研修会を開催し、支援員の確保・育成に取り組みました。

○専門員・支援員合同研修会の開催（2回）

(6) 市民後見人の養成・活動支援

【権利擁護課】

<資料編：P56～58 参照>

社会貢献型市民後見人養成事業実務研修及びフォローアップ研修を開催し、市民後見人が意思決定支援について学び、実践に反映できるようサポートするとともに、本会等の関係団体と市民後見人との複数受任という新たな形式で市民後見人が選任されるしくみづくりを構築し、関係機関と連携した市民後見人等の活動範囲の拡充や、安心して活動するためのバックアップ体制の充実に努めました。

○北九州市社会貢献型市民後見人養成事業実務研修（全9日間 13人）

○北九州市社会貢献型市民後見人養成事業フォローアップ研修（1回 1日 47人）

○市民後見人支援事業の実施

- ・本会が後見監督人として市民後見人を支援（1件）
- ・本会以外が後見監督人に選任された案件について市民後見人を支援（1件）
- ・本会が複数受任者に選任された案件について、市民後見人を支援（1件）
- ・本会以外が複数受任者に選任された案件について市民後見人を支援（1件）

■ (7) 権利擁護セミナーの区域単位での開催

【権利擁護課・区事務所】

<資料編：P50・54 参照>

地域福祉権利擁護事業と成年後見制度についての理解を深め、その一体的な展開に向けて関係者がどう連携すべきかを学ぶために、権利擁護セミナーを小倉南区、八幡東区で実施しました。

○権利擁護セミナーの開催（2回）

- ・小倉南区民生委員児童委員協議会全員研修 参加者 248人
- ・八幡東区福祉協力員研修 参加者 17人

■ (8) 終活相談事業の実施

【権利擁護課】

<資料編：P59～60 参照>

少子高齢化や地域社会における人間関係の希薄化に伴い、亡くなった後の整理が困難な市民が増える傾向にあることから、終活相談会を月に4回実施しました。その内1回は、終活関連事業者や法律専門職と連携した専門相談を実施し、専門的な知識を要する相談に対応するとともに関係者間のネットワークづくりにも努めました。

また、相談対応や出前講演に活用するためのオリジナルエンディングノートと

終活関連情報を掲載したサポートブックを作成しました。

○終活相談の実施（R2 から実施）

	R3	R4	R5	R6
対応件数	32 組 (33 人)	52 組 (58 人)	58 組 (71 人)	73 組 (89 人)

○「最期まで自分らしく 私のこれからノート」の改訂（20,900 部）

○「私のこれからノート～サポートブック～」の作成（5,000 部）

○「井筒屋健活・悠活・終活フェア」への参加（終活相談ブースでの対応者数 2 日間合計 140 人）

○終活出前講演（エンディングノートの書き方講座）の実施（20 回 547 人）

○行政主催「終活在り方検討会」への参加（3 回）

新（9）死後事務委任契約事業に向けた体制整備

【権利擁護課】

<資料編：P60 参照>

身寄りや経済的な余裕がない場合でも、誰もが自分らしく生きるための終活に取り組めるよう、法律専門職や信託会社、生命保険会社との協議を行い、事業の実施に向けた体制整備を進めました。

○死後事務委任契約事業実施に向けた協議（4 回）

◆基本項目4 社会参加・自立をすすめよう

重（1）生活困窮者自立相談支援事業の実施

【自立支援課】

<資料編：P31～33 参照>

各区の「いのちをつなぐネットワークコーナー」に相談員を配置し、生活困窮者からの相談を受け、ニーズを把握し、支援計画の策定、関係機関につなげることで、生活困窮者の自立に向けた支援を実施しました。

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
新規相談受付件数（総数）	1,771	8,545	5,238	2,587	2,306	2,472
支援計画（プラン）策定件数（総数）	864	1,060	844	679	848	979

重（2）生活福祉資金貸付事務事業の実施

【自立支援課】

<資料編：P28～30 参照>

低所得者、障害者または高齢者に対し、その経済的な自立や生活意欲の助長促進等を図るため、資金の貸付と相談支援を実施しました。

○生活福祉資金貸付（合計）申請件数 160 件、貸付額 46,400,000 円

(3) 生活福祉資金特例貸付フォローアップ業務の実施

【自立支援課】

<資料編：P29 参照>

新型コロナウイルス感染拡大下で実施した特例貸付の借受世帯のうち、滞納・未応答世帯に対して、世帯状況のアンケートや、アウトリーチ架電など、フォローアップ業務を行い、借受世帯の課題の把握や償還免除・減額等、各種制度につなげました。

○担当職員（区事務所職員等）研修 2 回、22 名

○アンケート発送・回答状況 発送 5,136 件、回答 505 件（回答率 9.83%）

○相談件数等 相談・対応件数 1,869 件、うちアウトリーチ架電 860 件

(4) 潜在保育士再就職・復帰支援資金貸付事業の実施

【自立支援課】

<資料編：P34 参照>

保育士の人材確保を図るため、資格を持ちながら、現在保育職についていない方への保育職への就職を支援するため資金を貸付ける事業を実施しました。

○再就職支援資金（貸付件数：5 件、貸付額：1,759,690 円）

○未就学児をもつ潜在保育士の保育所復帰支援資金

（貸付件数：11 件、貸付額 2,739,000 円）

(5) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業の実施

【自立支援課】

<資料編：P35 参照>

ひとり親家庭の経済的自立を支援するため、資格取得養成機関への入学や資格を生かした職に就く際の準備金を貸付ける事業を実施しました。また、貸付対象者に対して、住宅の借り上げに必要となる資金の貸付けを行いました。

○入学準備金（貸付件数：10 件、貸付額：5,000,000 円）

○就職準備金（貸付件数：9 件、貸付額：1,800,000 円）

○住宅支援資金（貸付件数：16 件、貸付額：6,641,800 円）

(6) 高齢者地域交流支援通所事業の実施

【生活福祉課】

<資料編：P41～45 参照>

市内に居住する在宅の 65 歳以上の高齢者が、できるだけ長く地域で自立した生活ができるよう、健康や生きがいづくりに役立つプログラムを市内 50 か所の市民センターで実施しました。

○登録者 636 人、延実施日数 4,252 日、延利用者 40,827 人

(7) 介護支援ボランティアの育成と活動支援

【活動推進課・区事務所】

<資料編：P73～74 参照>

高齢者自身の健康増進や生きがいづくりを行うとともに、施設等利用者の生活をより豊かにすることを目的に、65 歳以上の市民が介護保険施設で行うボランティア活動を支援し、その活動をポイント化し、寄付または換金しました。

	R2	R3	R4	R5	R6
ボランティア登録者数	2,067	2,005	1,967	1,909	1,287
延べ活動回数	5,035	3,122	3,941	5,288	5,478
換金・寄付額	634,200	249,200	346,600	564,200	634,400

(8) 障害者就労支援施設製品等の活用

【財務企画課】

<資料編：P5 参照>

障害者の就労支援のため、障害者就労支援施設の製品等を事業に活用しました。

(9) 企業からの寄贈品提供による社会参加支援

【財務企画課】

<資料編：P4 参照>

社会貢献の一環として企業から寄贈されたスポーツ観戦等への招待チケットや食料品を市内の社会福祉施設利用者に提供し、企業及び施設利用者双方の社会参加や社会とのつながりを支援しました。

(10) ボランティア活動による若者参加支援事業の実施

【活動推進課】

<資料編：P67 参照>

若者の自立支援機関（若者サポートステーション）と連携し、社会に踏み出したいと考えている若者に対し、ボランティア活動への参加機会を提供し、自立の一助となるよう取り組みました。

- ① シルバーひまわりサービス同乗ボランティア体験（延べ3名参加）
- ② イベント補助ボランティア（延べ9名参加）

◆基本項目5 災害時に備えよう

(1) 市社協の防災体制の確立と災害支援活動

【総務課・活動推進課】

<資料編：P64～65 参照>

災害が発生した場合でも、継続的・安定的な事業運営が図れるように作成したBCP（事業継続計画）及び災害対策連絡網ならびに部署間の応援体制を確立した防災計画を更新し、職員に周知しました。また、珠洲市(4月16日～8月12日)に職員延べ11人を派遣するなど、被災した地域への支援活動を行いました。

(2) 戸畑駅前地区防災相互応援協定の推進

【ウェルとばた管理課】

JR 戸畑駅、イオン戸畑店、福岡銀行戸畑支店及び本会の4者間で締結した協定に基づき、災害時の連携方法等の確認を行うとともに、戸畑消防署及び戸畑警察署を招聘して救急業務に関する研修を行いました。

(3) 災害時避難訓練の実施

【ウェルとばた管理課】

火災発生時の適切な行動を学習することを目的に、各地区隊には詳細の想定を秘匿して実践的に行う、シナリオ非提示型訓練を実施しました。

また、消火栓等の消火設備の説明を行い、実際に水消火器による消防訓練を行いました。

(4) 校(地)区社協が取り組む「福祉救援体制づくり」の推進

【地域支援課・区事務所】

ふれあいネットワーク活動を基盤とし、自治会等地縁組織や社会福祉施設等と連携した地域での福祉救援体制づくりを支援しました。

■(5) 災害ボランティア活動の環境整備

【活動推進課・区事務所】

<資料編：P64～65 参照>

災害発生時の地域の受援力を高めるために、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施しました。また、災害時相互協力協定締結団体との連絡会議等を実施し、災害ボランティア活動の環境整備に取り組みました。

○災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施（73 人・穴生学舎）

○災害時相互協力協定締結団体連絡会議（1 回・11 人・オンライン）

○災害ボランティア用公式 LINE を活用した情報発信の仕組みづくり（登録者・237 人）

○関係機関・団体、大学等と連携した被災者支援活動の推進
・九州国際大学での災害ボランティア活動 PR（登録者・1 人）

○災害支援に関する職員研修（内部研修）の実施（38 人）

	R2	R3	R4	R5	R6
災害ボランティア登録者数	308	325	341	392	429

(6) 災害ボランティア養成講座の実施

【活動推進課・区事務所】

<資料編：P76 参照>

平時から地域での防災ボランティアとして活動できる人材を養成していくことを目的として実施しました。

○災害ボランティア養成講座（2 回 2 日 73 人）

◆基本項目6 活動のための財源をつくろう

(1) 寄付金の呼びかけや収益事業の拡充・検討

【総務課・財務企画課】

<資料編：P4 参照>

地域福祉活動の財源を確保するため、市民や企業、団体等へ広く寄付や賛助会員への加入を呼びかけました。

	R2	R3	R4	R5	R6
賛助会費	10,100,950	9,557,250	9,553,000	9,506,000	9,207,000
件数	2,959	2,699	2,668	2,606	2,775
寄付金	7,005,522	8,666,798	8,150,875	10,198,001	156,510,628
寄付件数	200	192	175	215	198

※寄付物品の現金相当額を含む。区事務所の会費・寄付を含む。子どもの居場所づくり応援基金を除く。

(2) 共同募金活動の広報啓発

【財務企画課】

ふれあいネットワーク活動をはじめとした、地域福祉活動にとって重要な財源である共同募金について、広報紙への記事掲載やパネル展を実施する等の広報啓発を行いました。

	R2	R3	R4	R5	R6
共同募金 配分金	50,234,062	47,408,480	50,876,545	51,135,417	48,448,727

常設委員会

本会業務の円滑な運営を図るため、常設委員会にて協議を行いました。

- 1 表彰審査委員会（総務課）
- 2 民間社会福祉施設整備資金貸付審査委員会（財務企画課）
- 3 民間社会福祉事業従事者共済事業運営委員会（地域支援課）
- 4 総合企画委員会（地域支援課）
- 5 生活福祉資金調査委員会（自立支援課）
- 6 権利擁護・市民後見センター運用委員会（権利擁護課）
- 7 ボランティア・市民活動センター運営委員会（活動推進課）
- 8 北九州シニアネットワークアカデミー運営・改善委員会（周望・穴生）
- 9 各区社会福祉協議会運営委員会（区事務所）

組織体制の強化

地域福祉活動第六次計画及び本事業計画に沿って事業を効果的に推進するため、新たに中期経営計画を策定し、組織体制の一層の強化に努めました。

- 1 中期経営計画の策定〔全部署〕
- 2 賛助会員の加入促進〔全部署〕
- 3 研修等を通じた職員の人材育成〔総務課〕
- 4 自主財源確保のための収益事業の実施〔財務企画課・各区事務所〕

資料編

～令和6年度事業報告～

【総務企画部】

法人運営事業	2
民間社会福祉施設整備資金貸付事業	6
子どもの居場所づくり応援基金事業	6
ウェルとばた運営事業	8
ウェルとばた管理事業	12

【地域福祉部】

住民福祉活動による地域づくり事業	13
生活支援体制整備事業	19
地域生活支援活動推進事業	22
民間社会福祉事業従事者共済事業	24
各施設協議会等との連携	25

【生活支援部】

民生委員互助共励事業	27
生活福祉資金貸付事業	28
生活困窮者自立相談支援事業	31
潜在保育士の保育所再就職・復帰支援資金貸付事業	34
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	35
認知症サポーターキャラバン事業	36
高齢者見守りサポーター派遣事業	38
高齢者地域交流支援通所事業	41
介護サービス相談員派遣事業	46
権利擁護・市民後見センター事業	50
終活相談事業	59

【ボランティア・市民活動センター】

ボランティア振興事業	61
ボランティア育成・啓発事業	69
介護支援ボランティア事業	73
ボランティア・市民活動者の研修・養成事業	75

【北九州シニアネットワークアカデミー】

年長者研修大学校等運営事業	79
年長者研修大学校人権研修事業	90
高齢者の健康づくり事業	91

【区事務所】

門司区事務所運営事業	93
小倉北区事務所運営事業	96
小倉南区事務所運営事業	99
若松区事務所運営事業	103
八幡東区事務所運営事業	105
八幡西区事務所運営事業	109
戸畑区事務所運営事業	112

【常設委員会】

115

令和 6 年度決算額 1,121,207 千円（令和 6 年度予算額 1,101,438 千円）

I-1 I-4 III-4 III-5 III-6

◇法人運営事業

令和 6 年度については、ICT を活用して、会議・研修等を集合とオンラインの併用による開催を実施するとともに、社会福祉法をはじめとする関係法令に基づいた適正な会務運営に取り組みました。

また、財政面においては、限られた財源を有効に活用するため、クラウドの活用や給与明細の電子化など様々な事務改善、経費削減を行い、運営基盤の強化に努めました。

1 役員会

(1) 理事会開催

回	実施日	出席者数 /定数	議題
第 286 回	R6. 6. 5	11/17	1 令和 5 年度事業報告について 2 令和 5 年度収支決算について 3 評議員選任・解任委員会委員の選任について 4 評議員選任候補者の推薦について 5 社会福祉法人北九州市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について 6 第 221 回評議員会（令和 6 年定時評議員会）の日時及び場所並びに議案の決定について
第 287 回	R6. 9. 30	14/17	1 社会福祉法人北九州市社会福祉協議会嘱託職員等の報酬等に関する規程の一部改正について 2 評議員選任候補者の推薦について 3 令和 6 年度第 1 次補正予算について 4 第 222 回評議員会の開催について
第 288 回	R6. 12. 24	17/17	1 第 223 回評議員会の開催について
第 289 回	R6. 3. 7	13/17	1 社会福祉法人北九州市社会福祉協議会定款の一部変更について 2 社会福祉法人北九州市社会福祉協議会定款施行細則等の一部改正について 3 社会福祉法人北九州市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について 4 社会福祉法人北九州市社会福祉協議会嘱託職員及び臨時職員就業規則の一部改正について 5 社会福祉法人北九州市社会福祉協議会職員の育児休業等に関する規程の一部改正について 6 社会福祉法人北九州市社会福祉協議会職員の再任用に関する規程の一部改正について 7 社会福祉法人北九州市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について 8 社会福祉法人北九州市社会福祉協議会嘱託

			職員等の報酬等に関する規程の一部改正について 9 社会福祉法人北九州市社会福祉協議会特別任用職員給与規程の一部改正について 10 社会福祉法人北九州市社会福祉協議会経理規程の一部改正について 11 北九州市シニアネットワークアカデミー運営規程の廃止について 12 役員等のために締結される補償に関する保険契約内容について 13 令和7年度事業計画について 14 令和7年度収支予算について 15 社会福祉法人北九州市社会福祉協議会中期経営計画について 16 第224回評議員会の招集について
第290回	R7.3.27	16/17	1 第225回評議員会の開催について

(2) 評議員会開催

回	実施日	出席者数 /定数	議題
第221回	R6.6.27	21/31	1 令和5年度事業報告について 2 令和5年度収支決算について
第222回	R6.10.24	28/31	1 監事の補充選任について 2 令和6年度第1次補正予算について
第223回	R7.1.14	31/31	1 理事の補充選任について
第224回	R7.3.26	23/31	1 社会福祉法人北九州市社会福祉協議会定款の一部改正について 2 令和7年度事業計画について 3 令和7年度収支予算について 4 社会福祉法人北九州市社会福祉協議会中期経営計画について
第225回	R7.3.31	29/31	1 理事の補充選任について 2 監事の補充選任について

※286回、287回、289回理事会及び221回、224回評議員会は、参集とオンライン会議の併用で開催

(3) 監事監査

実施日	実施監事名	監査の内容
R6.5.21	木村 聡 藤原 俊和 中原田 香織	令和5年度理事の職務執行状況 (事業報告及び計算関係書類等の検討)

2 賛助会員加入状況（市社協分）

年度	法人・団体会員		個人会員		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
R2	213	3,630,000	125	430,000	338	4,060,000
R3	209	3,540,000	123	363,000	332	3,903,000
R4	202	3,490,000	171	441,000	373	3,931,000
R5	192	3,310,000	156	358,000	348	3,668,000
R6	179	2,890,000	154	330,000	333	3,220,000

※区事務所の賛助会員は各区事務所に記載

※法人全体は本編 P20 に記載

3 寄付金等の状況

年度	寄付件数	寄付金	寄付物品
R2	17	1,757,471	不織布マスク、アルコールスプレー
R3	24	2,828,289	不織布マスク、災害ボランティア活動用機材、アルコール消毒液、車いす、自転車用リフレクター
R4	33	4,139,291	高齢者福祉体験セット、おもり付きベスト、備蓄用非常食、タオル、子ども用文房具
R5	36	3,335,391	デジタルサイネージ
R6	45	148,918,646	車いす、老眼鏡、遠隔操作ロボット「OriHime」

※寄付金には、寄付物品の現金相当額を含む。

※区事務所の寄付は各区事務所に記載

4 広報誌の公式 LINE 配信

広報誌名	配信回数
北九州市社協だより	月 2 回

5 企業等からの寄贈品の提供

項目	福祉施設等へ斡旋	提供先	提供数
プロ野球公式戦招待	福岡ソフトバンクホークス(株)	福祉関係団体	1,463
スポーツ公式戦招待	グリーン SHIPPING(株)	北九州市母子寡婦福祉会	20
クリスマスチョコレート	ブリヂストン労働組合下関支部 トップ保険サービス(株)	福岡県交通遺児を支える会	120
クリスマスケーキ	DM 三井製糖(株)九州営業部	子ども関係施設	36

※施設数及び招待者数は延べ数

6 助成金の情報提供 42 件

7 収益事業

(1) 駐車場管理

年度	売上額	箇所数	延べ契約台数
R2	2,094,080	2	350
R3	1,851,621	2	354
R4	1,882,516	2	358
R5	1,995,068	2	349
R6	1,975,040	2	376

(2) 市社協封筒への広告掲載

年度	広告料収入	掲載件数
R6	131,890	4

(3) 「まちづくりクッキー」の販売

年度	手数料収入	売上数量
R2	3,100	31
R3	1,900	19
R4	8,000	80
R5	38,400	384
R6	9,000	90

(4) 自動販売機

年度	手数料収入	設置台数
R2	2,508,610	24
R3	2,640,365	24
R4	2,698,850	24
R5	2,887,933	20
R6	3,242,903	17

8 障害者就労支援施設への支援

障害者の就労支援のため、障害者就労支援施設の製品やクリーニング業務委託を活用しました。

年度	項目	金額
R6	クリーニング(2件)、社会福祉大会記念品(カレンダー500部)、ボールペン200本、まちづくりクッキー(90箱)、お弁当	465,150円

9 豪雨災害等に関する支援活動

(1) 義援金の募集・受付

災害名称	募集期間	受付場所(募金箱)	義援金額
① 令和6年7月大雨災害 義援金	R6.8.2～R6.12.27	ウェルとばた 周望学舎・穴生学舎	7,032

② 令和 6 年能登半島地震 災害義援金	R6. 1. 5～R7. 12. 26	ウエルとばた 周望学舎・穴生学舎	1, 064, 816
③ 令和 6 年能登豪雨災害 義援金	R6. 9. 26～R7. 3. 31	ウエルとばた 周望学舎・穴生学舎	107, 623
④ 大船渡市赤崎町林野火 災による災害義援金	R7. 3. 6～R7. 6. 30	ウエルとばた 周望学舎・穴生学舎	21, 758

(令和 7 年 3 月末現在)
(金額は令和 6 年度募金分)

10 購入債券

年度	債券銘柄	額面(千円)	利率	償還日
R4	第 2 回北九州市サステナビリティボンド(5 年)公募公債	50, 000	0. 145	R 9. 10. 28
	第 49 回利付国債 (30 年)	100, 000	1. 4	R27. 12. 20
R5	第 3 回北九州市サステナビリティボンド(10 年)公募公債	50, 000	0. 747	R15. 9. 22
	第 49 回利付国債 (30 年)	160, 000	1. 4	R27. 12. 20
R6	—	—	—	—

7, 795 千円 (29, 795 千円) I-1

◇民間社会福祉施設整備資金貸付事業

市内における民間社会福祉施設の振興を図ることを目的に、施設の新設、修理、改築、拡張、土地の購入、備品整備等に要する整備資金の貸付を予定していましたが、新規申込みはありませんでした。

【令和 6 年度末貸付件数及び貸付残高】

2 施設 3, 150, 000 円

49, 030 千円 (8, 388 千円) I-1

◇子どもの居場所づくり応援基金事業

子ども食堂を支援するために設置した基金について、広く市民・企業等から寄付を募り、関係機関と連携して市内の子ども食堂の開設・運営支援のための助成事業を実施しました。

助成金及び寄付物品については、子ども食堂ネットワーク北九州を通じて、市内の子ども食堂へお渡ししました。

【寄付の状況】

年度	寄付件数	寄付金（総額）	寄付物品
R3	89 件	7,050,321	食品、タオル
R4	137 件	36,388,558	食品
R5	115 件	34,851,329	食品
R6	121 件	49,030,085	食品、タオル

【助成の状況】

年度	助成目的	助成件数	助成金額
R3	子ども食堂運営支援	子ども食堂等 28 か所	2,850,000
R4	子ども食堂運営支援	子ども食堂等 34 か所	31,250,000
R5	子ども食堂運営支援	子ども食堂等 51 か所	34,027,629
R6	子ども食堂運営支援	子ども食堂等 58 か所	5,800,550

◇ウェルとばた運営事業

民間の福祉活動の拠点「福社会館」と市民の芸術・文化活動の拠点「市民会館」の一体的な管理・運営のもと、各活動への協力・支援を行うことで、相互に利用目的を超えた価値の提供を図り、「福祉と文化の融合」に努めました。

1 貸館事業

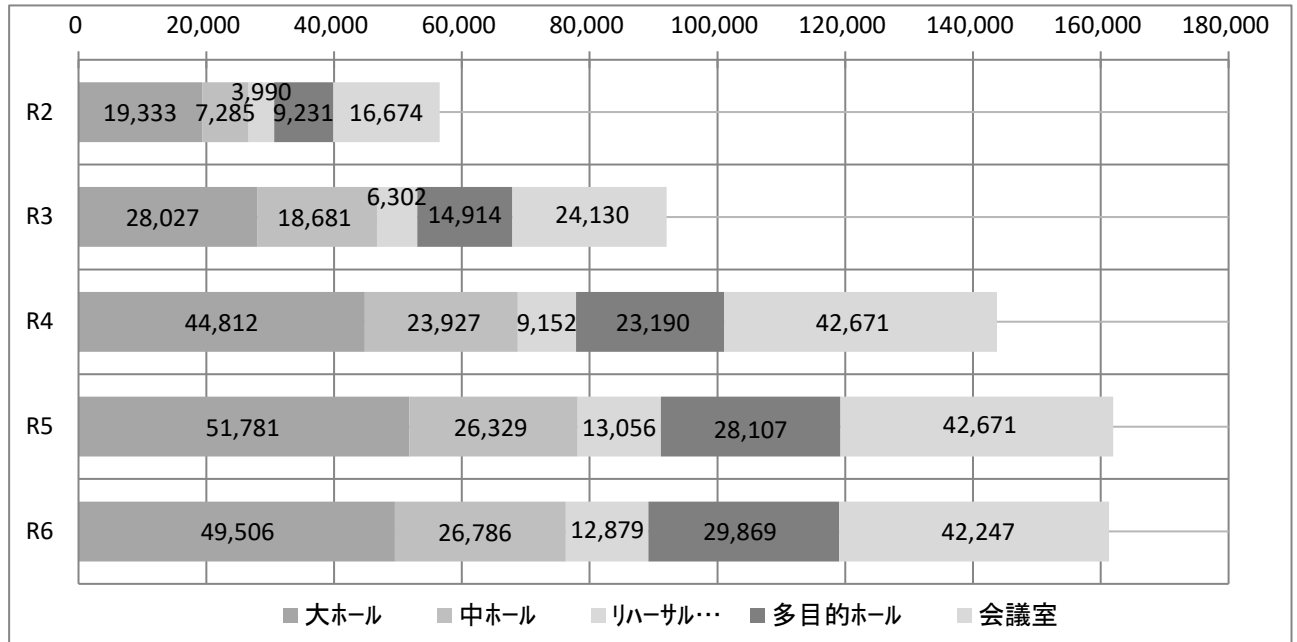
【会議室等利用状況】

（単位：人）

区分	貸館利用者数					合計
	大ホール	中ホール	リハーサル・練習室	多目的ホール	会議室	
R2	19,333	7,285	3,990	9,231	16,674	56,513
R3	28,027	18,681	6,302	14,914	24,130	92,054
R4	44,812	23,927	9,152	23,190	38,533	139,614
R5	51,781	26,329	13,056	28,107	42,671	161,944
R6	49,506	26,786	12,879	29,869	42,247	161,287

【ウェルとばた 利用者数の推移】

（単位：人）



2 にぎわい創出事業

行事名	実施日	人員	内容
ステージで スタインウェイを 弾いてみませんか	R6. 8. 17 R7. 2. 22	49	ピアノ愛好家に日頃なかなか弾く機会のない スタインウェイを弾いて楽しんでもらう事 業。市民会館中ホールで開催。
ステージで ベーゼンドルファーを 弾いてみませんか	R6. 7. 21 R7. 1. 13	63	ピアノ愛好家に日頃なかなか弾く機会のない ベーゼンドルファーを弾いて楽しんでもらう 事業。市民会館大ホールで開催。
80歳からの合唱団北九州 2024第4回コンサート	R6. 9. 16	530	月1回、多目的ホールを利用して練習を行っ ている80歳以上の方で構成される合唱団の成 果発表を市民会館大ホールで開催。
新春歌まつり	R7. 1. 19	445	戸畑区内で活動するカラオケ団体の練習成果 を発表する場として、市民会館大ホールで開 催。
映画上映会	R6. 5. 25	262	「福祉を考えるきっかけづくり」に焦点を当 て、福祉文化の発信と豊かな土壌づくりを目的 として、市民会館中ホールで開催。 上映作品「お終活 熟春！人生、百年時代の 過ごし方」
七夕飾り	R6. 6. 22 ～7. 8	-	交流プラザのにぎわいづくりとして企画。 ボランティアから寄付された七夕飾りを職員 で飾りつけした。
くきのうみ花火の 祭典観賞会	R6. 7. 20	362	6階屋上緑化部分等を有料で開放した。また、 こどもまんなかアクションとして、今回 初めて未就学児の入場料無料化と優先入場、 キッズエリアの設置を実施した。 併せて、ふれあいネットワーク活動30周年を 記念するうちわを配布し、幅広い世代に広報 を行った。
ウェルとばた 秋まつり	R6. 10. 26	770	地域の活性化を図ることを目的として、近隣 の商店や福祉施設と連携を図り、交流プラザ を活用した行事を開催した。 また、本年度は、北九州市社会福祉大会及び ボランティアウィークと一体となって開催 し、相乗効果を図った。
クリスマス飾りの展示	R6. 12. 4 ～12. 25	-	サンタクロース等の飾り物を子ども・若者 応援センター「YELL」の利用者の協力も得な がら、正面玄関のそばに展示し、来館者に師走 の季節を感じてもらった。
クリスマス ミニコンサート	R6. 12. 21	60	北九州音楽協会のメンバーを迎え、クリスマス にふさわしい曲を披露した。
ウェルカム コンサート	奇数月 第2木曜日	延 460	昼休みの時間に、交流プラザ特設ステージに て、北九州市内で活躍している音楽家に依頼 し、様々なジャンルの演奏会を開催した。また、 本年度は、コンサート会場に併設して、

			子ども・若者応援センター「YELL」の利用者による、とれたて新鮮野菜等の物品販売を実施した。 (5/9、7/11、9/12、11/14、1/9、3/13開催)
ウェル・まちかど ピアノ	全24回	延 217	月 2 回、グランドピアノを市民に開放し、来館者に自由に演奏してもらった。

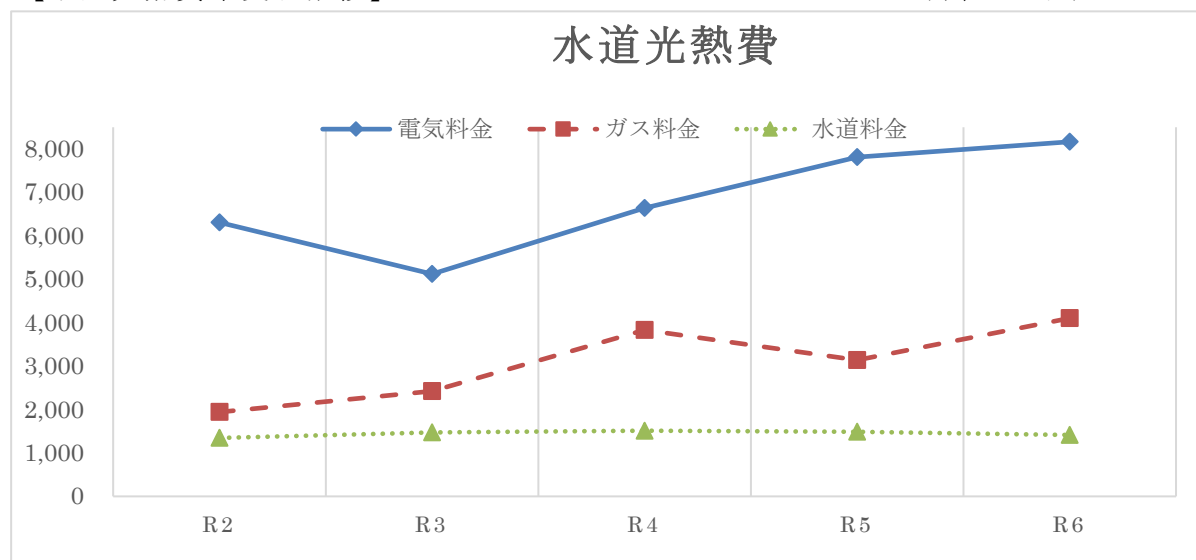
3 水道光熱費削減の取り組み

節電、節水の呼びかけや使用量の監視、契約内容の見直しなど、水道光熱費の節減に取り組んでおり、水道は使用量、料金共に近年は横ばいです。しかしながら、電気は使用量が減少しているにもかかわらず料金が大きく増加、ガスは夏季の冷房時期に大きく使用量が増加し、結果的に年間を通じての使用料金も大幅に増加しています。

物価の高騰や地球温暖化、施設の老朽化など複数の要因により、ここ数年において水道光熱費の上昇が続いています。

【水道光熱費年度別推移】

(単位：万円)



(単位：円)

	R2	R3	R4	R5	R6
電気料金	63,051,261	51,200,979	66,397,638	78,149,755	81,654,699
ガス料金	19,409,300	24,208,122	38,349,058	31,398,543	41,030,580
水道料金	13,454,847	14,718,222	15,126,038	14,874,670	14,129,036

4 広報・情報発信状況

北九州市社協だより、ホームページ等の広報に加えて、ウェルとばた Facebook でも積極的な情報発信を行いました。

ホームページは、見やすいデザインや分かりやすいコンテンツづくり、スマートフォンへの対応等に取り組み、施設予約をはじめ、フロアガイド・アクセスの案内等、ウェルとばたの窓口として利用者の利便性を高めています。

- ・ユーザー数： 78,648 人 (昨年度比 2.7%減)
- ・アクセス数： 105,449 件 (昨年度比 0.7%減)
- ・ページ閲覧数： 270,060 ページ (昨年度比 2.4%増)

5 安全・安心な施設管理の取組

市民や入居団体が、安全・安心に館を利用できるよう、建築設備や消防など各種点検・調査を実施しました。

- ・特殊建築物定期点検
- ・建築設備定期点検
- ・外壁タイル赤外線調査
- ・全館停電電気設備年次点検
- ・窓清掃ゴンドラ設備性能検査
- ・窓清掃ゴンドラ設備定期点検
- ・消防設備点検
- ・防火対象物点検
- ・自衛消防訓練（火災）
- ・自衛消防訓練（総合）

そのほか、防火・防災及び各設備点検における資格者講習、研修を受講するなどしました。

- ・AED 設置台数 5 台（1 階、2 階、3 階、8 階、12 階）

6 駅隣接公共スペースとしてのおもてなしの環境づくり

ウェルとばたの来館者へ心と癒やしていただけるよう、以下の取組を実施しました。

- ・2 階総合案内前にアートフラワー作家による「布の花」を展示（年 4 回入替え）
- ・2 階正面玄関前の国旗掲揚ポールに、鯉のぼりを掲揚（R6. 4. 3～5. 10 まで）
- ・2 階受付カウンター横 2 箇所に、四季折々の設えとして雛人形の段飾りを設置（R7. 2. 13～3. 27 まで）
- ・2 階正面玄関前周辺を整備して、ウェル花壇を設置
- ・戸畑区役所 2 世代コラボ企画として、「若者のたまりば」を多目的ホールで実施（中間、期末各試験前に主にホール内を開放、全 30 回実施、104 人が利用）

7 研修受講状況

- | | |
|------------------------|-----|
| ・公民連携・指定管理セミナー | 3 名 |
| ・災害ボランティア職員研修 | 1 名 |
| ・芸術×福祉 九州ネットワーク会議 2024 | 1 名 |
| ・業務マネジメントセミナー | 1 名 |
| ・福岡県文化芸術イノベーションアカデミー | 1 名 |
| ・福祉有償運送運転協力者研修 | 2 名 |
| ・福岡県地域福祉活動職員連絡会 研修 | 1 名 |
| ・人権・ハラスメント研修 | 3 名 |

◇ウェルとばた管理事業

開設当初（平成 14 年 10 月）から現在まで、一貫してウェルとばたの管理運営事業を担っています。ウェルとばた及び周辺において、設備保守・警備・清掃業務を行うとともに、よりよい環境整備に努めました。

入居団体のうち、行政機関である子ども総合センター、消費生活センター、高齢者就業支援センターについて、設備保守・警備業務及び清掃業務、光熱水費など維持管理費の委託契約に基づいた、適正な運営管理を行いました。

【維持管理費】

（単位：円）

	子ども総合センター	消費生活センター	高齢者就業支援センター
R2	25,711,881	4,212,517	2,579,377
R3	25,713,182	4,095,726	2,471,962
R4	31,488,198	3,270,036	2,762,682
R5	30,983,453	3,222,672	2,813,557
R6	33,611,648	3,486,139	3,078,930

8,181 千円 (11,846 千円)

うち区事務所決算 3,700 千円 (4,210 千円)

I-1 I-2 I-3 I-4

II-1 II-2 II-3 II-4

III-1 III-5

◇住民福祉活動による地域づくり事業

1 地域福祉活動計画の推進

「北九州市地域福祉活動第六次計画」(令和3年度～令和7年度)の4年度にあたる令和6年度は、関係機関・団体と連携・協働し、計画を推進するとともに、総合企画委員会において進捗状況の点検・評価を行いました。

北九州市地域福祉活動第六次計画 基本理念・基本目標等

基本理念	基本目標	基本項目
みんなが安心して暮らせる 支え合いのまちづくり	基本目標 I 福祉の風土を広げ、地域の困りごとに気付く力を高めよう ～見守りのしぐみの充実～	①福祉の心を広げよう
		②福祉を学び、福祉の仲間を育もう
		③見守る力を高めよう
		④困りごとを受け止める場をつくろう
	基本目標 II 住民、関係機関・団体のネットワークで、困りごとを話し合おう ～話し合いのしぐみの充実～	①困りごとを話し合う場をつくろう
		②住民、関係機関・団体でつながろう
		③困りごとを解決するしぐみをつくろう
		④未来に向けた活動を考えよう (調査・研究・提言)
	基本目標 III 一人ひとりの困りごとを助け合おう ～助け合いのしぐみの充実～	①生活の困りごとを助け合おう
		②ボランティア・市民活動をすすめよう
		③安心な暮らしを守ろう(権利擁護)
		④社会参加・自立をすすめよう
		⑤災害時に備えよう
		⑥活動のための財源をつくろう

2 ふれあいネットワーク活動及び地域共生社会実現のための活動

平成5年度から推進してきた校(地)区社協の基本活動「ふれあいネットワーク活動」では、「見守りのしぐみ」で福祉協力員等による見守り活動により地域の支援が必要な世帯を見つけ、「話し合いのしぐみ」で連絡調整会議の活性化を図るとともに、「助け合いのしぐみ」では日常簡易な助け合い活動に取り組み、地域生活課題解決のために関係機関・団体等につなぎました。

また、事業開始から30周年を迎え、記念動画の作成や記念ロゴなどを活用した事業の実施により、「ふれあいネットワーク活動」の広報・啓発を行い、福祉活動のさらなる普及と充実を図りました。

「地域共生社会実現のための活動」では、地域生活課題の把握と解決のための中長期の指針として「小地域福祉活動計画を策定する活動・推進する活動」、地域住民の居

場所づくりとして「サロンを新設する活動」、次世代へ地域福祉活動をつないでいくために「ウェルクラブ活動」を重点事業として実施するなど、地域の特性に合わせた校(地)区社協活動を展開しました。

(1) ふれあいネットワーク活動の推進

各区福祉協力員・ニーズ対応員数と活動状況

事業別 区 名	実施 地区	見守り活動			助け合い活動		
		福 祉 協 力 員 数	見守り対象世帯		ニーズ対応 チーム人数	対応件数	
			世帯数	内 訳		対応数	対応内容内訳
門 司	21	723	15,200	高齢者世帯 (昼間高齢者 だけを含む)	652	40,792	話し相手 267,911 生活情報の提供 320,094
小倉北	25	1,043	28,164	123,998	1,290	180,612	困りごとの相談 58,120 ゴミ出し 31,187
小倉南	27	1,155	21,843	障害のある人 の世帯	541	108,440	古紙回収 24,606 買い物支援 11,061
若 松	14	511	9,936	子育て中の世帯 2,500	384	24,687	外出時の同行 3,704
八幡東	21	364	13,021	その他の世帯 1,629	1,457	116,048	薬取り 2,378 庭の掃 除・草木の剪定 3,150
八幡西	33	1,840	32,690		1,474	217,027	洗濯 2,503 布団干し・入れ 1,626
戸 畑	14	567	10,693		571	52,035	その他 13,301
全 市	155	6,203	131,547		6,369	739,641	

(2) 地域共生社会実現のための活動

ア 小地域福祉活動計画を策定する活動

項目	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市
一次計画	大里柳 古城 松ヶ江南	西小倉		深町 花房 江川		折尾東 鳴水 引野 筒井 医生丘 楠橋 池田		14
二次計画							西戸畑	1
三次計画								0
計	3	1	0	3	0	7	1	15

イ サロンを新設する活動

(単位：校(地)区)

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
田野浦	今町 小倉中央校区堺町 寿山 中島	北方 東谷 葛原 守恒 長尾	浜町 藤ノ木 花房 江川	枝光第一	上津役 八兄 竹末若葉	浅生	
1	4	5	4	1	3	1	19

サロン活動取組校(地)区社協数の推移

	R2	R3	R4	R5	R6
取組校(地)区社協数	122	118	122	127	129
サロン数	431	395	430	480	500

ウ ウェルクラブ活動

(単位：校(地)区)

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
大里柳 田野浦 白野江 松ヶ江北	泉台 井堀 中井校区北小倉 貴船 清水 富野 中島	貫 葛原 朽網 合馬 山本 徳力 城野 沼 曾根東 長尾	小石赤崎 古前 高須	槻田第二 槻田第三 高槻 大蔵第一 大蔵第三 枝光第一 枝光北 中央第一 中央第二	折尾西 上津役 本城 塔野 筒井 光貞 池田 竹末若葉 永犬丸西 赤坂 星ヶ丘	東戸畑 浅生 牧山 天籟寺 牧山東 一枝	
4	7	10	3	9	11	6	50

取組校(地)区社協数及び参加児童数の推移

	R2	R3	R4	R5	R6
取組校(地)区社協数	14	18	33	44	50
参加児童数	689	788	1,192	1,766	1,887

エ 小地域福祉活動計画を推進する活動

(単位：校(地)区)

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
西門司 藤松 大里南 萩ヶ丘 大里東 小森江西 錦町 丸山 庄司 門司 清見 田野浦 白野江 大積 伊川 松ヶ江北	藍島 足原 泉台 到津 今町 清水 城野 富野 中島 南丘	北方 東谷 貫 葛原 吉田 朽網 長行 合馬 山本 道原 横代 若園 徳力 企救丘 湯川 城野 沼 守恒 曾根東 霧丘南 志井 田原 長尾 東朽網 広徳 高蔵	浜町 若松 小石赤崎 修多羅 古前 藤ノ木 二島 鴨生田 高須 青葉台 ひびきの	槻田第一 槻田第二 槻田第三 槻田第五 高槻 大蔵第一 大蔵第三 河内 枝光第一 枝光第二 枝光北 中央第一 中央第二 尾倉第一 尾倉第二 尾倉第三 尾倉第四 尾倉第五 前田北 前田第三 前田第四	木屋瀬 陣原 折尾西 穴生 陣山 熊西 上津役 本城 浅川 中尾 塔野 光貞 黒畑 永犬丸西 赤坂 八枝 黒崎 大原 星ヶ丘	東戸畑 北沢見 鞆ヶ谷 大谷第一 大谷第二 浅生 牧山 天籟寺 一枝 三六 中原 南沢見 西戸畑 牧山東	
16	10	26	11	21	19	14	117

オ ふれあいネットワーク 30 周年記念事業

- ・市、区社協主催の大会・イベントの実施
(社会福祉大会、各区年長者作品展) 4回 2,363名
- ・他団体主催の大会・イベントへの協力や出展 4回 1,816名
(くきのうみ花火の祭典、八幡東区ボランティアまつり、とばた菖蒲まつり、北九州ゆめみらいワーク 2024)
- ・研修や講座の実施 6回 230名
(ボランティア養成講座、新任または現任福祉協力員研修、権利擁護セミナー)

3 出前講演活動の実施

項目	主な内容	回数 (回)	受講者数 (人)
1	住民の支えあい「ふれあいネットワーク活動」	58	1,949
2	誰もが自分らしく生きられる地域づくり～生活困窮者の支援～	0	0
3	災害にも強い福祉のまちづくり	1	38
4	あなたにもできるボランティア	2	72
5	あんしんな暮らしのお手伝い	8	168
6	終活のすすめ～最期まで自分らしく～	23	621
7	その他	19	684
計		111	3,532

4 社協啓発グッズの頒布 (単位：枚)

Tシャツ 大人用	Tシャツ 児童用	エプロン	ポロシャツ	マフラー タオル	計
208	181	46	347	209	991

5 学識経験者の指導・助言による小地域福祉活動計画の効果的な推進

実施日	内 容
R6. 4. 1 ～ R7. 3. 31	【学識経験者】 福岡県立大学 教授 村山 浩一郎 氏 【指導・助言内容】 小地域福祉計画策定及び推進にかかる校(地)区社協支援体制の強化 ① 協議及び会議での助言 (全9回) ② 地域福祉活動第六次計画の進捗状況に関する分析等 ③ 地域の特性や実情を踏まえた小地域福祉活動の分析等

6 北九州市孤独・孤立対策等連携協議会関連

(1) 孤独・孤立問題に関する普及活動

5月の強化月間に北九州市民生委員児童委員協議会及び北九州市老人クラブ連合会と連携し、市社協HP内に特設ページを作成・公開しました。

(2) 地域交流型フードサポートの実施

実施日	人員・会場	内 容
R7. 2. 19	58人 (30世帯) ウェルとばた	北九州市母子寡婦福祉会が主催する地域食堂である「ウェルカム地域食堂」と連携した地域交流型フードサポートを実施。

7 その他会議への参画

- ・北九州市市高齢者支援と介護の質の向上推進会議 (オレンジ会議)
- ・地域包括支援に関する会議
- ・北九州市ホームレス自立支援推進協議会
- ・北九州市障害者自立支援協議会総会
- ・北九州市障害者自立支援協議会地域ネットワーク部会
- ・北九州市障害者差別解消支援地域協議会
- ・北九州市居住支援協議会幹事会
- ・北九州市民生委員推薦会
- ・北九州市孤独・孤立対策等連絡協議会

- ・北九州市居場所づくり部会設置準備会
- ・福岡県福祉人材センター運営委員会
- ・北九州市保健所運営協議会
- ・北九州市自殺対策連絡会議
- ・北九州市地域リハビリテーション推進会議
- ・各区包括ケア会議
- ・各区生活困窮者自立支援調整会議

【門司区】

- ・門司区保健・医療・福祉・地域連携推進協議会
- ・門司区医師会と包括との情報交換会

【小倉北区】

- ・小倉北区役所のちネット連絡調整会議
- ・小倉北区すこやかライフ推進協議会高齢者部会あい愛ネット小倉北世話人会
- ・まちづくりステップアップ事業選定検討会
- ・小倉北区子どもまつり実行委員会

【小倉南区】

- ・小倉南区・保健・福祉・地域連携システム推進協議会（ほっとステーション小倉南）

【若松区】

- ・若松区保健・医療・福祉・教育・地域連携協議会
- ・若松区包括ケア会議
- ・若松区交通安全推進協議会
- ・社会を明るくする運動
- ・若松あんしんネットワーク地域部会
- ・佐藤慶太郎基金運営委員会

【八幡東区】

- ・八幡東区いきいき 21 推進協議会
- ・小さな親切運動八幡東支部
- ・共同募金会八幡東区支部
- ・まつり起業祭実行委員会
- ・八幡東区子どもまつり実行委員会
- ・八幡東区交通安全推進協議会
- ・八幡東犯罪被害者支援協議会
- ・北九州市福祉事業団評議委員選任・解任委員会
- ・八幡夢みらい協議会
- ・皿倉山健康ウォーク実行委員会
- ・八幡民生事業協会評議員会

【八幡西区】

- ・八幡民生事業協会評議員会
- ・八幡西区交通安全推進協議会
- ・八幡西区女性団体連絡会議
- ・八幡西区ささえあいネットワーク推進協議会

【戸畑区】

- ・戸畑区地域福祉推進協議会
- ・福岡県共同募金会北九州市戸畑区支会理事会
- ・戸畑区社会を明るくする運動推進委員会
- ・戸畑区市民憲章推進協議会
- ・とばた菖蒲まつり実行委員会

◇生活支援体制整備事業

平成 27 年度から、地域における包括的支援体制の構築に向け、地域の見守り・支え合いを強化するために、各区に地域支援コーディネーターを配置し、福祉協力員等の身近な地域での支え手の発掘や互助活動を支援してきました。

多様化する地域生活課題に対応するためには、地域の見守り・話し合い・助け合いを強化する必要があるため、地域の関係機関・団体、社会福祉施設等との連携を図り、地域の話し合いの場を活性化するとともに、地域の互助活動の強化を行いました。また、地域資源に関する情報を地域福祉活動者や区役所関係各課に情報提供を行うとともに、ホームページ等を活用して情報発信しました。

1 地域資源の発掘・組織化業務

(1) 地域生活課題の把握

校(地)区社協、民生委員児童委員協議会、まちづくり協議会等の地域の会合に参加し、地域の状況を情報収集し、地域プロフィールシート（地区カルテ）を作成・更新しました。

①地域の会議等への参加実績 2,876 回、72,274 人（全市）

	R2	R3	R4	R5	R6
回 数	1,549	1,794	2,534	3,053	2,876
人 数	26,113	31,567	51,330	69,181	72,274

②地域プロフィールシート作成状況 全 155 校(地)区整備

(2) 地域資源の把握

市、区ボランティア・市民活動センターや地域関係者等から情報収集し、地域資源（サービス）情報シートを作成しました。

①地域資源（サービス）情報シート作成状況（H27～R6 年度累計）

項 目		門 司	小倉北	小倉南	若 松	八幡東	八幡西	戸 畑	計
生活支援	買い物支援	25	8(1)	14	25	7	19	9	107(1)
	配食サービス	5	－	14	1	1	4	8	33
	調理	4	1	4	1	1	2	5	18
	掃除・洗濯	8	1	4	1	1	2	3	20
	外出介助	8	1	4	1	4	3	6	27
	貸室	2	2	3	－	3	2	3	15
	その他	105	2	20	16	10	8	41	202
	小 計	157	15(1)	63	45	27	40	75	422(1)
互助活動	ゴミ出し	－	－	1	－	－	1	1	3
	話し相手	－	－	－	－	－	－	－	0
	見守り・安否確認活動	－	－	－	－	－	－	－	0
	サロンなどの交流会	10	23	49(10)	26	14	9(2)	29(1)	160(13)
	その他	3	－	1	1	3	11(1)	5	24(1)
	小 計	13	23	51(10)	27	17	21(3)	35(1)	187(14)
合 計		170	38(1)	114(10)	72	44	61(3)	110(1)	609(15)

※（ ）内は令和 6 年度実績

(3) 地域資源を増やすための啓発活動

地域福祉活動者の確保やサロン活動等の参加者を増やすため、チラシや広報紙の作成等の広報活動の支援、各種会合等での啓発活動、出前講演等を実施しました。

(4) 協議体の移行支援・運営支援

地域だけでは解決の難しい課題について、各種別社会福祉施設協議会との「地域における公益的な取組の推進に関する協定」等を活用し、社会福祉施設等地域の関係団体との連携を図りながら、地域の話し合いの場の充実や小地域福祉活動計画策定・推進に向けた支援を行いました。

① 協議体への運営支援 423 回、延べ 9,581 人

	R2	R3	R4	R5	R6
回 数	273	294	436	359	423
人 数	5,204	5,645	9,058	9,055	9,581

(5) 地域生活課題等に関する相談件数及びその対応

校(地)区社協の連絡調整会議や地区民生委員児童委員協議会の会合への参加などを通じ、地域生活課題やサロン新設方法などの互助活動に関する相談を受けました。受けた相談は、行政や社会福祉施設等と連携して対応しました。

① 相談件数

	門 司	小倉北	小倉南	若 松	八幡東	八幡西	戸 畑	計
個別支援に関する相談(件)	49	176	7	12	0	54	49	347
互助活動に関する相談(件)	27	132	213	735	304	349	121	1,881

② 相談に対する連携状況（重複あり）

連携先	個別相談	互助活動
行政関係	159	247
地域住民（福祉協力員等）	207	384
関係機関・団体（社会福祉施設等）	254	1,624
その他	6	24
合計	626	2,279

2 地域における見守り活動の支援

活動の中で、見守りが必要な人や介護保険サービスが必要な人等に関する情報を得た場合は、地域ケア個別会議等の区役所関係課との会合や、いのちをつなぐネットワーク担当係長や地域包括支援センター、区役所関係課に情報提供を行いました。

3 区役所関係課との連携

配置場所の区役所保健福祉課（いのちをつなぐネットワーク担当係長、地域包括支援センター及び統括支援センター、地域保健係）をはじめとした関係各課及び市民センター館長等の関係者と連携、情報共有し、地域の互助活動等を支援するためのネットワークづくりを行いました。

4 研修会等への参加

コーディネーターとしての資質向上を図るため、地域支援コーディネーター養成研修をはじめとした下記の研修に参加しました。

実施日	人員・会場	研修名
R6. 4. 11, 12	延べ 75 人 ウェルとばた	地域支援コーディネーター養成研修
R6. 11. 19, 20	4 人 全社協	令和 6 年度地域福祉コーディネーターリーダー研修会 (主催：全社協)

5 地域支援コーディネーター連絡会

地域支援コーディネーター業務の充実及び行政等関係機関・団体との連携を図るため、地域支援コーディネーター連絡会を開催しました。

実施日	R6. 6. 19	R6. 8. 21	R6. 10. 16	R6. 12. 18	R7. 2. 19
人員	18	19	17	19	18
主要議題	○事業進捗状況及び推進方法等について ○行政からの連絡事項等 ○連絡事項・情報提供 ○報告、その他				

◇地域生活支援活動推進事業

公的な福祉サービスだけでは対応の難しい、制度の狭間にいる人の地域生活課題に対応していくため、生活支援活動の担い手を増やし、その活動が円滑に行われるよう、ニーズと活動との需給調整を行う地域生活支援相談員を配置しました。

1 地域生活支援相談員の配置

- ①若 松 区 高須地区 （平成 30 年 12 月から、高須市民センターに配置）
- ②門 司 区 庄司校区 （平成 31 年 3 月から、庄司公民館に配置）
- ③小倉南区 若園校区 （平成 31 年 4 月から、若園市民センターに配置）
- ④小倉南区 貫校区 （令和元年 7 月から、貫市民センターに配置）
- ⑤門 司 区 田野浦校区 （令和 2 年 7 月から、田野浦公民館に配置）
- ⑥小倉南区 守恒校区 （令和 2 年 8 月から、守恒市民センターに配置）
- ⑦小倉北区 西小倉校区 （令和 2 年 11 月から、西小倉市民センターに配置）
- ⑧八幡東区 高槻地区 （令和 3 年 9 月から、高槻市民センターに配置）
- ⑨小倉北区 富野校区 （令和 3 年 9 月から、富野市民センターに配置）
- ⑩戸 畑 区 牧山東地区 （令和 3 年 10 月から、牧山東市民センターに配置）
- ⑪八幡西区 八枝校区 （令和 4 年 3 月から、八枝市民センターに配置）
- ⑫八幡西区 陣原地区 （令和 5 年 2 月から、陣原公民館に配置）
- ⑬門 司 区 小森江西校区 （令和 5 年 3 月から、小森江西年長者いこいの家及び小森江西市民センターに配置）
- ⑭小倉南区 東朽網校区 （令和 5 年 3 月から、東朽網市民センターに配置）

2 事業内容

（１）生活支援活動を担う地域住民等の把握、発掘、養成

地域で生活支援活動を行っている住民や活動希望のある住民の相談・把握を行うとともに、地域での行事や生活支援活動への参加を促しました。

（２）生活支援を必要とする方の把握及び相談

市民センターや公民館などのコミュニティ施設を拠点として、困りごとを抱えた方からの相談に応じました。また、福祉協力員や民生委員・児童委員、老人クラブ等と連携して要支援者の把握を行いました。

○新規相談者 277 人

○内容別相談受付件数

内 容	ゴミ 出し	家の 片づけ ・掃除	同行 (買物・ 通院等)	代行 (買物等)	庭木剪定 草取り	家具等 の修理	見守り	携帯・ PC 操作	その他	合計
件数 (延べ)	208	118	50	171	246	64	224	76	320	1,477

(3) 助け合い活動のための調整活動

助け合い活動の風土づくりのために、生活支援活動の事業周知や、活動実施に必要な訪問活動や会議への参画、その他関係団体との調整活動を行いました。

○助け合い活動のための調整活動

内容	要支援者等への訪問	地域活動(サロン等)への訪問	会議への参画	活動周知	関係団体との打合せ等	合計
件数 (延べ)	363	369	353	405	1,403	2,893

(4) 生活支援活動の需給調整（マッチング）

把握した要支援者やその生活支援ニーズに対して、需給調整（マッチング）を行いました。

○関係機関へのつなぎ

つなぎ先	相談のみ	校(地)区社協	地縁団体(民生委員等)	市社協	行政機関(地域包括等)	社会福祉施設関係	その他	合計
件数 (延べ)	156	775	771	20	140	21	77	1,960

○生活支援活動とのマッチング

内容	ゴミ出し	家の片づけ・掃除	同行(買物・通院等)	代行(買物等)	庭木剪定 草取り	家具等の修理	その他	合計
件数	1,131	128	123	233	469	65	447	2,596

◇民間社会福祉事業従事者共済事業

民間社会福祉事業従事者の福利増進を目的として、脱退一時金の支給等の共済事業と、給付事業やスポーツ観戦、優待食事券等の福利厚生事業を実施しました。また、加入者を管理する事務処理システムの改修を行い、事務の効率化を図りました。

1 共済加入状況の推移

年度	R2	R3	R4	R5	R6
加入施設・団体	212	213	212	207	208
加入人員（人）	4,818	4,866	4,901	4,864	4,821

2 福利厚生事業実施状況

（1）給付事業

結婚祝金、出産祝金、傷病見舞金、香華料、災害見舞金
（計 286 件、2,686,000 円）

（2）貸付事業

厚生貸付 0 件

（3）スポーツ観戦事業

福岡ソフトバンクホークス公式戦
54 組（108 枚）（個人負担額 378,000 円、助成金額 162,000 円）

（4）演劇鑑賞事業

北九州芸術劇場等 1 演目 50 枚（個人負担額 420,000 円、助成金額 180,000 円）

（5）優待食事券

市内レストラン等 3 施設（100 セット）
（個人負担額 700,000 円、助成金額 300,000 円）

（6）家庭用常備薬斡旋事業

1 回目（4 月） 申込施設数 48 施設、申込件数 124 件、申込金額 391,180 円
2 回目（8 月） 申込施設数 51 施設、申込件数 158 件、申込金額 448,080 円
3 回目（1 月） 申込施設数 50 施設、申込件数 126 件、申込金額 365,780 円

3 共済事業事務担当者会議・研修会

実施日	人員・会場	内容
R6. 9. 18	45 人 ウェルとばた オンライン 併用	【テーマ】『幸せのライフスタイル』 ～アドラー心理学の視点から～ 【講師】西南女学院大学 保健福祉学部福祉学科 教授 中島 俊介 氏

◇各施設協議会等との連携

1 各種別社会福祉施設協議会等と連携した地域における公益的な取組や地域公益事業の推進

令和元年度に各種別社会福祉施設協議会（北九州高齢者福祉事業協会、北九州市障害者施設協議会、北九州市障害児施設連盟、北九州市保育所連盟、北九州市立母子生活支援施設、北九州市児童養護施設協議会）と締結した「地域における公益的な取組の推進に関する協定」に基づき、校(地)区社協と社会福祉施設の連携による小地域福祉活動の充実・強化に努めました。

(1) 校(地)区社協と社会福祉施設の連携状況（区別）

	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計
校(地)区社協	6	3	7	4	7	11	6	44
高齢者施設	1	2	4	3	2	6	4	22
障害者施設	2	1	4	1	0	2	1	11
児童施設	2	1	2	3	0	6	0	14
施設数（計）	5	4	10	7	2	14	5	47

	R2	R3	R4	R5	R6
校(地)区社協数	17	31	37	43	44
社会福祉施設数	21	37	42	48	47

(2) 北九州市社会福祉法人地域協議会の運営

「地域公益事業」を実施するための「社会福祉充実計画」を策定した社会福祉法人はありませんでしたが、地域住民その他関係者から地域における福祉ニーズ意見聴取を行うとともに、地域福祉課題の共有とその解決に向けた協議を行いました。

実施日	人員・会場	内容
R6. 7. 30	5 人 ウェルとばた	【議題】 1 北九州市社会福祉法人地域協議会の取り組みについて 2 「地域における公益的な取組」の推進について

2 大都市社会福祉施設協議会(北九州市大会)実行委員会の開催

大都市の社会福祉施設関係者、社会福祉協議会、行政が一堂に会し、福祉課題に対する社会福祉施設等のあり方を研究及び協議する大都市社会福祉施設協議会(北九州市大会)に向け、実行委員会を開催しました。

また、種別を超えた社会福祉施設協議会間の連携体制づくりや、情報交換、共通理解を深めました。

(1) 大都市社会福祉施設協議会実行委員会

実施日	人員・会場	内容
R6. 7. 23	13 人 ウェルとばた	【議題】 1 北九州市社会福祉施設協議会実行委員会正副委員長選出について 2 第 65 回 北九州市大会について

		3 地域における公益的な取組について 4 地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修について
R6. 8. 26	11 人 ウェルとばた	【議題】 1 第 65 回 北九州市大会について 2 北九州市社会福祉大会 3 地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修について
R6. 10. 31	10 人 ウェルとばた (オンライン併用)	【議題】 1 要望書の役割分担・スケジュールについて 2 国などへの要望事項の提出について 3 予算について 4 基調講演・分科会内容について

3 各種別社会福祉施設協議会会議への参画

- ・北九州高齢者福祉事業協会施設長会（1 回）
- ・北九州市障害者施設協議会施設長会（1 回）
- ・北九州市障害児施設連盟施設長会（1 回）
- ・北九州市保育所連盟施設協議会（1 回）
- ・北九州市児童養護施設協議会施設長会（10 回）

4 地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修

実施日	人員・会場	内容
R6. 11. 6	29 人 AIM	【テーマ】 ともに生きる豊かな地域社会の実現に向けて 社協と社会福祉法人のさらなる連携・協働へ 【講師】 職員ワーキング（社協職員 6 名、施設職員 2 名）
R6. 11. 13	26 人 コムシティ	【テーマ】 ともに生きる豊かな地域社会の実現に向けて 社協と社会福祉法人のさらなる連携・協働へ 【講師】 職員ワーキング（社協職員 6 名、施設職員 2 名）

◇民生委員互助共励事業

民生委員・児童委員が、民生委員活動の充実を図り、地域福祉活動の発展に資することを目的として、弔慰金、見舞金、退任慰労金等を支給する互助事業を実施しました。

また、共励事業として、地区民生委員児童委員協議会活動の活性化を図るため、「指定地区民児協事業」について、2地区を指定し事業を実施しました。

1 民生委員互助共励事業給付金支給状況（全社協委託事業）

	公務 死亡	公務 傷病	一般 死亡	配偶者 死亡	一般 傷病	退任 慰労	災害	合計
支給 件数	0	2	4	7	39	15	0	67
金額 (千円)	0	80	120	70	368	73	0	711

2 指定地区民児協事業

- (1) 指定期間 令和5年度～令和6年度の2年間
- (2) 指定地区 小倉北区：日明地区民生委員児童委員協議会
小倉南区：企救丘地区民生委員児童委員協議会

◇生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付制度は、低所得者・障害者又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と民生委員を通じた必要な相談支援を行うことにより、その世帯の経済的自立及び生活意欲の助長促進、在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的としています。

資金の相談の中では、生活困窮者自立支援法に基づく各事業と連携し、効果的、効率的な支援を実施することにより、生活困窮者の自立促進を図りました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による緊急小口資金等の特例貸付の償還に関わるフォローアップ業務を行いました。

1 生活福祉資金貸付状況

(上段：件数、下段：金額、単位：千円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合支援資金	生活支援費	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
		613	0	0	0	363	0	0	0	0	0	0	0	976
	住宅入居費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉資金	技能習得	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,360	2,360
	福祉用具購入	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		0	0	0	0	0	0	92	0	0	0	0	0	92
	障害者自動車購入経費	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	4
		0	1,630	0	0	0	2,341	2,320	895	0	0	0	0	7,186
	住居の移転・給排水設備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	176	0	314	490
	日常生活上一時的経費	0	1	5	6	16	4	2	0	0	1	0	1	36
		0	44	451	561	1,341	381	194	0	0	92	0	95	3,159
教育支援資金	緊急小口資金	2	1	2	4	0	4	0	3	3	0	1	3	23
		200	100	140	388	0	400	0	300	300	0	100	300	2,228
	教育支援費	1	0	1	0	0	2	2	0	7	5	19	8	45
		84	0	444	0	0	654	1,620	0	3,024	1,698	5,250	3,069	15,843
不動産担保型生活資金	就学支度費	1	0	1	0	0	2	2	0	7	5	19	8	45
		199	0	140	0	0	552	1,000	0	1,181	2,060	6,969	1,965	14,066
合 計	臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- ・申請（承認）の件数、金額
- ・福祉資金の生業費・住宅増改築経費・療養費・葬祭費・災害援護資金・不動産担保型生活資金、臨時特例つなぎ資金は今年度申請なし

2 特例貸付の償還に関わる相談対応件数

(単位：件)

相談受付・対応件数							相談後の対応				相談内容（重複あり）						連絡会議	
来所	架電	受電	メール	訪問	その他	合計	貸付を含む社協の支援ツールで対応	関係機関へつなぐ	経過観察	その他	お金・負債	仕事	病気・体調	住まい	家族・孤立	その他	社協内部	関係機関
423	829	523	12	3	10	1,800	262	648	238	652	1,185	201	122	82	86	503	46	22

3 特例貸付の決定・償還状況

(貸付期間 令和2年3月～令和4年9月)(償還状況 令和7年3月末現在)

貸付決定件数(件)	42,815
貸付決定金額(円)	16,524,941,000
償還完了件数(件)	20,670
償還金額(円)	7,657,280,000
(内)償還免除件数(件)	19,021
償還免除金額(円)	7,340,110,000

(緊急小口資金、総合支援資金の総計)

4 特例貸付フォローアップ業務について

(1) 職員研修(フォローアップ・個別支援に関する研修)

実施日	人員・会場	内容
R6.10.16	7人 ウェルとばた	特例貸付フォローアップの取り組み、県内・市内の貸付・償還状況、緊急小口・総合支援資金の償還スケジュール、事務フロー、相談対応の基本姿勢と流れ、主な関係機関、窓口の機能と役割、事例検討 ほか
R6.10.28	15人 ウェルとばた	

(2) アンケート発送・回答状況

計5,136世帯に対し、3回に分けアンケートを発送

(単位：件)

	相談を希望する							相談を希望しない	合計
発送数	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑		
	441	1,541	1,103	345	315	1,080	311		5,136
回答数 (相談希望のみ)	20	96	79	22	25	59	15	189	505
回答率	4.54%	6.23%	7.16%	6.38%	7.94%	5.46%	4.82%	3.68%	9.83%

(3) 相談件数等

(単位：件)

	R6. 4～ R6. 10 平均	R6. 11	R6. 12	R7. 1	R7. 2	R7. 3	計
相談・対応件数 (来所・電話等)	71	207	332	351	208	276	1, 869
うち、アウトリー チ件数(架電)	—	111	207	227	140	175	860

◇生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者の自立支援を目的に、市内全 7 区の相談窓口「いのちをつなぐネットワークコーナー」で、制度の中核・必須である自立相談支援事業を実施しました。

地域の多様な専門機関や福祉活動等と連携して、対象者への相談支援に取り組むとともに、生活困窮者支援を行っている関係機関等とのネットワークづくりや生活困窮者の支援に関する社会資源の開発にも、地域福祉の視点で取り組みました。

また、生活福祉資金の貸付等の利用者への相談支援についても、生活福祉資金相談コーナーと連携しながら行いました。

1 自立相談支援事業の周知と関係機関とのネットワークに関わる業務

(1) 事業の周知及び広報

①区社協広報紙への掲載

掲載物	掲載回数（掲載号）	備考
門司区社協広報紙	2 回（7/15、1/15）	区内全戸配布等
小倉北区社協広報紙	2 回（4/15、1/15）	
小倉南区社協広報紙	4 回（4/15、7/15、10/15、1/15）	
若松区社協広報紙	0 回	
八幡東区社協広報紙	0 回	
八幡西区社協広報紙	2 回（4/15、10/15）	
戸畑区社協広報紙	2 回（9/15、3/15）	

(2) 関係機関とのネットワークづくりに関わる業務

支援調整会議その他の既存の合議体の活用の他に、他の関係機関が行う会議等にも参加し、生活困窮者支援を行っている関係機関等とネットワークづくりに取り組み、支援の際にスムーズに連携できるよう努めました。

【ネットワークづくりを行った主な関係機関・団体】

- ①市及び各区の行政関係機関 7 団体
- ②社協関係（市：1、区：7、校(地)区：155）
- ③民児協関係（地区民児協：133）
- ④その他の関係機関 20 団体

2 自立相談支援機関の運営に関わる業務

(1) 相談支援業務

「生活困窮者自立相談支援事業実施要綱」に基づき相談支援業務を行いました。

(2) 業務の進捗状況の報告及び打ち合わせ

主任相談員（行政:いのちをつなぐネットワーク担当係長）と、業務の進捗状況や業務内容等を報告し、連携を深めました。

(3) 支援調整会議

支援調整会議設置運営要項に則して実施される支援調整会議に参画し、作成した支援計画の適切性等について協議し、関係機関と支援内容を共有しました。

3 成果

(1) 生活困窮者の自立と尊厳の確保

本人の自己選択、自己決定を基本に、経済的自立のみならず日常生活や社会生活の自立など本人の状態に応じた自立を支援するよう努めました。

また、他の制度で対応可能と思われるものについては、適切につなぎ、必要に応じてフォローしました。

(2) 生活困窮者支援を通じた地域づくり

生活困窮者の早期把握や見守りのため、以下のような場を活用し、地域の関係機関・団体との連携に努めました。

- 市社協課長連絡調整会議（毎月）
- 市社協主事会議（適宜）
- 校(地)区社会福祉協議会連絡調整会議（適宜）
- 地域支援コーディネーター養成研修（1回）
- 市・区・地区民生委員児童委員協議会定例会（適宜）
- 民生委員・児童委員研修会（適宜）

4 相談受付支援状況

【相談受付総数と性別、年齢、相談経路（本人特定のみ、本人同意なしを含む）】

		門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	7区計
新規相談受付件数（総数）		247	709	386	91	183	761	95	2,472
	全市に占めるその区の%	10.0%	28.7%	15.6%	3.7%	7.4%	30.8%	3.8%	100%
	月平均件数	20.6	59.1	32.2	7.6	15.3	63.4	7.9	206
	相談員一人当たり月件数	10.3	14.8	10.7	7.6	15.3	15.9	7.9	12.9
プラン作成件数（総数）		98	275	223	31	95	224	33	979
プラン策定率		39.7%	38.8%	57.8%	34.1%	51.9%	29.4%	34.7%	39.6%
就労支援対象者数 (プラン期間中の一般就労を目標にしている)		41	139	146	13	47	75	18	479
法に基づく事業等 利用件数	住居確保給付金	7	35	110	9	22	13	2	198
	一時生活支援事業	0	5	0	0	1	2	0	8
	家計相談支援事業	89	189	73	23	78	212	26	690
	就労準備支援事業	8	0	3	1	5	2	3	22
	就労訓練事業	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立相談支援事業による就労支援	2	0	74	10	34	3	10	133
その他	生活福祉資金による貸付	6	9	5	1	2	2	2	27
	生活保護受給者等就労自立促進事業	2	84	122	0	23	48	5	284
就労者数（一般就労総数）		13	52	44	5	5	39	5	163
	うち就労支援対象プラン作成者分	8	43	30	3	4	31	5	124

増収者数（総数）	14	11	7	2	23	13	3	73
うち就労支援対象プラン作成者分	4	4	3	1	18	3	2	35

5 住居確保給付金の申請受付状況

	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	7区計
住居確保給付金決定件数（総数）	4	37	48	4	15	3	3	114

6 共同事業体の運営

平成 28 年度より、グリーンコープ生活協同組合ふくおかと共同事業体として生活困窮者支援を行っています。業務上の課題解決や、円滑な業務運営を目的とし、会議や状況共有の場を設けています。

実施日	人員・会場	内容
R6. 6. 13	グリーンコープ 4 人 市社協 3 人 ウェルとばた	第 1 回運営委員会
R7. 2. 13	グリーンコープ 4 人 市社協 3 人 ウェルとばた	第 2 回運営委員会

◇潜在保育士の保育所再就職・復帰支援資金貸付事業

平成 28 年 4 月から、保育士の安定的な人材の確保を図るため、「保育士資格を持ち、かつ、現在保育士として勤務していない方」、「1 年以上保育士として働いていない方」を対象に、保育士としての再就職を支援する資金貸付事業を開始しました。

福祉人材の確保に資する取組として、貸付相談窓口を設け、事業を実施しました。

1 貸付の内容と実施状況

(1) 潜在保育士の再就職支援資金の貸付

潜在保育士が保育士として保育所等に勤務することとなった場合に、就職準備金の貸付を行うもの。

	R2	R3	R4	R5	R6
貸付決定件数	15	20	14	15	5
貸付決定金額(円)	5,078,929	7,312,093	5,487,856	4,590,296	1,759,690
免除決定件数	28	31	19	16	10
免除決定金額(円)	8,581,523	10,740,697	6,306,463	5,433,295	3,521,617

(2) 未就学児をもつ潜在保育士の保育所復帰支援資金の貸付

未就学児をもつ潜在保育士が保育所等に勤務することとなった場合に、当該未就学児に係る保育所等の保育料の一部の貸付を行うもの。

	R2	R3	R4	R5	R6
貸付決定件数	23	22	16	16	11
貸付決定金額(円)	5,101,650	4,684,125	2,672,390	3,961,925	2,739,000
免除決定件数	42	36	25	27	8
免除決定金額(円)	9,119,189	6,667,240	5,263,625	5,892,825	1,334,675

◇ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

平成 29 年 7 月から、ひとり親家庭の親の自立の促進を図ることを目的に、高等職業訓練促進資金貸付事業を開始しました。

高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学する方で、将来取得する資格が必要な業務に従事しようとする方に対して資金を貸付け、その就学を容易にすることにより資格取得の促進を図っています。

また令和 3 年 10 月から、自立に向けて意欲的に取り組むひとり親家庭の親に対し、住宅支援資金を貸付け、就労又は稼働所得の高い就労、子どもの高等教育の確保などに繋げ、自立の促進を図っています。

1 貸付の内容と実施状況

(1) 入学準備金

高等職業訓練促進給付金の支給を受け、資格の取得のために養成機関へ入学することになった場合に、入学準備金の貸付を行うもの。

	R2	R3	R4	R5	R6
貸付決定件数	18	32	20	20	10
貸付決定金額(円)	19,000,000	15,711,900	10,000,000	9,800,000	5,000,000
免除決定件数	－	－	－	6	19
免除決定金額(円)	－	－	－	3,000,000	6,888,000

(2) 就職準備金

高等職業訓練促進給付金の支給を受け、養成機関の課程を修了し、取得した資格が必要な業務に従事する場合、その就職に必要な準備金の貸付を行うもの。

	R2	R3	R4	R5	R6
貸付決定件数	22	25	12	26	9
貸付決定金額(円)	4,400,000	5,000,000	2,400,000	5,200,000	18,000,000
免除決定件数	－	－	8	16	23
免除決定金額(円)	－	－	1,600,000	3,200,000	3,406,666

(3) 住宅支援資金

貸付対象者に対して、住宅の借り上げに必要な資金の貸付けを行うもの。

	R2	R3	R4	R5	R6
貸付決定件数	－	12	21	15	16
貸付決定金額(円)	－	5,342,600	9,566,100	6,396,000	6,641,800
免除決定件数	－	－	2	18	17
免除決定金額(円)	－	－	960,000	7,757,500	7,291,200

◇認知症サポーターキャラバン事業

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらう認知症サポーター養成講座の開催や講座の講師役となるキャラバン・メイトの研修や新規登録等を行い、認知症になってもみんなが安心して暮らせる支えあいのまちづくりを目指すとともに、地域・職域においてのサポーター活動の支援を行いました。

令和6年度は、夏休み期間中に放課後児童クラブに通う小学生に講座を27回開催し、1,366名のキッズサポーターを養成しました。また、小学生対象のふくしの出前授業で講座を2回開催しました。認知症サポーター養成講座受講者 5,833人、認知症サポーターステップアップ講座受講者 501人、合計受講者 6,334人、令和6年度末現在の認知症サポーターの累計が110,193人となりました。

1 認知症サポーター養成講座実施状況

受講団体種別		開催回数	サポーター人数
住民団体	校(地)区社協	12	371
	社協関係	19	479
	その他	26	462
企業		22	455
学校		68	3,783
行政		5	283
計		152	5,833

2 認知症サポーターステップアップ講座実施状況

団体種別		開催回数	サポーター人数
住民団体	校(地)区社協	1	31
	社協関係	6	290
	その他	2	56
企業		1	24
学校		3	72
行政		1	28
計		14	501

3 認知症サポーター養成講座の広報

紹介資料・メディア等	
北九州市ホームページ	市政だより
市社協ホームページ	北九州市社協だより・各区社協だより
社会福祉協議会のふくし出前講演	小・中学生向け「ふくしの出前授業」
市・区社協各部署	メール配信システム

4 キャラバン・メイト全体研修の実施

実施日	人員・会場	内 容
R7. 2. 22	45 人 ウェルとばた	キャラバン・メイト全体研修 講義①「北九州市の現状と認知症施策について」 （講師）認知症支援・介護予防センター 認知症対策推進係長 山内 順子 氏 講義②「認知症の予防・治療 ～どこまで解り、何ができるのか～」 （講師）たつのおとしごクリニック 院長 小野 隆生 氏
R6. 10. 22 R7. 2. 10 R7. 3. 5	3 人 個別対応	キャラバン・メイト新任者研修 ・北九州市の現状と認知症施策について ・講座の開催、基本構成について ・認知症サポーター養成講座の配布資料 ・キャラバン・メイト活動意向調査 ・認知症サポーター養成講座の見学案内

5 一般市民向け認知症サポーター養成講座の開催

開催日	会場	キャラバン・メイト	受講人数
R6. 5. 22	ウェルとばた	基礎編：松股 哲也	55
		応用編：石井 朱實	57
R6. 7. 3	ウェルとばた	基礎編：上田 直樹	19
R6. 9. 19	アシスト 21	基礎編：伊藤 哲屋	61
		応用編：北岡 大輝	63
R6. 10. 24	アシスト 21	応用編：田代 久美枝	15
R6. 11. 24	小倉南生涯学習センター	基礎編：大塚 千保	51
		応用編：長崎 修二	49
R7. 1. 25	コムシティ	基礎編：内野 宏二	72
		応用編：山本 美江子	64
R7. 3. 11	門司生涯学習センター	基礎編：和田 洋臣	43
		応用編：藤原 真紀	42

6 メール配信サービス状況

登録者数（人）	5,985	配信回数（回）	7
---------	-------	---------	---

◇高齢者見守りサポーター派遣事業

認知症等により見守りが必要な在宅高齢者を介護する家族などの負担を軽減するため、住民参加型在宅福祉サービスとして「見守りサポーター」を派遣しています。高齢者に寄り添い、見守りや話し相手などを行うことにより、高齢者と家族が安心して地域のなかで生活できるように支援しています。

見守りサポーターの活動上の課題を探るため、研修・連絡会を開催し、サポーターの不安解消と対応技量の向上に努めました。

令和 6 年度は昨年に引き続き、利用者、見守りサポーター両方に感染対策の徹底を義務づけたうえで事業を継続しました。延べ利用者数、サポーター登録数共に増え、派遣延べ回数も大幅に増加しました。

1 派遣状況等

年度	新規利用申請	新規利用登録数	利用登録取消	派遣延べ回数
R4	20	14	14	136
R5	18	15	12	320
R6	9	6	10	379

2 関係機関等との連絡調整

相手先 \ 内容	申請方法	利用内容 活動内容	スケジュール 体調確認	その他	合計
サポーター	0	7	132	5	144
家族	5	8	94	4	111
ケアマネジャー	6	14	5	1	26
地域包括等	2	13	0	4	19
その他（市民等）	3	7	0	9	19
計	16	49	231	23	319

3 過年度利用状況の推移

年度	利用登録者数	延べ利用者数	サポーター数	派遣延べ回数
R2	34	57	43	200
R3	29	54	40	105
R4	29	55	43	136
R5	32	72	52	320
R6	28	84	56	379

4 高齢者見守りサポーターへの研修

実施日	人員・会場	内容
R6. 7. 23	22 人 ウエルとばた	講義「知っておくべき介護保険制度と 認知症の方への対応について」 (講師) 一般社団法人 STARGEORGE 代表 猿渡 真吾 氏
R7. 2. 6	29 人 ウエルとばた	講義①「認知症の知識と対応～基本にかえて～」 グループワーク 「あなたらしいサポーターのありかたは？」 (講師) 認知症・草の根ネットワーク 理事 田代 久美枝 氏 講義②「救急講習～緊急時の対応方法～」 (講師) 戸畑消防署

5 新規サポーター研修（養成・登録研修）

実施日	人員・会場	内容
R6. 8. 21	6 人 ウエルとばた	高齢者見守りサポーター登録研修 (ア) 「北九州市における認知症施策について」 (イ) 見守りサポーター活動について説明
R6. 10. 10	12 人 ウエルとばた	高齢者見守りサポーター養成研修 講義①「北九州市の現状と認知症の施策について」 (講師) 北九州市保健福祉局 認知症支援・介護予防課 認知症対策推進係長 山内 順子 氏 講義③ 見守りサポーターの経験談 (講師) 見守りサポーター 富田 弘子 氏
R7. 3. 19	1 人 ウエルとばた	高齢者見守りサポーター登録研修 (ア) 「北九州市における認知症施策について」 (イ) 見守りサポーター活動について説明

6 事業説明・紹介

内容	回数	人員
年長者研修大学校	8	328
区社協	16	631
居宅・医療・施設	10	218
住民	21	329
企業	13	254
行政	20	623
学校（学生）	19	785
その他	0	0
合計	107	3, 168

7 利用登録者意向確認調査

実施日	対象者	回答数（電話 回答含む）	未回答数	回答率
R7. 1. 6	30	21	9	70%
（調査結果概要 複数回答可） 登録者（令和 5 年度新規登録者と現在利用中の方を除く）を対象にアンケートを実施した。 1. 未利用の理由として、①介護保険で対応 5 人②家族の介護で対応 8 人 ③状態が落ち着いている 4 人 ④施設入所 4 人 ⑤その他 2 人 2. 今後の利用については、①今のところ利用の予定なし 15 人(71%) ②取消希望 5 人(24%)				

8 サポーター一意向確認調査

実施日	人員	更新	辞退
R7. 1. 21	64	56	8

◇高齢者地域交流支援通所事業

高齢者地域交流支援通所事業は、平成 12 年度から北九州市から受託し実施している事業です。市内に居住する在宅の 65 歳以上の高齢者のうち、要介護状態等となる恐れの高い状態にあると認められる方に対し、介護予防や自立支援のためのプログラムを市内 50 か所の市民センターで実施しました。

平均年齢 82.5 歳、約 640 人の高齢者、延べ 40,827 人の利用者が参加して体力年齢の維持向上に努めました。

各市民センターのプログラムの実施状況等は毎月のミーティングで担当指導員が把握し、適切な助言・指導を行うとともに、危機管理等の各市民センターの課題に対しては、ミーティングや年 1 回の現任研修等を通じて留意事項や適切な対応策を確認し、共通認識の醸成等を図りました。

また、支援員や指導員が普段から利用者の認知機能の低下予防やうつ予防の観点から利用者の状況把握に努め、きめ細かい見守りや助言を行うことで、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を推進しました。

1 年間利用状況

区	市民センター	実施日数	登録者数	利用者数	性別		平均利用者数
					男	女	
門司区 ⑦	小森江西	86	16	668	14	654	7.8
	清見	84	11	642	71	571	7.6
	白野江	87	8	768	0	768	8.8
	錦町	84	12	728	79	649	8.7
	萩ヶ丘	86	15	1,055	0	1,055	12.3
	松ヶ江北	84	10	726	0	726	8.6
	丸山	85	12	868	0	868	10.2
小倉北区 ⑨	足原	84	9	602	0	602	7.2
	足立	84	19	975	97	878	11.6
	今町	83	16	1,124	73	1,051	13.5
	清水	87	24	1,416	111	1,305	16.3
	寿山	84	12	842	0	842	10.0
	中島	84	13	993	0	993	11.8
	西小倉	85	11	580	100	480	6.8
	南小倉	86	10	623	0	623	7.2
	井堀	86	9	569	0	569	6.6
小倉南区 ⑨	長行	86	14	885	0	885	10.3
	葛原	87	12	645	0	645	7.4
	曾根	85	16	1,023	0	1,023	12.0
	長尾	86	10	642	145	497	7.5
	貫	87	9	598	0	598	6.9
	東朽網	86	13	947	28	919	11.0
	守恒	86	14	708	51	657	8.2

区	市民センター	実施日数	登録者数	利用者数	性別		平均 利用者数 [u1]
					男	女	
南	湯川	83	10	605	83	522	7.3
	若園	86	12	712	99	613	8.3
若松区 ⑤	赤崎	86	15	953	67	886	11.1
	高須	85	10	666	0	666	7.8
	深町	85	13	733	0	733	8.6
	二島	85	15	975	0	975	11.5
	若松中央	85	18	839	78	761	9.9
八幡東区 ⑤	枝光	83	9	597	0	597	7.2
	枝光南	86	9	637	65	572	7.4
	尾倉	84	10	755	110	645	9.0
	槻田	82	14	946	169	777	11.5
	前田	87	11	819	0	819	9.4
八幡西区 ⑪	青山	84	12	931	80	851	11.1
	赤坂	83	9	664	82	582	8.0
	浅川	85	14	994	0	994	11.7
	池田	85	15	949	42	907	11.2
	永犬丸	87	15	864	0	864	9.9
	大原	82	20	1,040	5	1,035	12.7
	楠橋	86	24	1,722	189	1,533	20.0
	木屋瀬	83	6	468	0	468	5.6
	塔野	84	14	1,026	275	751	12.2
	鳴水	84	12	801	53	748	9.5
	本城	86	7	373	0	373	4.3
戸畑区 ④	大谷	86	17	981	0	981	11.4
	浅生	86	10	681	0	681	7.9
	中原	87	12	939	0	939	10.8
	牧山東	85	8	530	0	530	6.2
計 (50 館)		4,252	636	40,827	2,166	38,661	9.6

2 過年度利用状況の推移

年度	実施館数	登録者数	延実施日数	延利用者数	平均 利用者数
R2	50	584	3,315	24,427	7.4
R3	50	581	3,418	28,845	8.4
R4	50	606	4,436	38,729	8.7
R5	50	624	4,431	40,348	9.1
R6	50	636	4,252	40,827	9.6

3 研修会

実施日	人員・会場	内容
R6. 4. 10 ～R7. 3. 17 の間で延べ 19 回	20 人 (対象：新採職員) 市民センター	令和 6 年度支援員新任者研修 (1) 北九州市社会福祉協議会について (2) 市民センターについて (3) 高齢者地域交流支援通所事業について (講師) 北九州市社会福祉協議会 生活福祉課
R6. 7. 11 (午前) R6. 7. 12 (午後) 延べ 2 回	146 人 ウエルとばた	令和 6 年度支援員現任研修 ・ 非常勤嘱託職員の 10 年永年勤続表彰 ・ 講義「みんなでできるレクリエーション♪」 (講師) Smile Factory Egg 代表 尾中 美穂 氏 ※研修を動画撮影し支援員限定で公開済み
R6. 11. 14	48 人 ウエルとばた	令和 6 年度支援員会議 ・ 講義「地域で活動する支援員の支援力向上のコツ ～幸せの人間関係～」 (講師) 西南女学院大学 保健福祉学部 福祉学科 教授 中島 俊介 氏 ※研修を動画撮影し支援員限定で公開済み
計 (22 回)	214 人	

4 会議

会議名	実施回数	内容
生活福祉課定例会	12	概ね毎月 1 回、事務局、指導員による事業運営に関する連絡調整、事例検討、情報交換・共有等
ミーティング	598	指導員と支援員による業務調整の月例ミーティング (各市民センター月 1 回、2 時間程度)
計	610	

5 「年長者作品展」への出展

例年、高齢者地域交流支援通所事業のプログラムの中で利用者が製作した様々な作品を、門司区・小倉北区・戸畑区を除く区事務所主催の「年長者作品展」に出展しています。

開催区	実施日	会場
小倉南	R6. 9. 3～R6. 9. 7	小倉南生涯学習センター2 階 展示コーナー
若松	R6. 11. 11～R6. 11. 13	若松市民会館 1 階 美術展示室
八幡東	R6. 9. 9～R6. 9. 13	八幡東区社会福祉センター3 階 研修室
八幡西	R6. 9. 9～R6. 9. 14	コムシティ 3 階 黒崎市民ギャラリー

6 指導員による業務支援

種別	回数	内容
指導員の話	51	指導員による自主テーマの出前講演プログラム 〔主なテーマ〕介護予防、認知症について、カスタマーハラスメントについてなど
プログラム運営支援	246	臨時的事業や介護予防プログラム等の支援及び補助、定期的な巡回による相談対応、助言等
訪問指導	689	庶務・経理事務指導、事故処理、情報伝達等の事業運営に必要な事務連絡及び調整
代替業務	10	支援員の休務の際のバックアップ
計	996	

7 各種交流事業

種別	回数	内容
世代間交流	2	未就学児の子と保護者を対象とした「わんぱく広場」と一緒にイベントを行った（赤崎・尾倉）
地域・団体との交流	42	市民センターの避難訓練に参加（寿山・赤崎） ふれあい昼食会に参加（清見・浅川・本城・浅生）
計	44	

8 実習生の受入

実施日	人員・会場	内容
R6. 8. 5～8. 30 の間で計 4 日	水巻看護助産学校 6 人 清水市民センター 永犬丸市民センター	・実習「高齢者地域交流支援通所事業」へ参加
R6. 8. 28	大学生 6 人 ウェルとばた	相談援助実習 ・講義「生活福祉課事業概要」について

9 支援員面接選考

実施日	会場	内容
R6. 4. 18 ～R7. 3. 21 の間で延べ5回	各市民センター	一般公募により応募のあった候補者に対し、選考委員会（市民センター館長、まちづくり協議会、市社協で構成）を設けて面接選考試験を実施

10 広報・啓発

内容	実施回数
事業チラシの改定及び関係各所への配布	1
事業実施市民センターHPにおける事業紹介ページの追加・修正依頼	1
市民センターだより掲載、各種交流事業等でのPRによる利用者募集	13
市民センターだより掲載、チラシ配布、ポスター掲示による支援員募	6
計(一部重複)	21

◇介護サービス相談員派遣事業

介護サービス相談員派遣事業は介護サービスの質の向上を図ることを目的として、相談員を介護事業所に派遣し、入所者や家族から介護サービス等に関する相談を受け、相談者に代わり事業者によりサービス向上、改善に結びつく提案などを行うものです。

感染症予防の観点から、介護サービス相談員の受け入れができない事業所が一定数ありましたが、令和6年度は登録84事業所のうち73事業所に対し897回の訪問活動を行いました。

また、介護サービス相談員養成研修（全国研修）に3名が参加、介護サービス相談員となり活動することができました。

運営推進会議については、介護サービス相談員の参加は109回でした。

1 訪問・相談等実施状況

施設種別	訪問		話を聞いた		相談件数						気づき
					事業所に 伝えた件数			相談者の希望に より伝えなかつ た件数			事業所 に 伝 え た 件 数
	回数	時間	人数	件数	利用 者 に つ い て	施 設 に つ い て	そ の 他	利用 者 に つ い て	施 設 に つ い て	そ の 他	
介護老人福祉施設	299	463:45	2,441	7,171	1	8	0	0	1	0	17
介護老人保健施設	71	143:17	616	2,551	7	9	1	0	1	0	2
認知症対応型共同生活介護	355	550:40	2,272	9,689	4	6	1	0	2	0	21
介護療養型医療施設	24	42:05	104	697	0	3	0	0	0	0	11
小規模多機能型居宅介護	120	124:20	580	2,187	0	1	0	0	0	0	1
住宅型有料老人ホーム	28	39:15	193	810	1	6	4	0	1	0	9
計	897	1,363:22	6,206	23,105	13	33	6	0	5	0	61

2 過年度派遣事業の推移

年度	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	通所介護	通所リハビリテーション	認知症対応型共同生活介護	介護療養型医療施設	小規模多機能型居宅介護	住宅型有料老人ホーム	合計 (カ所)	相談員数 (人)
R2	35	9	0	0	39	2	10	—	95	74
R3	34	8	0	0	38	2	10	—	92	58
R4	32	8	0	0	32	2	8	5	87	59
R5	29	7	0	0	32	2	8	5	83	58
R6	27	8	0	0	33	2	9	5	84	53

3 派遣事業所数

施設種別	R6 年度募集 (R7 派遣開始)	R6 派遣事業所 (R6. 4)	R6 終了事業所	合計 (カ所) (R7. 4)
介護老人福祉施設	2	27	0	29
介護老人保健施設	1	8	0	9
認知症対応型共同生活介護	3	33	1	35
介護療養型医療施設	0	2	0	2
小規模多機能型居宅介護	0	9	0	9
住宅型有料老人ホーム	0	5	0	5
計	6	84	1	89

4 派遣終了事業所

施設名称	派遣終了 事業所数	派遣年数	派遣期間
認知症対応型共同生活介護	1	8	H29. 4～R7. 3
合 計	1 カ所		

5 介護サービス相談員構成

(単位: 人)

内 訳	男性	女性	合計
高齢者地域交流支援通所事業 支援員	0	5	5
見守りサポーター	0	14	14
北九州市役所・北九州市社会福祉協議会 OB	2	0	2
一般公募者 (平成 20 年度より)	2	14	16
権利擁護・市民後見センター支援員	1	5	6
介護支援ボランティア	0	3	3
その他	0	7	7
計	5	48	53

6 介護サービス相談員連絡会

実施日	人員・会場	内容 <u>[u2]</u>
R6. 5. 31	41 人 ウエルとばた	【第 1 回】 講義「権利擁護、成年後見制度について」 (講師) 北九州市社会福祉協議会 権利擁護課長 藤本 直子
R6. 8. 22	39 人 ウエルとばた	【第 2 回】 講義「介護サービス相談員養成研修伝達報告」 (講師) 北九州市社会福祉協議会 生活福祉課長 安倍 裕介 グループワーク

R6. 11. 26	36 人 ウェルとばた	【第 3 回】 講義「介護保険の概要と取り組みについて」 （講師）北九州市 保健福祉局 介護保険課 事業者支援係長 三木 大典 氏 グループワーク
R7. 2. 26	37 人 ウェルとばた	【第 4 回】 講義「認知症の理解と介護サービス相談員の役割と意義」 （講師）医療法人秀英会 新庄整形外科医院 居宅介護支援事業所 管理者 北岡 大輝 氏

7 令和 6 年度介護サービス相談員養成研修（研修受講後、規定時間の同行演習を実施）

日程	人員・会場	内容[u3]
R6. 7. 9	3 名 東京会場 (KFC ホール)	【第 1 日目】 ・介護サービス相談員の意義と役割 （講師）介護サービス相談・地域づくり連絡会 ・教養としての社会保障 （講師）兵庫県立大学 社会学科 特任教授 香取 照幸 氏 ・介護保険制度① （講師）厚生労働省 老健局
R6. 7. 10	3 名 東京会場 (KFC ホール)	【第 2 日目】 ・介護保険制度② （講師）厚生労働省 老健局 ・施設サービスの理解 （講師）特別養護老人ホーム 美里ヒルズ 施設長 世古口 正臣 氏 ・居宅介護とケアマネジメント （講師）佐久大学 客員教授 唐澤 剛 氏 ・身体拘束への対応 （講師）NPO 法人メイアイヘルプユー 事務局長 鳥海 房枝 氏 ・虐待への対応 （講師）地域共生政策自治体連携機構

8 運営推進会議の参加状況

年度	事業所数	運営推進会議 参加依頼件数	運営推進会議 出席件数	参加率[u4]
R2	120 カ所	0	0	0%
R3	120 カ所	0	0	0%
R4	109 カ所	16	16	100%
R5	99 カ所	98	82	84%
R6	100 カ所	123	109	89%

◇権利擁護・市民後見センター事業

1 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）

地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）では、判断能力が不十分な高齢者や障害者の権利と財産を守るため、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行う「金銭管理・生活支援サービス」、大切なものをお預かりする「財産保管サービス」を実施しています。コロナ禍のため、感染予防に留意しながら新規調査を行い、今年度の新規契約者数は53人（昨年比6人増）で、年度末の実契約者数は276人でした。

また、地域福祉権利擁護事業と成年後見制度についての理解を深め、その一体的な展開に向けて関係者がどう連携すべきかを学ぶために、各区域で権利擁護セミナーや出前講演を開催しており、今年度は小倉南区、八幡東区で権利擁護セミナーを開催いたしました。令和6年度で北九州市地域福祉活動計画第六次計画の目標を達成しました。

（1）事業運営の適正化

- ア 運用委員会の開催（4回）
- イ 会計監査の実施（1回 対象者 257人）
- ウ 事業監査の実施（1回 対象者 235人）
- エ 金銭管理・財産保管サービス管理状況報告書の発行（全利用者）

（2）関係機関・団体等とのネットワークづくり

- ア 権利擁護セミナーの開催（2回）
 - 小倉南区民生委員児童委員協議会全員研修 参加者 204人
 - 八幡東区福祉協力員研修 参加者 17人
- イ 北九州成年後見センター理事会への参加（12回）
- ウ 北九州成年後見センター業務管理委員会への参加（6回）
- エ 北九州市成年後見支援センター受任調整会議への参加（12回）
- オ 北九州市成年後見支援センター地域連携ネットワーク会議への参加（12回）
- カ 福岡県弁護士会北九州部会高齢者・障害者事例検討会への参加（3回）
- キ 別府市社会福祉協議会 視察受入れ 参加者 20人

（3）職員資質向上のための事業

- ア 専門員・支援員合同研修会の開催（2回）
 - 第2回目は、「北九州市社会貢献型市民後見人養成事業」フォローアップ研修を聴講し、専門員・支援員合同研修会に充てました。
- イ 専門性を高めるための研修会への参加（8回）

（4）広報・啓発活動の促進

- ア 出前講演「あんしんな暮らしのお手伝い」（6回 参加者 100人）
- イ らいとホームページの活用
- ウ 権利擁護セミナーの開催（2回）【再掲】
 - 小倉南区民生委員児童委員協議会全員研修 参加者 204人
 - 八幡東区福祉協力員研修 参加者 17人

(5) サービス内容

ア 相談

(ア) 内容 (件数)

相談内容 \ 相談者	本人	家族・親族	行政機関			障害者支援団体	介護事業所	民生委員	区社協	施設	医療機関	支援団体	ホームレス	その他	合計
			保健福祉	包括支援	保護										
金 銭 管 理	7	5	4	6	38	25	54	0	0	10	16	0	5	170	
財 産 保 全 ・ 財 産 侵 害	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3	
相 続 ・ 遺 言	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
福祉サービスへの苦情	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	
日 常 生 活 の 問 題	3	7	1	0	1	2	1	0	1	2	0	1	2	21	
福祉サービスの手続き	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
親 族 ・ 家 族 関 係	1	7	1	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	13	
成 年 後 見 制 度	5	12	1	0	1	2	9	0	0	1	0	1	2	34	
その他（本事業の問い合わせ）	18	29	3	2	15	13	19	0	1	5	14	2	12	133	
合 計	37	63	10	8	57	43	86	0	2	19	30	5	21	381	

(イ) 対象者 (件数)

相談の対象者		相談者	本人	家族・親族	行政機関			障害者支援団体	介護事業所	民生委員	区社協	施設	医療機関	ホームレス支援団体	その他	合計
					保健福祉	包括支援	保護									
認知症高齢者			5	25	1	5	23	0	60	0	0	5	14	1	2	141
障害者	知的		4	4	1	0	5	11	3	0	0	1	4	0	7	40
	精神		15	9	3	2	19	23	9	0	0	6	9	1	5	101
その他			2	2	2	1	5	5	3	0	1	2	4	1	4	32
合計			26	40	7	8	52	39	75	0	1	14	31	3	18	314

イ 調査および調整 (件数)

	認知症 高齢者	障 害 者		その他	合 計
		知的	精神		
調 査	594	428	592	14	1,628
調 整	3,626	2,494	4,150	72	10,342

ウ 他機関紹介 (件数)

弁護士会	司 法 書士会	社会福 祉士会	消費生活 センター	行政 機関	介護支援 事業者	施 設	医療機関	その他	合 計
0	0	0	0	2	0	0	0	27	29

エ 契約締結状況

(ア) 件数

	認知症 高齢者	障 害 者		その他	合計
		知的	精神		
前年度までの契約締結件数(A)	126	104	87	10	327
財産保管	18	39	18	3	78
金銭管理・生活支援	108	65	69	7	249
今年度の契約締結件数(B)	27	15	17	0	59
財産保管	2	5	1	0	8
金銭管理・生活支援	25	10	16	0	51
今年度の契約解除件数(C)	31	7	6	0	44
財産保管	6	3	1	0	10
金銭管理・生活支援	25	4	5	0	34
今年度末の契約締結(A+B-C)	122	112	98	10	342
財産保管	14	41	18	3	76
金銭管理・生活支援	108	71	80	7	266

(イ) 契約内容別 (人数)

	金銭管理・財産保管	金銭管理のみ	財産保管のみ	合計
契約締結者数	65	201	10	276

(ウ) 契約者の居住区 (人数)

門 司	小倉北	小倉南	若 松	八幡東	八幡西	戸 畑	合 計
25	90	46	24	29	42	20	276

(エ) 解約理由 (件数)

	認知症 高齢者	障 害 者		その他	合 計
		知的	精神		
死 亡	13	1	2	0	16
市 外 へ 転 居	2	0	2	0	4
入 院 ・ 入 所	0	0	0	0	0
本 人 の 意 思	6	2	0	0	8
能 力 の 喪 失	0	0	0	0	0
管 理 の 移 管	4	1	1	0	6
合 計	24	4	5	0	34

オ サービスの実施状況（件数）

		認知症 高齢者	障 害 者		その他	合 計
			知的	精神		
財 産 保 管 サ ー ビ ス		0	4	3	0	7
金 銭 管 理 サ ー ビ ス		1,681	1,284	1,322	108	4,395
生活支援サービス	定 期 訪 問 に よ る 見 守 り	1,558	1,246	1,249	106	4,159
	福祉サービスの利用状況の確認・情報提供	1,459	949	1,084	106	3,598
	福祉サービスの利用手続きに関すること	1	0	1	0	2
	諸 手 続 き の 同 行 ・ 代 行	99	56	54	7	216
	権利侵害等の問題を関係機関につなぐ	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0
合 計		4,798	3,539	3,713	327	12,377

（６）利用者の推移

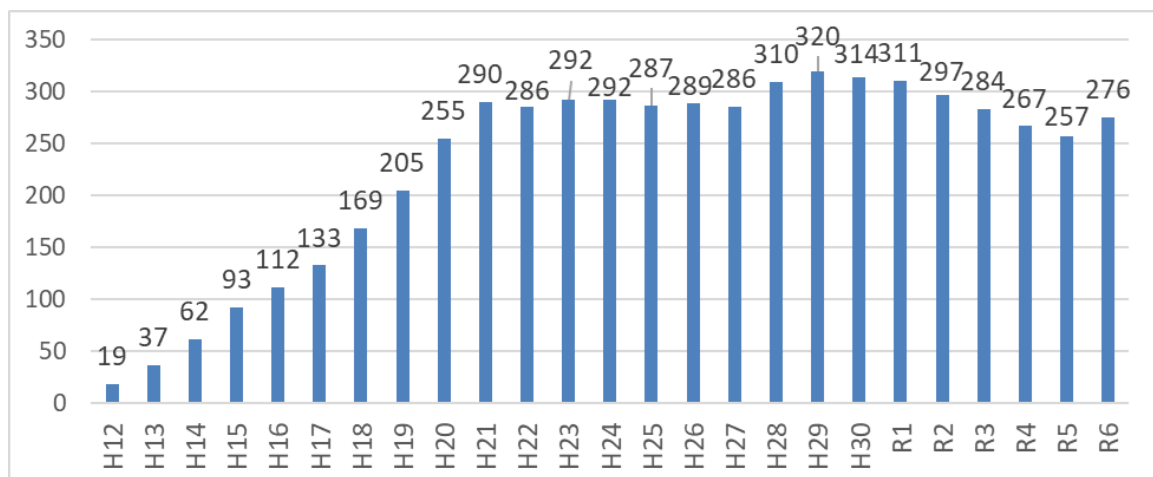
ア 年度別契約成立者数の推移（人数）

年度	認知症 高齢者	知 的 障害者	精 神 障害者	その他	計	前年度比
R2	16	5	13	1	35	▲16(31%減)
R3	21	2	12	0	35	0(0%)
R4	21	9	12	1	43	8(23%増)
R5	22	9	16	0	47	4(9%増)
R6	25	12	16	0	53	6(13%増)

イ 各年度末利用者実数の推移（人数）

年度	認知症 高齢者	知 的 障害者	精 神 障害者	その他	計	前年度比
R2	146	81	59	11	297	▲14(5%減)
R3	138	75	63	8	284	▲13(5%減)
R4	119	74	66	8	267	▲17(6%減)
R5	108	71	71	7	257	▲10(4%減)
R6	108	79	82	7	276	19(7%増)

【H12～年度末利用者実数の推移】



2 法人後見事業

国の成年後見制度利用促進計画が策定され、各市区町村における権利擁護支援の地域連携ネットワークづくりが進められるなか、成年後見制度の需要は今後さらに増大することが見込まれています。そのため、弁護士などの専門職による後見人がその役割を担うだけでなく、専門職後見人以外の市民を含めた後見人を中心とした支援体制を構築する取組が全国で進められています。

国が市民後見人の活動を推進する背景には、社会貢献意欲の高い市民が後見人として活躍することで、地域における市民同士の互助・共助の意識が高まることへの期待があり、本市においても、倫理観の高い市民が後見人として個人で活動できるための仕組みづくりを、市や専門職、家庭裁判所と協議しています。

本会が平成 21 年度から取り組んでいる法人後見事業では、社会貢献型市民後見人養成研修の修了生である「支援員」が、後見担当専門員等と協議しながら、市民の視点で、対象者に寄り添った後見活動を行っており、令和 6 年度末現在の受任件数は 36 件（成年被後見人 21 人、被保佐人 12 人、被補助人 3 人）となっています。

（１）事業運営の適正化

- ア 運用委員会の開催（４回）【再掲】
- イ 会計監査の実施（１回 対象者 38 人）

（２）関係機関・団体等とのネットワークづくり

- ア 権利擁護セミナーの開催（２回）【再掲】
 - 小倉南区民生委員児童委員協議会全員研修 参加者 204 人
 - 八幡東区福祉協力員研修 参加者 17 人
- イ 北九州成年後見センター理事会への参加（12 回）【再掲】
- ウ 北九州成年後見センター業務監理委員会への参加（６回）【再掲】
- エ 北九州市成年後見支援センター受任調整会議への参加（12 回）
- オ 北九州市成年後見支援センター地域連携ネットワーク会議への参加（12 回）
- カ 福岡県弁護士会北九州部会高齢者・障害者事例検討会への参加（３回）【再掲】

（３）職員の資質向上のための事業

- ア 専門員・支援員合同研修会の開催（２回）【再掲】
- イ 専門性を高めるための研修会への参加（５回）

（４）広報・啓発活動の促進

- ア 出前講演「あんしんな暮らしのお手伝い」（６回 参加者 100 人）【再掲】
- イ らいとホームページの活用【再掲】
- ウ 権利擁護セミナーの開催（２回）【再掲】
 - 小倉南区民生委員児童委員協議会全員研修 参加者 204 人
 - 八幡東区福祉協力員研修 参加者 17 人

（５）法人後見事業の受任状況

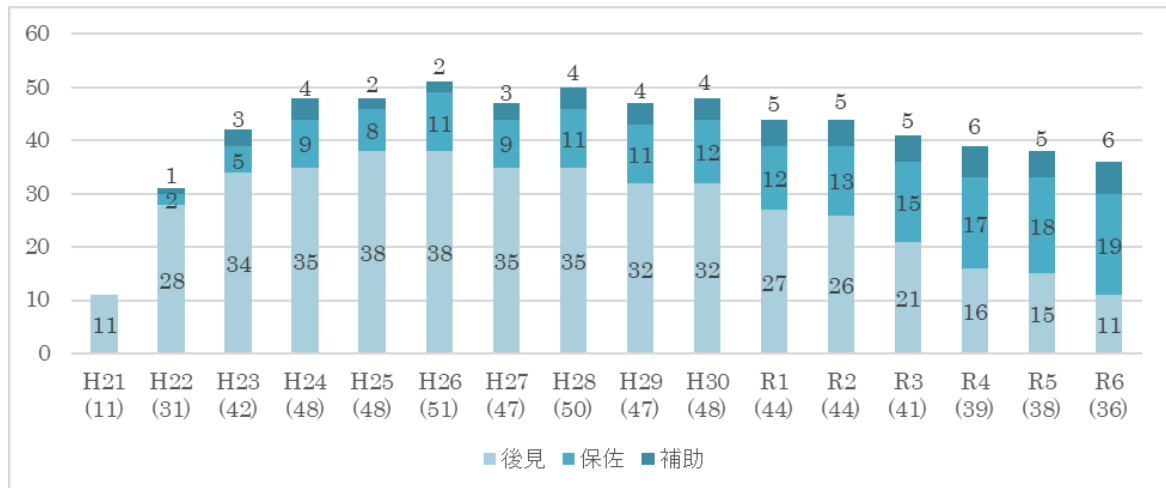
- ア 年度末受任状況（36 件：後見 21 件、保佐 12 件、補助 3 件）
- イ 新規受任状況（3 件：後見 3 件、保佐 0 件、補助 0 件）
（市長申立：3 件（病院：1、施設：2））
- ウ 年間活動回数（1,037 回）

エ 年度別受任状況の推移

(単位：件)

年度	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	計	前年度比
R2	26	13	5	44	0 (0%)
R3	21	15	5	41	▲3 (7%減)
R4	16	17	6	39	▲2 (5%減)
R5	15	18	5	38	▲1 (3%減)
R6	11	19	6	36	▲2 (5%減)

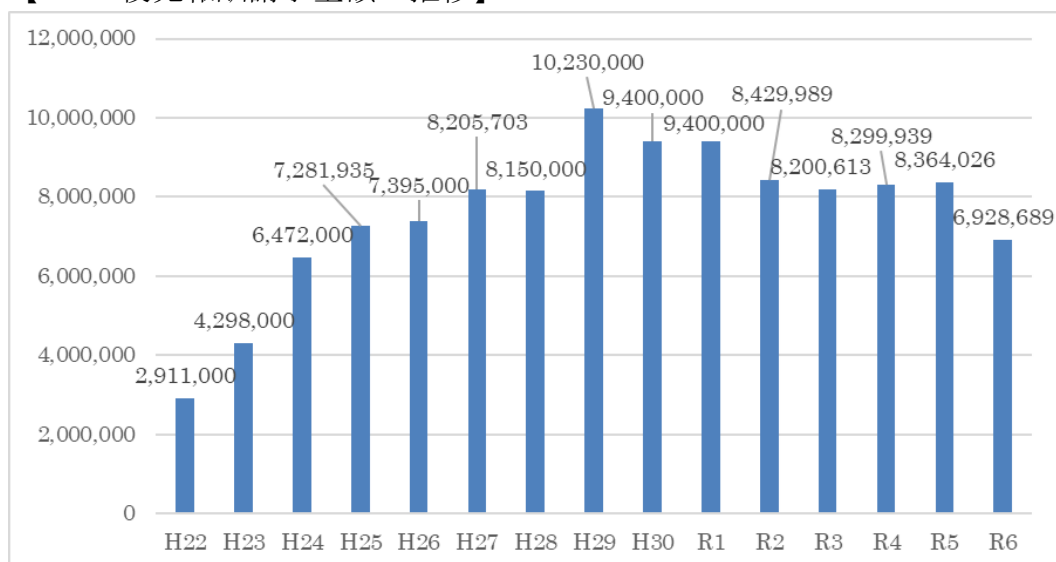
【H21～年度末受任状況の推移】



オ 後見報酬請求状況

年度	後見 (件)	保佐 (件)	補助 (件)	計 (件)	報酬金額 (円)
R2	26	12	5	43	8,429,989
R3	25	12	5	42	8,200,613
R4	22	13	4	39	8,299,939
R5	25	15	4	44	8,364,026
R6	22	13	3	38	6,928,689

【H22～後見報酬請求金額の推移】



3 市民後見人養成・支援事業（成年後見制度利用促進計画への参画）

成年後見制度の普及に伴い後見人不足が懸念される中、地域福祉の担い手として、本人に寄り添い支援する市民後見人の育成が全国的に進められ、その活躍が期待されています。

北九州市では、平成19年度から社会貢献型市民後見人養成研修を開催し、これまでに第11期生までの155名が全課程を修了しています。

同時に、市民後見人が安心して活動できるようサポートするしくみが不可欠であることから、本会が平成21年度から取り組んできた法人後見事業で培ってきたノウハウを活かしながら、市民後見人が活躍できるサポート体制を整備してきました。

これまで、本会が法人で受任中の案件を引き継ぐリレー方式で令和元年9月に県内初となる市民後見人（令和元年11月終了）が、令和2年6月には2人目、令和5年3月には3人目の市民後見人が選任され、活動されています。

また、令和5年度からは家庭裁判所から推薦依頼のあった案件について市民後見人を選定し、本会等の関係団体との複数受任という新たな形式で2人の市民後見人が選任されました。

令和6年度は第11期社会貢献型市民後見人養成研修実務研修を開催した他、第1～10期養成研修の修了生を対象としたフォローアップ研修を開催しました。

また、修了生155名のうち27名は、個人で市民後見人として活動を行うことを希望しており、「北九州市市民後見人候補者名簿」へ登録される予定です。

（1）社会貢献型市民後見人養成事業

ア 第11期 北九州市社会貢献型市民後見人養成事業実務研修（全9日間）

実施日	人員・会場	内容
R6. 7. 13	社会貢献型市民後見人養成事業へ参加を希望するもので、選考試験に合格した者 13人 ウェルとばた	① オリエンテーション 北九州市社会福祉協議会 ② 対人援助の基礎（1） 福岡県社会福祉士会 社会福祉士 猿渡 真吾 氏 ③ 事例検討（1） （障害者に関して） 北九州市障害者基幹相談支援センター センター長 山田 貴広 氏 副センター長 村上 未衣 氏 弁護士 河原 一雅 氏 ④ 同行実習での留意点 （法人後見事業） 権利擁護・市民後見センター 次長 藤本 直子
R6. 8. 3	13人 ウェルとばた	（ア）施設実習での留意点 社会福祉法人年長者の里 （グループホーム八幡） 総務課課長 局 亮 氏 戸畑障害者地域活動センター センター長 原田 敦子 氏 （イ）成年後見実務の概要

		リーガルサポート 司法書士 田代 洋平 氏 (ウ) 後見等開始申立の実務 リーガルサポート 司法書士 大城 明恵 氏 (エ) 後見人就任直後の職務 リーガルサポート 司法書士 森上 恵美香 氏
R6. 8. 24	13 人 ウェルとばた	(ア) 後見人就任中の職務 リーガルサポート 司法書士 大城 明恵 氏 (イ) 事例検討 (2) (身上監護) リーガルサポート 司法書士 【解説】平原 嘉章 氏、山崎 裕一 氏 【チューター】五反田 猛 氏
R6. 9. 7	13 人 ウェルとばた	① 後見終了時の職務 リーガルサポート 司法書士 恒松 史帆 氏 ② 事例検討 (3) (金銭管理・財産保護) リーガルサポート 司法書士 【解説】田上 伸之 氏、奥原 良子 氏 【チューター】本多 寿之 氏
R6. 9. 27	13 人 家庭裁判所 小倉支部 ウェルとばた	① 家庭裁判所の実際 福岡家庭裁判所 ② 家庭裁判所見学 福岡家庭裁判所 ③ 事例検討 (4) (高齢者に関して) 戸畑区統括支援センター 社会福祉士 岩田 尋美 氏 弁護士 河原 一雅 氏
R6. 10. 19	13 人 ウェルとばた	① 事例検討 (5) (精神障害者に関して) ネスト相談支援室 室長 佐藤 みずほ 氏 弁護士 河原 一雅 氏
R6. 7～10	12 人 ウェルとばた	① 同行実習 (法人後見事業)

R6. 8～10	11 人 施設	① 施設実習
----------	------------	--------

ウ 北九州市社会貢献型市民後見人養成事業フォローアップ研修

実施日	人員・会場	内容
R7. 2. 9	北九州市市民 後見人養成研 修修了者 47 人 ウェルとばた	① 市民後見人の活動について 市民後見人の会・ながさき 理事長 岸部 誠 氏 ② 市民後見人の活動報告 市民後見人 一般社団法人 北九州成年後見センター 「みると」 ③ 「北九州市社会貢献型市民後見人候補者名簿」 登録更新説明会 北九州市保健福祉局長寿社会対策課

(2) 市民後見人支援事業

ア 市民後見人の管理

- (ア) 市民後見人名簿の作成・更新
- (イ) 市民後見人受任案件の選定 (1 件)
- (ウ) 市民後見人活動の手引きの作成

イ 市民後見人の支援

- (ア) 後見監督人の受任 (1 件)
- (イ) 市民後見人の支援 (4 件)
 - 初回面談、活動の手引き等の配布、就任直後の支援
 - 家庭裁判所への報告書作成支援、賠償責任保険契約の締結
 - 相談対応 (随時)、定期的な面談

◇終活相談事業

終活に関する広報・啓発に取り組むことで終活への市民の関心を高めました。

また、実際に終活に不安を抱える人への対応として、相談を受付できる体制を整えるとともに、必要な支援につないでいくための関係者間のネットワークづくりに努めました。

1 終活相談実施状況

(1) 相談者数 89 人 (73 組)

	R3	R4	R5	R6
対応件数	32 組 (33 人)	52 組 (58 人)	58 組 (71 人)	73 組 (89 人)

(2) 相談者の年齢・性別

	50 歳未満	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上	計
男性	1	1	4	11	7	24
女性	1	5	15	29	15	65
計	2	6	19	40	22	89

(3) 相談者の居住区

区名	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	市外・不明	計
人数	7	19	11	10	16	17	6	3	89

(4) 対応

内容	相談終了	相談継続	再度終活相談を希望	弁護士紹介を希望	関係機関紹介	計
件数	88	0	0	0	1	89

(5) 相談内容 195 件

内容	葬儀	納骨・墓	死後事務委任	遺言書作成	入退院時支援	不動産売却	家財処分	成年後見制度	財産管理	家族・親族関係	その他	計
R3	17	16	-	15	2	2	2	9	5	18	10	96
R4	11	14	19	22	1	10	6	5	2	11	15	116
R5	13	22	17	18	5	15	8	11	7	20	22	158
R6	14	28	36	31	3	10	5	10	4	26	28	195

2 広報・啓発活動

(1) 井筒屋健活・悠活・終活フェアへの参加

実施日	会場・人員	内容
R6. 10. 4 ～5	小倉井筒屋 パステルホール ブース来場者 数：140 人 講演受講者数： 50 人	① 講演 「私のこれからノート～エンディングノート活用ポイント～」 ② 相談会 ブース来場者の終活に関する相談に対応

(2) 終活出前講演

エンディングノートの書き方講座 (20 回 547 人)

3 死後事務委任契約事業

(1) 法律専門職や信託会社、生命保険会社との協議 (4 回)

◇ボランティア振興事業

1 福祉教育事業

夏休み期間中に中・高校生を対象とした「保育所での夏ボランティア体験学習」を実施しました。また、令和5年度に引続き小学4年生～中学3年生の児童・生徒とその保護者を対象とした親子手話体験教室を開催しました。

その他に、施設や企業等の多様な主体と協働した福祉教育推進委員会の協力のもと、小・中学校やウェルクラブ活動で実施する福祉教育プログラムを実施するとともに、北九州市立大学の大学生で組織する「福祉教育サポーター」の定例会において情報共有を行い、今後の方向性を検討しました。

(1) ボランティア体験学習

実施日	人員・会場	内容
R6. 8. 17	6 家族 12 人 ウェルとばた	親子手話体験教室

過去5年実績

年度	R2	R3	R4	R5	R6
参加人数	21	19	16	33	37
福祉施設体験	0	0	0	0	25
イベント参加等	21	19	16	33	12

(2) 福祉教育推進委員会

委員会構成団体：公益社団法人北九州高齢者福祉事業協会、北九州市障害福祉団体連絡協議会、一般社団法人先天性ミオパチーの会、北九州市教育委員会、北九州市立大学、株式会社ギラヴァンツ北九州、東戸畑地区社会福祉協議会（以上7団体）

実施日	人員・会場	内容
R6. 6. 28	6 人 ウェルとばた	・委員およびオブザーバー職員紹介 ・小・中学生向け「ふくしの出前授業」リーフレット配布について ・令和6年度 福祉教育推進に向けた取り組みについて
R7. 3. 12	6 人 ウェルとばた	・令和6年度「ふくしの出前授業」実施報告について ・令和7年度 福祉教育推進に関する取り組みについて

(3) 北九州市立大学地域創生学群大学生（福祉教育サポーター）との定例会

実施日	人員・会場	内容
R6. 4. 12	17 人 北九州市立大学	・自己紹介 ・大学生からの福祉教育教材（すごろく・ビンゴ）作成状況報告 ・福祉教育サポーター協力依頼について
R6. 5. 24	13 人 北九州市立大学	・小・中学生向け「ふくしの出前授業」リーフレット配布について ・大学生からの福祉教育教材（すごろく・ビンゴ）作成状況報告
R6. 7. 19	11 人 北九州市立大学	・小・中学生向け「ふくしの出前授業」プログラムについて
R6. 10. 8	22 人 北九州市立大学	・小・中学生向け「ふくしの出前授業」実施報告について
R6. 11. 12	20 人 北九州市立大学	・小・中学生向け「ふくしの出前授業」実施報告について
R7. 1. 21	16 人 北九州市立大学	・高校生向け「福祉講座」について

(4) 「ふくしの出前授業」

ア 実施対象

実施対象（場所）	実施校（団体）数	実施メニュー数
小学校	15	32
中学校	1	2
ウェルクラブ・子ども民生委員	4	6
地域活動者（民生委員・児童委員、福祉協力員等）、地域住民	9	10
その他関係団体等	2	2
計	31	52

イ 実施プログラム・メニュー

メニュー	プログラム1：「ふくし」ってなんだろう？	件数
1	・ふくしについて考える ・大学生が作成した福祉教育教材（ビンゴやすごろく）で学ぶ	19
2	・バリアフリーやユニバーサルデザインについて学ぶ ・身近なユニバーサルデザインの商品に触れてみる	4
	計	23

メニュー	プログラム2：人ごとなんかじゃない！「年を取る」ってどういうこと？	件数
1	・高齢者福祉施設で働いている人のお話を聞く ・加齢による身体の変化を体験してみる	10

2	・認知症について理解を深める (子ども向け認知症サポーター養成講座)	4
3	・いきいきと生活している高齢者のゲストティーチャーからお話を聞く ・授業をふり返って自分にできることを考える	3
計		17

メニュー	プログラム3: 人ごとなんかじゃない! 「障害がある」ってどういうこと?	件数
1	・北九州市障害福祉団体連絡協議会による障害者による障害体験学習	4
2	・ギラヴァンツ北九州によるブラインドサッカー体験	1
3	・病気や障害があっても、いきいきと生活しているゲストティーチャーからお話を聞く ・授業をふり返って自分にできることを考える	5
計		10

メニュー	プログラム4: 寄付と募金のはなし	件数
1	・赤い羽根共同募金などの募金活動や寄付付き商品についてのお話 ・おもちゃのお金を使って寄付の体験をしてみる	0
2	・赤い羽根共同募金などの募金活動や寄付付き商品についてのお話 ・クラウドファンディングやふるさと納税を財源とした「ふくし」の活動を知る	0
計		0

メニュー	プログラム5: やってみよう! ボランティア活動	件数
1	・ボランティア活動やウエルクラブ活動についてのお話 ・ボランティア活動をしているゲストティーチャーによるお話	0
2	・福祉車両(シルバーひまわりサービス送迎車両)の見学 ・ボランティア活動をしているゲストティーチャーによるお話	0
3	・施設等でのボランティア活動体験や交流(オンライン含む)	2
計		2
総計		52

ウ 実施校

区	実施校名 (実施メニュー数)	実施校数 (実施メニュー数)
門 司 区	松ヶ江南小学校 (1) 大積小学校 (1) 萩ヶ丘小学校 (1) 緑丘中学校 (2)	4 (5)
小倉北区	寿山小学校 (4) 清水小学校 (3)	2 (7)

小倉南区	企救丘小学校 (1) 長尾小学校 (2) 田原小学校 (1)	3 (4)
若 松 区	—	0
八幡東区	皿倉小学校 (7) 槻田小学校 (2) 高見小学校 (3)	3 (12)
八幡西区	折尾西小学校 (1) 黒畑小学校 (1)	2 (2)
戸 畑 区	一枝小学校 (2) 中原小学校 (2)	2 (4)
計		16 (34)

エ 実施学年

学年		実施校数
小学校	3 年生	1
	4 年生	11
	5 年生	3
	6 年生	0
中学校	1 年生	1
	2 年生	0
	3 年生	0
計		16

2 ボランティア・市民活動ネットワーク事業

中間支援組織間の定期的な連絡会に参加し、ボランティア・市民活動の推進役として、情報を共有するとともに、それぞれの専門性や特色を理解し、役割分担と連携を図っています。

災害時に備えた被災者支援の取組では、災害時相互協力協定を締結している団体との連絡会議を開催したほか、区域での災害ボランティアセンター設置・運営訓練の開催や災害ボランティア登録者の拡大に向け SNS 等を活用した広報の強化を行いました。

(1) 市域に及ぶボランティア・市民活動団体ネットワークの構築

中間支援組織連絡会への参加

参加団体：北九州市障害福祉ボランティア協会、北九州市市民活動サポートセンター（市民文化スポーツ局市民活動推進課）、北九州市シルバー人材センター、北九州国際交流協会、八幡西生涯学習総合センター、北九州市社会福祉協議会（活動推進課）（以上 6 団体）

実施日	会場	内容
R6. 8. 21	ウェルとばた	・各団体自己紹介 ・情報交換

R7. 1. 15	コムシティ	・情報交換 ・ふくしまークビンゴ
-----------	-------	---

(2) 災害時に備えた被災者支援の取組

ア 災害時相互協力協定にかかる連絡会議

実施日	人員・会場	機関・団体	内容
R7. 3. 21	11 人 ウェルとばた (オンライン開催)	北九州市危機管理室・保健福祉局、北九州青年会議所、連合福岡・北九州地域協議会、福岡県北九州地域労働者福祉協議会、エフコープ生活協同組合、北九州青年経営者会議、ライオンズクラブ国際協会 337-A 地区	報告 ・災害ボランティアセンター設置・運営について ・各団体の取組状況(情報提供) ・次年度の災害ボランティア活動について ・意見交換

イ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練

実施日	人員・会場	内容
R6. 12. 1	73 人 北九州市立 年長者研修大学校 穴生学舎	講義 ・「災害時における行政の対応策についての基礎知識」 ・「近年の自然災害の特徴と発生状況」～能登半島地震の被災状況から～ ・「災害ボランティアセンターの機能と役割」 訓練 ・区サテライト設置・運営訓練 講師：北九州市危機管理室危機管理課 防災専門官 中島 典章 氏 講師：一般社団法人 九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児 氏

過去 5 年実績（職員数除く）

年度	R2	R3	R4	R5	R6
回数	1	1	2	1	1
延べ参加者数	26	37	41	42	34

ウ 災害ボランティア登録状況

男 性	女 性	無回答	計
287	142	0	429

過去 5 年実績

年度	R2	R3	R4	R5	R6
登録者数	308	325	341	392	429

3 地域福祉活動支援事業

市民が安心してボランティア活動ができるよう「ボランティア活動保険」の加入手続きと加入促進の啓発を行いました。

(1) ボランティア活動保険加入取扱い事業

取扱件数			加入者数
団体加入		個人加入	
グループ数	人 員	人 員	
612	18,096	93	18,189

過去5年実績

年度	R2	R3	R4	R5	R6
加入者数	19,497	17,075	18,320	18,479	18,189
グループ数	616	537	583	616	612

4 住民主体による生きがい・健康づくりの場推進事業

市民活動団体等が実施する生きがい・健康づくりの場の運営に対して、助成及び助言等の支援を行う「住民主体による生きがい・健康づくりの場推進事業」を実施しました。

(1) 助成にかかる審査

	申請数	助成対象	非対象
校(地)区社協のサロン	278	278	0
その他のサロン	190	190	0
計	468	468	0

過去4年実績

年度	R3	R4	R5	R6
助成団体数	305	369	410	468

(2) 助成額

活動区	助成団体数	当初助成額(円)	助成実績額(円)
門司区	24	533,300	516,550
小倉北区	102	2,268,700	2,208,609
小倉南区	126	3,118,500	3,107,300
若松区	43	646,800	646,800
八幡東区	42	930,900	911,300
八幡西区	85	1,562,700	1,538,900
戸畑区	46	902,300	870,100
計	468	9,963,200	9,799,559

5 ボランティア活動による若者参加支援事業の実施

誰もがボランティア活動を通じて地域や社会に参加することができるよう、若者の自立支援機関（若者サポートステーション）と連携し、社会に踏み出したいと考えている若者に対し、ボランティア活動への参加機会を提供しました。

活動の種類	参加回数	延べ参加人数
シルバーひまわりサービス 同乗ボランティア体験	3	3
イベント補助ボランティア	2	9
計	5	12

6 ボランティア・市民活動の広報・啓発事業

市民に、ボランティア活動への理解を深めてもらうため、講演活動等に取り組みました。併せて、北九州市社協だよりを活用し「企業の社会貢献活動」の紹介を行いました。

また、ボランティアコーディネーター間の情報交換や共有、スキルアップ等のため、ボランティアコーディネーター連絡会議を実施しました。

（１）講演活動

実施回（うち出前講演）	人員（うち出前講演）
15(11)	461(370)

（２）しごと・ボランティア合同説明会への参加

実施日	人員・会場	内容	ボランティア活動 登録・コーディネート件数
R7. 1. 29	17 人 西日本総合展示場	概ね 60 歳以上の方を対象 としたボランティア活動 などの社会参加の相談受 付	3 件

（３）市社協だよりでの「企業の社会貢献活動」の紹介

発行時期	紹 介 企 業
R6. 9	(株)ギラヴァンツ北九州
R7. 3	イオン九州(株)

(4) ボランティアコーディネーター連絡会

ボランティアコーディネーター業務の充実や各区の情報共有、スキルアップ等を図るため、ボランティアコーディネーター連絡会を実施しました。

実施日	人 員	主要議題
R6. 4. 18	13	・連絡事項、協議事項 ・区ボランティア・市民活動センターの取組について ・報告
R6. 5. 16	12	
R6. 7. 18	12	
R6. 9. 19	12	
R6. 11. 21	12	
R7. 1. 16	12	
R7. 3. 13	14	

7 ボランティア活動支援

市民や施設等からのボランティア相談を来所または電話で受け付け、双方のニーズに見合うボランティアコーディネートを行っています。市社協ボランティア・市民活動センターでは、平日夜間と土曜日の開所も行い、平日日中の来所が難しい人へも対応しています。

(1) ボランティア活動に関する相談件数

項目	希望 ボランティア		依頼 ボランティア		会議室・機材貸出		保険		保険請求		送迎申込		送迎相談 コーディネート	
	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話
件数	13	17	56	441	803	517	1,688	527	64	351	263	9,001	3,527	14,628
	245		497		1,320		2,195		415		9,264		18,155	

項目	おまかせサービス 腕自慢		収集・リサイクル		体験学習・養成講座		ボランティア 連絡協議会 業務		介護支援 ボランティア		その他		合計	
	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話
件数	56	167	1,173	114	72	262	338	409	136	532	1,381	1,159	9,659	28,231
	223		1,287		334		747		668		2,540		37,890	

(2) ボランティアコーディネーション

項目	外出支援	行事支援	文化・伝承 演劇等活動	施設活動	腕自慢	送迎	託児	その他	合計
件数	53	45	22	120	34	4,628	10	6	4,918
人員	145	262	118	188	45	8,079	17	12	8,866

◇ボランティア育成・啓発事業

1 在宅高齢者サービス事業

外出・移動手段の不便や困難を解決するシルバーひまわりサービス事業や、簡単な大工仕事や家具の移動等、自力では対応が困難な困りごとを解決する腕自慢おまかせサービス事業などボランティアによる在宅高齢者サービスを実施しています。

(1) シルバーひまわりサービス事業

公共交通機関を利用して外出することが困難な高齢者の、通院をはじめとする日常的な外出を支援し、在宅福祉の充実を図っています。

令和6年度は、新型コロナウイルスやインフルエンザ等感染対策として、体温等の体調確認やマスクの着用、手指消毒などを徹底して行い運行しました。

ア ボランティア登録者数

区分	登録者	一回以上活動者	未活動者	活動率 (%)
労働組合員	107	41	66	38.3
行政職員	167	84	83	50.3
企業・市民	387	274	113	70.8
社協職員	126	77	49	61.1
勤労者	175	81	94	46.3
合計	962	557	405	57.9

過去5年実績

年度	R2	R3	R4	R5	R6
ボランティア登録者数	889	878	901	939	962

イ 登録・利用状況

区 分	門 司	小倉北	小倉南	若 松	八幡東	八幡西	戸 畑	本 部	合 計
登録者数	76	102	203	117	72	163	88	-	821
うち新規	19	29	47	33	25	32	32	-	217
利用回数	423	672	1,090	658	526	635	450	174	4,628

※本部では土曜日の送迎を担当

ウ 目的別利用件数（1回の運行で複数の利用目的あり）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通院・お見舞い	257	253	250	252	213	261	290	257	255	208	195	255	2,946
福祉施設入所及び利用	4	3	6	3	2	3	1	3	5	2	4	1	37

買物・食事	166	167	150	154	126	151	159	164	153	118	126	154	1,788
理髪・入浴	10	10	13	7	8	11	12	8	13	4	9	4	109
観光・公共施設利用	74	59	64	55	65	58	67	66	66	45	55	66	740
合計	511	492	483	471	414	484	529	498	492	377	389	480	5,620

過去5年実績

年度	R2	R3	R4	R5	R6
利用件数	1,958	2,532	4,241	4,610	4,628

(2) 腕自慢おまかせサービス事業

家具の移動や電球交換など、生活上の小さな困りごとを解決することを目的に、平成7年度から本事業を実施しています。

活動内容別実施件数

内容	件数	内容	件数
大工(棚製作等)	1	清 掃	0
窓、戸等の修繕	10	電気系統修理	1
家具の移動等	8	水道系統修理	0
包丁、鋏とぎ	1	その他	5
除草、庭木剪定	3	合計	29

過去5年実績

年度	R2	R3	R4	R5	R6
実施件数	9	25	62	42	29

2 ボランティア啓発事業（ボランティアウィーク 2024）

令和6年度は、「ボランティアウィーク 2024」と称し、「学びと発信の場」を基本コンセプトに、「北九州市社会福祉大会」や「ウェルとばた秋まつり」と一体的に運営しました。様々な世代に向けて福祉に関する講座や日頃のボランティア活動の発表等の啓発イベントを実施するとともに実行委員として北九州市立大学、西南女学院大学の大学生に参画してもらい、世代を超えたつながりづくりを行いました。

オープニングイベントでは「もしもに備えるいつも～災害時トイレの困ったに備えよう～」をテーマに災害時の簡易・携帯トイレについて考える講話やワークショップを行い、好評を博しました。また、市社協職員による能登半島地域での災害支援活動報告や、新たに「ウェルとばた秋まつり」と合同で開催した活動支援バザーやミニステージ、クイズ・スタンプラリーのほか、ボランティアグループや関係団体の活動紹介体験コーナー、福祉車両展示・体験コーナーを開催しました。パネル展示及びスライド映像による活動紹介では21団体のボランティアグループ・関係団体が出展したほか、フードドライブでは309品の食品が集まり、各講座は延157名の方に参加いただきました。

(1) 実行委員会

実施日	人員・会場	内容
R6. 6. 19	19 人 ウエルとばた (リモート併用)	・正副委員長の選任について ・昨年度の振り返りと本年度の企画等について ・実行委員会の取組について
R6. 7. 24	12 人 ウエルとばた	・第1回 実行委員会の振り返り ・ボランティア活動紹介（パネル・映像）について ・ウエルとばた「秋まつり」との合同開催における各イベントについて
R6. 10. 4	19 人 ウエルとばた	・各講座と役割分担 ・パネル展示とスライドでの活動紹介 ・最終日の各イベント ・各チラシについて ・アンケートについて
R6. 12. 6	15 人 ウエルとばた	・今年度の振り返り ・次年度の開催に向けて

(2) 催事内容

実施日	人員・会場	内容
R6. 10. 22 ～26	616 人 ウエルとばた	1 ①オープニングイベント「もしものに備えるいつも～災害時トイレの困ったに備えよう～」 ②石川県珠洲市災害派遣報告 2 「ボランティア週間」(10月22日～10月26日)のイベント ①ボランティア・市民活動を紹介「パネル展示・スライド映像」 ②おもちゃの修理「おもちゃ病院」 ③食品を集める運動「フードドライブ」 ④中間支援組織や団体による各種の講座(別表) ⑤ミニステージ ⑥活動支援バザー ⑦クイズ・スタンプラリー ⑧活動紹介体験コーナー ⑨福祉車両展示・体験コーナー

別表 講座詳細

日時	講座名	参加人数
R6. 10. 22	オープニングイベント「もしもに備えるいつも～災害時トイレの困ったに備えよう～」	43
R6. 10. 23	多言語お話し会	11
R6. 10. 24	障がいがある人もない人も楽しいお菓子づくり	15
R6. 10. 25	水引でつくる花のブローチ	27
R6. 10. 26	これであなたもスマホマスター	19
	ニューススポーツ体験会	42
合計		157

(3) 過年度の実施内容及び推移

年度	内容	場所	参加人数
R2	・ ボランティアフォーラム、ボランティア週間、各種講座	戸畑	408
R3	・ ボランティアフォーラム、ボランティア週間、各種講座	戸畑	309
R4	・ ボランティア活動発表会、ボランティア週間、各種講座	戸畑	238
R5	・ ボランティア活動発表会、ボランティア週間、各種講座	戸畑	250
R6	・ ボランティア活動発表会、ボランティア週間、各種講座	戸畑	616

※R2 年度からは、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため開催方法を変更して実施。

◇介護支援ボランティア事業

高齢者の社会参加や地域貢献を積極的に奨励・支援し、これにより自身の健康増進や生きがいづくりにつなげ、地域と施設等との交流を通して施設等利用者の生活をより豊かにすることを目的として平成 25 年度から実施しています。

65 歳以上の北九州市民（介護保険第 1 号被保険者）が介護保険施設等においてボランティア活動を行った場合に、その活動実績をポイント化し、貯まったポイントは換金または北九州市 SDGs 未来基金に寄付することができます。令和 6 年度は、感染症等が落ちついてきたため、受入を再開する施設や活動回数が大幅に増加しました。また、活動回数の増加に伴い、活動者と施設のマッチングを積極的に取り組みました。

（１）受入施設登録状況（令和 7 年 3 月 31 日現在）

ア 登録施設 396 施設

イ 施設の種類（併設を含む）

施設の種類	施設数	施設の種類	施設数
介護老人福祉施設	47	通所リハビリテーション	23
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	20	認知症対応型通所介護	20
介護老人保健施設	24	短期入所生活介護	42
介護医療院、介護療養型医療施設	5	看護小規模多機能型居宅介護	1
特定施設入居者生活介護	34	地域密着型通所介護	39
認知症対応型共同生活介護	81	北九州市予防給付型通所サービス	16
小規模多機能型居宅介護	33	北九州市生活支援型通所サービス	9
通所介護	166	居宅介護支援事業者	3
		合計	563

（２）ボランティア登録状況（令和 7 年 3 月 31 日現在） (人)

	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85 歳～	合計
男	9	37	74	81	54	255
女	52	216	311	301	152	1,032
合計	61	253	385	382	206	1,287

（３）換金・寄付申請状況（対象者：令和 6 年 12 月 1 日現在の登録ボランティア）

	換金	寄付 (SDGs 未来基金)	換金・寄付 (SDGs 未来基金)	合計
人数	127	72	14	213
金額	437,200	154,800	換金 36,200 寄付 15,200	643,400

※ボランティア活動実施者数（1 回以上の活動者数）288 人（令和 6 年 1 月～12 月）
ボランティア活動延回数 5,915 回（令和 6 年 1 月～12 月）

(4) 内容別ボランティア活動状況（令和6年4月～令和7年3月）

活動の種類	延べ回数
①レクリエーション（趣味活動）等の補助	2,699
②芸能等の披露	481
③話し相手	665
④行事の手伝い	94
⑤食事介助の補助（お茶出し・配膳・下膳等）	411
⑥掃除・衣類整理の補助	337
⑦散歩・館内移動・送迎の補助	134
⑧その他施設職員と共に行う補助的な活動	657
合計	5,478

過去5年実績

年度	R2	R3	R4	R5	R6
ボランティア登録者数	2,067	2,005	1,967	1,909	1,287
延べ活動回数	5,035	3,122	3,941	5,288	5,478
換金・寄付額	634,200	249,200	346,600	564,200	634,400

◇ボランティア・市民活動者の研修・養成事業

前身が社会福祉ボランティア大学校である当事業では、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向け、孤独・孤立防止や助け合い活動をテーマに、福祉の視点から人材の養成・育成を目指した研修を実施し、延べ1,263人が研修を受講しました。

継続して重点的に取り組んだ「ふくしのまちづくり講座」では、各校(地)区社協、市・区社協協働で講座を企画し、地域の人材発掘や地域住民による小地域福祉活動の充実をはかりました。あわせて、講座をきっかけとして、新たな活動の担い手を養成しました。

新規の取組としては、「地域を支援するためのスキルアップ研修」において、地域を支援する役割を担う本会職員が、地域で出前講演や福祉教育プログラムなどの人材育成を行う際に必要となる知識を習得し、資質向上に努めました。

このほか、受講後の成果として、「ふくしのまちづくり講座」実施校(地)区の一年後の調査では、福祉協力員をはじめとした新たな活動の担い手が13名、協力施設職員5名、協力企業1社が地域福祉活動に加わることとなりました。「新たな社会問題に対応する講座」では受講をきっかけとして、31名の方が新たに子どもの支援や、見守り、居場所づくりの活動への意欲を高めました。

1 研修体系の区分別研修実施状況一覧

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
新たな社会問題に対応する講座	市民	2	1	2	49	10・11
ふくしのまちづくり講座	校(地)区住民	8	2	16	504	8～2
市民講演会	市民	1	1	1	85	11
計		11	—	19	638	—

※終活をテーマにした市民講演会は、市政だよりでの募集開始と同時に申し込みの電話が殺到しました。申し込み者のうち、83%は高齢女性で、超高齢社会で生じる喫緊の課題とニーズが顕在化しました。

(2) 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の育成

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
現任者 地域福祉活動専門研修	校(地)区社協の実務者	1	1	1	94	12
地域福祉活動指導者研修 「トップセミナー」	校(地)区社協役員	1	1	1	145	2

役員	校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修	校(地)区社協 新任役員	1	1	1	87	6
	まちづくりゼミナール	校(地)区社協・ま ちづくり協議会役 員、民生委員等	1	3	3	82	11～1
計			4	—	6	408	—

※「トップセミナー」及び「校(地)区社会福祉協議会新任役員研修」は、対面型と動画配信との併用実施。

(3) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成

研修名	受講者	開催 回数	開催 日数/回	延開催 日数	延参加 人数	開催月
福祉有償運送運転協力者研修	福祉有償運送実施 団体の運転協力者 を希望する者	3	2	6	83 うちセダ ン型18人	6・ 11・ 1～2
障害への理解を深め、はじめよう ボランティア入門講座	市民	1	1	1	26	9
災害ボランティア養成講座	市民	2	1	2	73	9
ボランティアグループ運営研修	ボランティア・ NPO 等で活動され ている方	1	1	1	14	11
計		7	—	10	196	—

(4) 地域を支援する社協職員の育成

研修名	受講者	開催 回数	開催 日数/回	延開催 日数	延参加 人数	開催月
地域を支援するためのスキル アップ研修	社協職員	1	1	1	21	7
計		1	—	1	21	—

2 調査・研究・広報

(1) 調査

名称	回数	日程
令和5年度「ふくしのまちづくり講座」実施校(地)区の調査	1	令和6年9月6日～11月5日

(2) 広報紙、パンフレット、事業報告の作成

資料名	掲載(部数)	発行日
研修レポート・講座案内等 (『北九州市社協だより』掲載)	2	令和6年7月1日・11月1日

「市民講演会」講座案内 (新聞掲載)	1 (WEB 版掲載)	令和 6 年 9 月 23 日～10 月 19 日
パンフレット(ボランティア研修案内)「やさしさの広がるまちづくり」	2,300	令和 6 年 5 月 29 日
令和 5 年度事業報告書	1 (HP 掲載)	令和 6 年 6 月 27 日

3 過年度の参加者推移

< 延べ研修参加人数 >

年度	開催回数	延開催日数	延参加人数
R2	53	74	2,174
R3	42	63	1,781
R4	39	57	1,853
R5	39	59	1,956
R6	23	36	1,263

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

年度	開催回数	延開催日数	延参加人数
R2	17	33	978
R3	17	33	916
R4	15	28	828
R5	18	33	994
R6	11	19	638

(2) 小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の人材育成

年度	開催回数	延開催日数	延参加人数
R2	22	24	826
R3	11	13	598
R4	11	13	738
R5	11	13	710
R6	4	6	408

(3) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成

年度	開催回数	延開催日数	延参加人数
R2	10	13	283
R3	10	13	217
R4	10	13	249
R5	7	10	216
R6	7	10	196

◇年長者研修大学校等運営事業

1 年長者研修大学校（周望学舎/S54 年設立・穴生学舎/H6 年設立）

年長者研修大学校は、高齢者の生きがい対策の一環として、増大かつ多様化する学習ニーズに応えるため、福祉と生涯学習の拠点として市内 2 ヲ所に設置されました。

令和 6 年度（第 4 期指定管理期間）においても、里山を考える会との連携を図りながら、北九州シニアネットワークアカデミー共同事業体として、高齢者の「生きがい・健康・仲間づくり」と、研修生及び修了生が主体的に地域活動を担ってもらえるよう、健康や福祉などの幅広い講座や事業を実施しました。

また、今年度は穴生学舎・穴生ドームの創立 30 周年を迎え、入学式での記念演奏会をはじめ、各種記念事業を実施しました。

（1）年間コースについて

周望学舎・穴生学舎に、それぞれ 15 コース、全 30 コースの年間コースを開設し、定員 1,050 名に対し、市内在住 60 歳以上の 880 名の研修生が入学しました。

年間コースは、各学舎で 1 日あたり 3 コースを開講し、1 講座 2 時間、1 日 2 講座（午前 10：00～12：00、午後 13：00～15：00）で、年間 37 回の講座や行事を実施し、地域活動者の育成を図りました。

① 入学者の状況

学舎	入学者数（人）			年齢等		
	男性	女性	計	最高齢者	最年少者	平均年齢
周望学舎	164	275	439	94 歳（男性）	60 歳（女性）	77.2 歳
穴生学舎	178	263	441	92 歳（男性）	60 歳（女性）	74.6 歳
合計	342	538	880			

② 応募状況（申込期間における次年度入学希望者）の推移

年度(入学年度)		R2 (R3)		R3 (R4)		R4 (R5)		R5 (R6)		R6 (R7)	
学舎		周望	穴生	周望	穴生	周望	穴生	周望	穴生	周望	穴生
新人 (人)	男性	39	31	23	22	23	23	26	31	31	35
	女性	71	53	35	40	60	36	53	60	45	62
	計	110	84	58	62	91	59	79	91	76	97
経験者 (人)	男性	138	125	157	139	142	134	144	142	171	161
	女性	233	159	252	191	215	188	234	215	270	244
	計	371	284	409	330	357	322	378	357	441	405
合計（人）		481	368	467	392	457	381	457	448	517	502
定員（人）		546	504	546	504	536	516	536	514	546	474

応募倍率（倍）	0.88	0.73	0.86	0.78	0.82	0.74	0.85	0.87	0.95	1.06
---------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

※令和2年度は、新型コロナにより前期休校のため後期のみの開校

③ 年間コース入学者数及び修了者数

周望学舎（人）				穴生学舎（人）			
コース名	定員	入学者	修了者	コース名	定員	入学者	修了者
ふるさとの文化	40	40	40	文化伝承	30	26	27
ヨガと脳トレエクササイズ	36	25	27	健康スポーツ	42	35	26
写真入門	32	13	13	音楽アクティビティ（★）	30	30	25
生活情報	40	39	38	歴史に学ぶ	36	21	24
健康づくりサポーター	40	30	30	健康づくりサポーター	42	42	42
花と野菜づくり	28	12	9	デジタル活用（★）	24	24	17
暮らしと環境	32	31	28	郷土のなりたち	36	27	28
体力増進	40	39	35	ストレッチと脳トレ	42	41	41
健幸ミュージック	30	30	30	絵画入門	24	24	23
脳の活性化とウェルネス	40	25	24	地域ふれあい	36	9	10
地域ふれあい	32	24	19	健康管理	42	41	39
健康管理	40	39	33	やさしい英会話	24	13	10
歴史に学ぶ	40	40	38	世界遺産と歴史	36	36	35
心と身体健康	40	40	34	心と身体健康	42	42	40
書道入門	26	12	12	シニアライフデザイン	30	30	25
合 計	536	439	410	合 計	516	441	412
修了率	93.4%			修了率	93.4%		

※（★）は、新設コース

※退学者は、就職、入院、転居等による。

（２）研修生等(利用者)の推移

年度		R2		R3		R4		R5		R6	
学舎		周望	穴生	周望	穴生	周望	穴生	周望	穴生	周望	穴生
年間 コース	コース数	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
	研修生数	5,152	4,261	10,807	8,209	15,820	12,710	14,839	12,653	14,040	13,757
研究 クラブ	団体数	4	7	4	7	4	7	5	7	4	7
	利用者数	595	1,138	977	1,403	1,228	1,644	1,729	1,727	1,675	1,778
同好会	団体数	5	0	5	0	6	0	5	0	5	0
	利用者数	613	0	1,076	0	1,606	0	1,369	0	1,322	0

(3) 研修等実施状況（施設利用状況）

① 周望学園

コース名等			在籍及び 申込者数	利用者数(延べ)			研修及び 活動回数
				男	女	計	
年間 コース	ふるさとの文化		40	704	698	1,402	37
	ヨガと脳トレエクササイズ		27	264	606	870	37
	写真入門		13	233	190	423	37
	生活情報		38	436	803	1,239	37
	健康づくりサポーター		30	379	641	1,020	37
	花と野菜づくり		9	45	287	332	37
	暮らしと環境		28	221	766	987	37
	体力増進		35	470	728	1,198	37
	健幸ミュージック		30	338	683	1,021	37
	脳の活性化とウェルネス		24	137	658	795	37
	地域ふれあい		19	239	411	650	37
	健康管理		33	571	582	1,153	37
	歴史に学ぶ		38	646	665	1,311	37
	心と身体 の健康		34	412	809	1,221	37
	書道入門		12	225	193	418	37
	小 計		410	5,320	8,720	14,040	555
	式典（入学式・修了式）		—	279	459	738	2
	（式典含む）小計		410	5,599	9,179	14,778	557
短期 講座	パ ソ コ ン	6月：スマホ&タブレット入門	18	21	33	54	3
		8月：ワードで作品づくり	10	30	28	58	6
		10,11月：スマホ&タブレットでSNS	9	14	12	26	3
		1月：エクセル活用	7	24	17	41	6
	カ レ シ ニ ア	7月：シニアサマーカレッジ（西南女学院）	39	102	177	279	8
		9月：シニアカレッジ（東筑紫学園）	18	12	115	127	8
	そ の 他	7月：年長者と孫のつどい	23	10	13	23	1
		1月：一日体験講座	22	3	19	22	1
		1月：デジカメ Windows 画像編集	12	21	15	36	3
		1月：見学週間	—	6	20	26	1
	小 計		158	243	449	692	40
研 究 ク ラ ブ	写真研究クラブ		18	257	78	335	35
	書道研究クラブ		21	195	208	403	22
	花と野菜づくり研究クラブ		21	119	382	501	79
	健幸ミュージック研究クラブ		23	240	196	436	23
	小 計		83	811	864	1,675	159
同 好 会	卓球同好会		18	68	103	171	17
	風船バレー同好会		22	199	211	410	25

コース名等			在籍及び 申込者数	利用者数(延べ)			研修及び 活動回数
				男	女	計	
同 好 会	社交ダンス同好会		11	69	114	183	20
	バドミントン同好会		16	106	123	229	22
	ユニカール同好会		24	140	189	329	22
	小　計		91	582	740	1,322	106
ボ ラ ン テ ィ ア グ ル ー プ	登 録 ボ ラ ン テ ィ ア	園芸ボランティア	20	182	270	452	32
		周望学舎健康ボランティア会	44	207	209	416	45
		パソコンボランティア	7	56	30	86	23
		周望学舎花の会	25	168	157	325	19
		グリーンボランティア	15	122	119	241	21
		小　計	111	735	785	1,520	140
	シルバーバンク		—	671	898	1,569	326
	同窓会（夢工房運営含）		—	479	414	893	225
	小　計		111	1,885	2,097	3,982	691
そ の 他	委員会・諸会議		—	338	281	619	23
	実習生受入		—	0	3	3	2
	視察・見学受入		—	0	0	0	0
	ボランティア受入		—	3	0	3	3
	穴生学舎交流講座		—	16	27	43	2
	大学祭一般記帳者		—	71	71	142	2
	その他		—	327	469	796	33
	小　計		—	755	851	1,606	65
合　計			853	9,875	14,180	24,055	1,618

② 穴生学舎

コース名等		在籍及び 申込者数	利用者数(延べ)			研修及び 活動回数
			男	女	計	
年間 コース	文化伝承	27	261	639	900	37
	健康スポーツ	26	397	537	934	37
	歴史に学ぶ	24	430	291	721	37
	健康づくりサポーター	42	576	811	1,387	37
	デジタル活用	17	402	312	714	37
	郷土のなりたち	28	452	441	893	37
	ストレッチと脳トレ	41	389	946	1,335	37
	地域ふれあい	10	100	226	326	37
	健康管理	39	478	769	1,247	37
	世界遺産と歴史	35	397	717	1,114	36
	心と身体の健康	40	471	880	1,351	36
	シニアライフデザイン	25	396	417	813	36
	音楽アクティビティ	25	368	450	818	37

コース名等			在籍及び 申込者数	利用者数（延べ）			研修及び 活動回数
				男	女	計	
年間 コース	絵画入門		23	371	438	809	37
	やさしい英会話		10	205	190	395	37
	小計		412	5,693	8,064	13,757	552
	式典（入学式・修了式）		—	200	223	423	2
	（式典含む）小計		—	5,893	8,287	14,180	554
短期 講座	カ レ ッ ジ	7月：シニアサマーカレッジ（九州共立大）	—	—	—	—	0
		2月：シニアカレッジ（九州国際大）	20	53	42	95	5
	そ の 他	8月：シニアと孫の夏休み	36	22	14	36	1
		8月：夏の一身体験講座	18	4	14	18	2
		1月：一身体験講座	16	4	12	16	1
		1月：見学週間	—	14	38	52	13
		2月：公開講座（土曜日開催）	52	18	34	52	1
		2月：ボランティア講座	19	8	11	19	1
		小計	—	123	165	288	24
研究 クラブ	書道	書道	9	—	—	237	38
		書藝	4	—	—	147	39
	写真	友学会	15	—	—	365	41
	絵画	絆	18	—	—	355	26
		ひばり	9	—	—	221	27
	英会話	Simmons	6	—	—	194	42
		Enjoy English 2024	11	—	—	259	42
	小計		72	—	—	1,778	255
ボ ラ ン テ ィ ア グ ル ー プ	図書ボランティア		23	—	—	707	162
	穴生 紙すきの会		3	—	—	79	26
	穴生学舎 やまびこの会		23	—	—	135	14
	穴生学舎 ケナフの会		14	—	—	142	33
	芸能グループ オーロラ		18	—	—	294	48
	健福会		5	—	—	72	16
	折紙ボランティア おりづる		2	—	—	28	12
	傾聴ボランティア リスの会		29	—	—	68	9
	読みかたりボランティア 音愛の会		10	—	—	247	39
	朗読ボランティア 草笛の会		7	—	—	193	31
	傾聴ボランティア 糸でんわ		11	—	—	4	2
	コーラスボランティアコールフラワーズ		10	—	—	207	28
	N.C.V（ニュー・コミュニティ・ボランティア）		19	—	—	25	4
	花ボラ・園芸クラブ		13	—	—	687	101
	その他（研修生による活動等）		—	—	—	335	5
	小計		187	—	—	3,223	530

コース名等		在籍及び 申込者数	利用者数（延べ）			研修及び 活動回数
			男	女	計	
地域開放事業	図書室の開館	—	—	—	1,874	158
	ロビーコンサート	—	—	—	493	4
	ロビー朗読会	—	—	—	314	24
	みんなの保健室（スポ大、大学祭含）	—	34	38	72	11
	その他の会議室利用等（自治会等）	—	635	831	1,466	2
	ロビー飲食販売（作業所等）※大学祭除く	—	—	—	—	238
	小 計	—	—	—	4,219	437
その他	委員会・諸会議	—	294	129	423	20
	実習生受入	—	0	3	3	1
	視察・見学受入（中国・山東省高齢者大学）	—	4	8	12	1
	ボランティア受入（大学祭）	—	0	11	11	2
	周望学舎交流講座	—	16	28	44	2
	大学祭一般来場者（研修生除く）	—	4,203	6,305	10,508	2
	ふれあい交流会（ボランティア連絡協議会）	—	22	32	54	1
	その他（一般来館者等）	—	—	—	1,555	55
	小 計	—	—	—	12,187	84
合 計		885	—	—	35,875	1,904

（４）合同入学式・修了式 穴生学舎創立 30 周年事業として演奏会を併催

行事名	実施日・会場等	周望学舎	穴生学舎	計
入学式	4 月 12 日（金） 北九州芸術劇場	381 人	218 人	599 人
修了式	3 月 6 日（木） 北九州芸術劇場	357 人	205 人	562 人

（５）三大大行事

行事名	周望学舎	穴生学舎
スポーツ大会	日程：6 月 28 日（金） 会場：総合体育館 参加者数：420 人	日程：6 月 7 日（金） 会場：穴生ドーム 参加者数：507 人（ボラ、一般含）
大学祭	日程：10 月 12 日（土）、13 日（日） 会場：周望学舎 延べ来場者数：1,157 人 内容：学習成果発表、作品展示、演芸大会、ニュースポーツ大会、出店等	日程：10 月 19 日（土）、20 日（日） 会場：穴生学舎 延べ一般来場者数：9,554 人 テーマ：人の和と笑顔で築こう！穴生学舎 内容：学習成果発表、ステージ発表「あのおマルシェ」開催等
修学旅行	日程：12 月 2 日（月）～13 日（金） 行先：佐賀県・長崎県 参加者数：273 人（3 便、1 泊 2 日）	日程：12 月 3 日（火）～13 日（金） 行先：熊本県・大分県 参加者数：207 人（3 便、1 泊 2 日）

(6) 修了記念作品展等

行事名	周望学舎	穴生学舎
修了記念作品展	日程：1月29日～2月4日 会場：北九州芸術劇場市民ギャラリー 延べ来場者数：218人 内容：実技コース(書道・写真・健康ミュージック)の作品展(73点)、募集PR	日程：2月3日～2月9日 会場：黒崎市民ギャラリー 延べ来場者数：387人 内容：実技コース(絵画・デジ活)、クラブの作品展示(139点)、一般コース成果発表、募集PR
学習成果発表	日程：1月9日～3月1日 会場：周望学舎中央スロープ 内容：全15コースの学習成果パネル	日程：1月9日～3月10日 会場：穴生学舎ロビー、壁面 内容：全15コースの学習成果パネル・作品展示
修了記念誌	修了記念アルバム「香梅」 470冊発行	修了記念誌「薫風」 500冊発行

(7) 年間コースにおける地域・ボランティア活動の実践

学舎	実施回数	人員	内容
周望学舎	106回	268人	通年で研修生が当番制で、通学路上での交通安全指導と子どもの見守り活動
	17回	409人	地域清掃活動・福祉施設訪問
穴生学舎	30回	814人	全15コースで年2回実施(研究クラブ等も参加) 学舎・ドーム内及び周辺地域の清掃活動

(8) 研修生による会議

会議名	周望学舎	穴生学舎
コース委員長会議、三人行事実行委員会、新聞編集委員会等	23回 619人	13回 311人

(9) 大学等との連携

事業名	周望学舎	穴生学舎
シニアカレッジ (大学活用型郊外授業)	日程：7月26日～9月27日 会場：西南女学院大学 テーマ：「向上の夏・西南の夏」 参加者数：39人(延べ279人)	日程：2月25日～3月25日 会場：九州国際大学 テーマ：「グローバルを考える」 参加者数：20人(延べ95人)
	日程：9月4日～10月23日 会場：東筑紫学園 テーマ：「元気にシニアライフを愉しもう！2024」 参加者数：18人(延べ127人)	
年間コース 大学との連携講座	コース：健康管理、体力増進 心と身体の健康 実施回数：6回 参加者数：177人 内容：学生との交流、小倉まち歩き 協力：北九州市立大学、九州栄養福祉大学、九州歯科大学、九州共立大学	コース：健康スポーツ 実施回数：2回 参加者数：54人 内容：アダプテッドスポーツ 協力：北九州市立大学

年間コース 実習生受入 (相談援助実習)	コース：地域ふれあい、健康づくり サポーター 実施回数：2回 受入人数：3人（北九州市立大学、 西南女学院大学）	コース：シニアライフデザイン 実施回数：1回 受入人数：3人（北九州市立大 学、福岡県立大学、西南女学院 大学）
年間コース 園児との交流	—	コース：文化伝承 実施回数・人数：1回、46人 協力：緑ヶ丘第二幼稚園

(10) 広報・啓発の強化

項目	周望学舎	穴生学舎
学舎新聞（A4版8p）	1月発行（2,000部）	2月発行（5,000部）
かわら版（A4版4p）	9月発行（500部）	—
学舎案内（研修生用）	4月（600部）	4月（600部）
入学案内（募集要項） ①パンフ ②ポスター	12月 ①7,000部 ②110部	12月 ①13,000部 ②400部
北九州市政だより掲載	12回（募集等）	10回（募集、事業周知）
市・区社協だより等 広報紙掲載	2回（事業周知）	5回（募集、事業周知）
「見学週間」 （オープンキャンパス）	1月15日～31日	1月15日～31日
ホームページ	通年（事業周知等）	

(11) その他の取組

項目	周望学舎	穴生学舎
消防訓練等	① 9月27日（職員、研修生107人） ② 12月～2月（全15コース383人）シェイクアウト訓練 ③ 3月5日（職員16人） ④ 3月13日（職員、健康ボランティア16人）救急救命講習	⑤ 10月2日 （職員、研修生91人） ⑥ 3月12日（職員19人） 消火器取扱訓練
利用者アンケート （北九州市主催）	研修生を対象に施設利用アンケート調査を実施 実施期間：1月～3月 回収数：周望262人、穴生313人	
修了生アンケート （前々年度（R4） 修了生追跡調査）	学舎修了後の「地域活動やボランティア活動についてのアンケート」 実施期間：5月下旬～6月28日 対象者数：R4年度修了生783人（周望413人、穴生370人） 調査方法：記述式、WEB式 回収数（回収率）：周望239人（57.9%）、穴生218人（56.8%）	
研修アンケート	全15コース	—

2 地域活動情報支援センター

地域活動情報支援センターは、高齢者の社会貢献意欲を高めるため、各種講座の開催をはじめ、研修生等にボランティアや地域活動へつなぐための情報提供等を行うことを目的に、平成 21 年度に穴生学舎に設置されました。

ボランティアコーディネーターを 1 名配置し、市・区社協ボランティア・市民活動センターや夢追塾、いきがい活動ステーション等と連携し、高齢者の社会参加や生きがいを支援するための需給調整等を行いました。

また、周望学舎では、職員がコーディネーターを兼務して、学舎で学んだ成果を地域社会で活かせるよう、研究クラブや同好会、ボランティアグループ等の自主活動を支援することにより社会における役割意識の高揚に努めました。

(1) ボランティア活動等の状況

項目	コーディネート件数	活動回数	計
周望学舎	20 件	865 回	3,861 人
穴生学舎	77 件	1,023 回	5,233 人
計	97 件	1,888 回	9,094 人

(2) 穴生学舎

① ボランティア講座の開催（共催：八幡西区事務所）

実施日	人員	内 容
2 月 28 日	19 人	テーマ①：住み慣れた地域で、私たちにできること 講師：池田校区社会福祉協議会 会 長 酒井 正治 陣原地区社会福祉協議会 副会長 後藤 芳子 テーマ②：ニュースポーツ体験 講師：穴生ドーム体育指導員 福田 浩弓

② 穴生学舎ボランティアグループ連絡協議会の活動支援

穴生学舎ボランティアグループ連絡協議会は、穴生学舎修了生等により結成されたボランティアグループ間の相互連携と活性化を目的に発足され、ボランティア活動を通じた高齢者の社会参加や生きがいを促進を行いました。

(ア) ボランティアグループ登録状況

年度	R2	R3	R4	R5	R6
グループ数（団体）	19	16	15	15	14
会員数（人）	285	250	246	232	187

(イ) 活動状況

行事名	実施回数	内 容
定例会、臨時会議等	3 回	活動調整、情報交換、相互交流 等
ふれあい交流会	1 回	日程：10 月 25 日（金） 場所：穴生学舎 3 階大会議室 参加者数：54 人 内容：北九州市の高齢者施策 北九州市しあわせ長寿プラン～幸福長寿モデル都市を目指して～ 北九州市 保健福祉局 長寿社会対策課

(ウ) 表彰制度の活用

表彰種別	被表彰団体
北九州市社会福祉協議会会長表彰	周望学舎花の会（周望学舎）
福岡県社会福祉協議会会長表彰	コーラスボランティアコールフラワーズ（穴生学舎）
福岡県知事表彰	コーラスボランティアコールフラワーズ（穴生学舎） 傾聴ボランティア リスの会（穴生学舎） 周望学舎園芸ボランティア（周望学舎）

(エ) 活動助成金申請の支援

助成種別	助成団体名	助成金額
芳賀文化財団	健福会(穴生学舎)	100,000 円

(3) 周望学舎

周望学舎修了生の組織として、開校翌年に結成されたボランティア団体「周望学舎シルバーク」は平成4年4月に組織された「周望学舎同窓会」があります。

シルバーク及び同窓会は、会員の高齢化が進んでいるものの、高齢者の技術等を活かして地域活動や異世代との交流など多彩なボランティア活動を続けています。

また、周望学舎修了生により結成されたボランティアグループが、年間コース講座補助や周望学舎の環境整備等の活動を行っています。

① シルバークの概要

項目	主な活動状況
サークル数	14 サークル
会員数	預託会員：65 人、賛助会員：190 人、会員合計 255 人
活動回数・活動人員	活動回数：326 回、活動人員：延べ 1,569 人
活動内容	学舎、施設、小学校等での各種ボランティア活動、収集活動
年間コースでの出前講座	周望学舎 15 コース、穴生学舎 1 コース
広報活動	会報紙「シルバークだより」の発行（1 回、800 部）

② 周望学舎同窓会会員数の推移

年度	R2	R3	R4	R5	R6
会員数（人）	642	644	485	372	419

③ ボランティアグループ登録状況

年度	R2	R3	R4	R5	R6
グループ数（団体）	5	5	5	5	5
会員数（人）	119	105	112	97	111

3 穴生ドーム

令和2年から令和5年10月までワクチン接種会場として休館していたため、5年ぶりに年間を通じての通常開館となりました。また、10月には累計利用者数が300万人を超えました。ドーム指導員による研修生に対する体育授業をはじめ、テニス教室やグラウンドゴルフ大会など、高齢者をはじめとした一般市民を対象に、健康増進や生活習慣病予防に資する事業を実施しました。

(1) 穴生ドーム利用状況 開館日数：353日

区分		利用人員（人）	1日平均（人）	比率（％）
個人利用	ゲートボール	0	0	0
	グラウンドゴルフ	756	2	0.8
	テニス	19,583	55	21.2
	ニュースポーツ	180	1	0.2
専用利用	ゲートボール	395	1	0.4
	グラウンドゴルフ	3,546	10	3.8
	テニス	14,420	41	15.6
	ニュースポーツ	3,154	9	3.4
	その他	14,942	42	16.2
周望・穴生学舎体育授業（通年）		2,094	6	2.3
会議室・観覧席・その他の利用		10,173	29	11.0
自主事業		2,026	6	2.2
屋外コート		177	1	0.2
ウォーキング		10,969	31	11.9
イベント（大学祭）		9,819	28	10.6
合 計		92,234	261	100

(2) 年間利用者数の推移

年度	R2	R3	R4	R5	R6
年間利用者数（人）	37,497	10,436	3,752	25,471	92,234

※R5は、11月13日～3月31日

(3) 種目別利用者人員

項目	年間利用人員	1日平均（人）	比率（％）
ゲートボール	395	1	0.4
グラウンドゴルフ	4,302	12	4.7
テニス	34,003	97	36.9
ニュースポーツ	3,334	9	3.6
イベント（大学祭：2日間）	9,819	28	10.6
屋外・体育授業・その他（通年）	40,381	114	43.8
合 計	92,234	261	100

(4) 種目別利用者数の推移

項目	R2	R3	R4	R5	R6
ゲートボール	136	68	0	182	395
グラウンドゴルフ	4,203	184	0	1,932	4,302
テニス	25,072	1,398	690	12,738	34,003
ニュースポーツ	2,327	111	0	1,122	3,334
イベント(大学祭)	2,374	7,153	0	7,400	9,819
屋外・体育授業・その他(通年)	3,385	1,522	3,062	2,007	40,381
合 計	37,497	10,436	3,752	25,471	92,234

※R2～R4は、ワクチン接種会場で休館。R5は、11月13日～3月31日の開館。

(5) 中学校職場体験の受け入れ

実施日	人員・会場	内容
R7.2.3～ R7.2.4 (2日間)	2人 (延べ4人) 穴生ドーム	折尾中学校1年生の職場体験実習として、穴生ドームの利用者対応や年間コース研修生への体育授業を体験してもらった。

(6) 広報・啓発の強化

項目	内容
北九州市政だより掲載	6回(利用案内、事業周知)
ホームページ	通年(事業周知等)

(7) その他の取組

実施日	人員	内容
R7.2.7～R7.2.24	300人	穴生ドーム利用者アンケート調査(北九州市主催)

0千円(555千円) I-2

◇年長者研修大学校人権研修事業

年長者研修大学校周望学舎・穴生学舎の年間コースで、人権問題の一層の啓発を図るため、研修生に対して人権に関する講座を実施し、人権意識を高め差別や偏見をなくす取組を行いました。また、本事業は補助金交付終了にともない、他の事業費を活用し実施しました。

1 実施状況

学舎	実施回数	受講人員	主なテーマ
周望学舎	16回	391人	・フードバンク活動について ・障害のある人にもやさしいまちづくり ・「ひきこもり」について考える

穴生学舎	15 回	412 人	・人権トークとコンサート ・すべての人にアクセシビリティ
合 計	31 回	803 人	

2 実施状況の推移

年度	R2	R3	R4	R5	R6
実施回数	35 回	42 回	40 回	39 回	31 回
周望学舎	15 回	22 回	23 回	20 回	16 回
穴生学舎	20 回	20 回	17 回	19 回	15 回
受講人員	552 人	960 人	962 人	953 人	803 人
周望学舎	256 人	544 人	620 人	535 人	391 人
穴生学舎	296 人	416 人	342 人	418 人	412 人

358 千円（358 千円）Ⅲ-4

◇高齢者の健康づくり事業

高齢期を迎える市民を対象に、ニュースポーツ等を通じた生活習慣病の予防と運動の習慣化を目的として、健康寿命の延伸と介護予防につながる事業を行いました。

1 出張！ニュースポーツ教室

（1）実施状況

実施日	回数	人員	内容
R6. 9. 2～ R7. 2. 28	18	275 人	体育指導員が 10 名以上の市内の地域団体等に出前講演方式により、ニュースポーツの指導を行い、普及・啓発を図る。

（2）参加者数の推移

年度	R2	R3	R4	R5	R6
参加者数（人）	171	186	459	370	275

2 ドームフェスタ

実施日	人員・会場	内容
R6. 10. 19・20 (2 日間)	延べ 9,819 人 穴生ドーム	ウォーキング教室、ニュースポーツ体験、チャレンジコーナー等

3 穴生ドームテニス教室

実施日	人員	内容	講師
R6. 12. 2～ R6. 12. 23 (全 4 回)	30 人 延べ 104 人	市内在住・在勤 18 歳以上の 初心者向け教室	北九州ウエストサイド テニスクラブ
R7. 1. 8～ R7. 3. 19 (全 6 回)	30 人 (延べ 160 人)	市内在住・在勤 18 歳以上の 中級者向けテニス教室	

4 穴生ドーム杯グラウンド・ゴルフ交歓大会

実施日	人員	内容
R6. 12. 13	259 人	参加者の親睦・交流およびグラウンドゴルフの普及 を図る。

5 穴生ドーム杯テニス交歓大会

実施日	人員	内容
R7. 3. 7	54 人	65 歳以上のテニス愛好者の親睦を図る。

6 健康ウォーキング事業

実施日	人員	内容
R6. 4. 1～ R7. 3. 31	10, 969 人	穴生ドーム 2 階及び外周をウォーキングスペースと して無料開放

7 ニュースポーツ用具の貸出

実施日	貸出件数	内容
R6. 4. 1～ R7. 3. 31	69 件	地域団体等へのニュースポーツ用具等の無料貸出

◇門司区事務所運営事業

1 区事務所運営事業

(1) 正副会長会議

実施日	人員・会場	内容
R6. 4. 24	3 人 門司区役所	・運営委員会について
R7. 1. 22	1 人 門司区役所	・運営委員会について ・校区社協会長、担当者会議について

(2) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R6. 5. 21	24 人 門司区役所 大会議室	・令和 5 年度事業報告について ・令和 5 年度収支決算について
R7. 2. 7	22 人 門司生涯学習 センター	・令和 7 年度事業計画について ・令和 7 年度収支予算について

(3) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R7. 2. 20	33 人 門司生涯学習 センター	・ふれあいネットワーク活動及び地域共生社会 実現のための活動助成金 ・令和 6 年度活動報告及び令和 7 年度助成金 申請について ・住民主体による生きがい・健康づくりの場 (サロン) 推進事業について ・歳末たすけあい募金袋について ・各種案内

(4) 区社協だよりの発行

年 2 回 36,000 部/回 年間 72,000 部発行

(5) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
32	278,000	216	216,000	248	494,000

(6) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	3	320,000
篤志寄付金	7	47,538
計	10	367,538

(7) 無料又は低額診療券発行 新規7件（継続分は掖済会病院にて対応）

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 653 枚

(2) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
門司区老人クラブ連合会	180,000
門司区シルバーふるさとまつり区実行委員会	事業中止
門司区婦人会連絡協議会	65,000
門司区ボランティア連絡協議会	40,000
門司区民生委員児童委員協議会	98,000
門司区子ども会連合会	21,000
門司区青少年育成協議会連合会	50,000
門司警察署少年補導員連絡会	36,000
計（8団体）	490,000

(3) 校区社協活動費助成

校区数	助成金額
21 校区	844,000

(4) 火災被害世帯への見舞品等の支給 2 件

3 研修事業

(1) 福祉協力員研修

区分	実施日	人員・会場	内容
合同	R6. 6. 5	20 人 松ヶ江北市民センター	・ 社会福祉協議会（社協）と地域福祉 ・ 北九州市の地域福祉の現状と課題 ・ ふれあいネットワーク活動とは ・ 個人情報の取り扱い
合同	R6. 6. 15	43 人 萩ヶ丘市民センター	・ 社会福祉協議会（社協）と地域福祉 ・ ふれあいネットワーク活動とは ・ 動画視聴（探梅 春、遠からじ）

合同	R6. 7. 23	16 人 門司区役所 大会議室	・ 社会福祉協議会（社協）と地域福祉 ・ ふれあいネットワーク活動とは ・ 動画視聴（探梅 春、遠からじ） ・ 個人情報の取り扱い ・ 校区社協活動についての情報交換会
----	-----------	--------------------	--

4 その他事業

（１）ボランティア連絡協議会への支援

- ・ 総会、役員会（書面開催）、門司港レトロ地区他清掃活動 3 回

（２）フードドライブの実施

- ・ 受付 39 件
- ・ フードドライブレポートの発行 7 回
- ・ 認定 NPO 法人フードバンク北九州ライフアゲイン及びいのちをつなぐネットワークコーナーへ寄贈

◇小倉北区事務所運営事業

1 区事務所運営事業

(1) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R6. 6. 7	31 人 男女共同参画センター ムーブ	・令和 5 年度事業報告について ・令和 5 年度決算報告について ・賛助会員の加入・会費納入のお願い ・エンディングノートの活用について
R7. 2. 25	30 人 男女共同参画センター ムーブ	・令和 7 年度事業計画について ・令和 7 年度収支予算について ・運営委員の推薦及び委嘱等について

(2) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R6. 6. 26	41 人 小倉北区役所 ※ふれあいネットワーク 実務担当者会議と合 同開催	・令和 6 年度 校(地)区社会福祉協議会活動 助成事業について ・小地域福祉活動計画の策定について ・校(地)区社協活動状況自己点検シートについて ・オリジナルポロシャツ等の販売について ・研修・事業等について ・情報提供、その他
R7. 2. 12	39 人 男女共同参画センター ムーブ ※ふれあいネットワーク 実務担当者会議と合 同開催	・ふれあいネットワーク活動及び地域共生社会 実現のための活動助成金にかかる令和 6 年度 実績報告及び令和 7 年度申請について ・住民主体による生きがい・健康づくりの場(サ ロン) 推進事業について ・校(地)区社協活動状況自己点検シートについて ・校(地)区社協活動を充実させるための取組 ・情報提供、その他

(3) 区社協だよりの発行

年 4 回 70,000 部/回 年間 280,000 部発行

(4) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
39	582,000	202	531,000	241	1,113,000

(5) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	6	184,000
篤志寄付金	35	2,312,639
計	41	2,496,639

(6) 無料又は低額診療券発行 0 件

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 1,500 枚

(2) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
小倉北区身体障害者福祉協会	250,000
小倉北区子ども会育成協議会	200,000
小倉北区青少年育成会協議会	90,000
小倉北警察署少年補導員連絡会	40,000
北九州市母子寡婦福祉会小倉北地区	120,000
小倉北区民生委員児童委員協議会	340,000
小倉南北区遺族連合会	40,000
小さな親切運動北九州市本部	40,000
小倉北保護区保護司会	65,000
小倉北区子どもまつり実行委員会	180,000
小倉北区 25 校(地)区自治連合会	255,510
計 (35 団体)	1,620,510

(3) 地域たすけあい見舞金配分事業

団体名	助成金額
小倉北区 25 校(地)区自治連合会	214,460
計 (25 団体)	214,460

3 研修事業

(1) 福祉協力員研修

区分	実施日	人数・会場	内容
現任	R6. 11. 7	43 人 男女共同参画センター ムーブ	気づく力を高めよう！～地域が『丸ごと』つながり互いに支え合う、地域共生社会を目指して～

4 収益事業

内容	金額
自動販売機設置 (2 台)	69,252

5 その他事業

(1) 小倉北区子どもまつり協賛事業

令和6年4月21日(日) 西日本総合展示場新館 来場者 5,000 名

福祉体験コーナー (手話・点字・車いす等)、遊びのコーナー、かき氷販売

◇小倉南区事務所運営事業

1 区事務所運営事業

(1) 正副会長会議

実施日	人員・会場	内容
R7. 3. 13	9 人 小倉南生涯学習センター	・令和 7 年度 事業計画について ・令和 7 年度 収支予算について

(2) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R6. 6. 14	28 人 小倉南生涯学習センター	・第 3 期運営委員会の委員について ・令和 5 年度 事業報告について ・令和 5 年度 決算について
R7. 3. 28	書面審議	・令和 7 年度 事業計画について ・令和 7 年度 収支予算について

(3) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R6. 10. 16	25 名 小倉南生涯 学習センター	・令和 7 年度の事業見通しについて ・『ふくしのまちづくり講座』の実施について ・『現任福祉協力員研修』の実施について ・『新任福祉協力員研修』について ・『地域福祉活動専門研修』の実施について ・令和 6 年度『ボランティアフェスタ』について ・赤い羽根共同募金について ・『まつりみなみチャリティービアガーデン』の収支概要について ・『チャリティーゴルフ大会』の中止について
R7. 2. 6	23 名 小倉南生涯 学習センター	・ふれあいネットワーク活動推進事業の報告・申請について ・住民主体による生きがい健康づくりの場（サロン）推進事業について ・『トップセミナー』について ・ランドセルカバーの贈呈について ・ボランティア活動保険の加入受付について ・令和 7 年度 主な年間行事等について

(4) 区社協だよりの発行

年 4 回 57,500 部/回 年間 230,000 部発行

(5) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
16	354,000	29	103,000	45	457,000

(6) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	6	137,400
篤志寄付金	12	511,382
物品	0	0
計	18	648,782

(7) 年長者・障害者作品展

開催期間	会場	出展数	出展者数
R6.9.3～R7.9.7	小倉南生涯学習 センター 2階展示コーナー	201 作品	6 団体 9 施設

(8) 無料又は低額診療券発行 1 件

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 2,071 枚

(2) 障害児(者)ふれあいバスハイク
当面、実施見合わせ

(3) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
小倉南区子どもまつり	200,000
まつりみなみ	100,000
社会を明るくする運動協賛費	50,000
年長者福祉大会	30,000
小倉南保護区保護司会	20,000
北九州市保育所連盟小倉南支部	20,000
小倉南区老人クラブ連合会	20,000
計 (3 団体、4 事業)	440,000

(4) 災害見舞金事業

内容	件数	金額
災害被災世帯への見舞金	9	45,000

3 研修事業

(1) 福祉協力員研修

区分	実施日	人員・会場	内容
新任	R6. 5. 21	9 名 東朽網市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
新任	R6. 5. 25	14 名 朽網市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「新ちゃんがないた！」の鑑賞と解説
新任	R6. 5. 29	7 名 長行市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
新任	R6. 6. 1	9 名 守恒市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
新任	R6. 6. 1	19 名 沼市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
新任	R6. 6. 4	10 名 田原市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
新任	R6. 6. 12	6 名 両谷市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
新任	R6. 6. 15	16 名 両谷市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「コスモスの咲く日」の鑑賞と解説
新任	R6. 6. 15	10 名 高蔵市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
新任	R6. 6. 21	38 名 横代市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
新任	R6. 6. 22	24 名 長尾市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
新任	R6. 6. 24	10 名 湯川市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
新任	R6. 6. 27	18 名 貫市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
新任	R6. 6. 28	14 名 東谷市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説

新任	R6. 7. 26	48 名 若園市民センター	・人権啓発映画「ボクとガク あの夏のものがたり」の鑑賞と解説 ・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について
現任	R6. 10. 25	20 名 曾根東市民センター	・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
合同	R6. 10. 29	63 名 葛原市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・葛原校区小地域福祉活動計画について ・人権啓発映画「新ちゃんがないた!」の鑑賞と解説
現任	R6. 11. 30	56 名 小倉南生涯学習センター	講話及びロールプレイ 「住みやすい地域社会のために ～地域共生社会について考えよう～」 講師：臨床ソーシャルワーク研究所 (CSWRI) 代表 衣笠 一茂 氏
合同	R7. 3. 21	19 名 志井市民センター	・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説 ・志井校区福祉活動計画と校区の活動について

(2) ふくしのまちづくり講座

実施日	人員・会場	内容
R6. 12. 14	46 名 東朽網市民センター	講演 「幸せな人間関係と相手に圧迫感を持たせないソフトな見守りのコツ」 講師：西南女学院大学 保健福祉学部 教授 臨床心理士 中島 俊介 氏
R7. 1. 25	39 名 コミュニティハウス こくら三礼庵	講演 「災害への備え～あなたの意識をアップデートしましょうながら防災のススメ～」 講師：北九州市立大学 地域共生教育センター 副センター長 地域創生学群 准教授 村江 史年 氏

4 収益事業

実施日	事業内容	会場等	金額
R6. 9. 1	「まつりみなみ」 チャリティービアガーデン	陸上自衛隊 小倉駐屯地内	330, 431
参加者不足 のため中止	秋季チャリティーゴルフ大会	小倉カンツリー 倶楽部	—
会場の都合 により中止	小倉南区ボランティアフェスタ ～歳末たすけあい運動～	小倉南生涯学習 センター	—
(通年)	飲料自動販売機設置(1 台)	葛原保育園	58, 421

◇若松区事務所運営事業

1 区事務所運営事業

(1) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R6. 5. 27	22 人 若松区役所	・運営委員の交代について ・運営委員会副会長の選任について ・令和 5 年度事業報告書について ・令和 5 年度収支決算書について
R7. 2. 25	23 人 若松区役所	・令和 7 年度 事業計画について ・令和 7 年度 収支予算について

(2) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R6. 6. 28	26 人 若松区役所	・賛助会員の募集について ・令和 6 年度ふれあいネットワーク事業等事業推進状況資料について ・令和 7 年度ふれあいネットワーク事業等の助成金予想申請額について 等
R6. 2. 12	22 人 若松区役所	・賛助会員の普及に係る事務費交付について ・ふれあいネットワーク等活動推進事業など各種報告、申請について ・各種研修事業のご案内や報告について 等

(3) 区社協だよりの発行

年 3 回 25,000 部/回 年間 75,000 部発行

(4) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
11	360,000	58	115,000	69	475,000

(5) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	6	182,000
篤志寄付金	9	839,113
計	15	1,021,113

(6) 年長者・障害者作品展

開催期間	会場	出展数	来場者数
R6. 11. 11～R6. 11. 13	若松市民会館	343	419

(7) 無料又は低額診療券発行 0 件

(8) 年長者いこいの家への運営助成金 16 カ所 (各 10,000 円)

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 765 枚

(2) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
母子寡婦福祉会	50,000
公民館連合会	50,000
ボランティア連絡協議会	30,000
市民防災会連合会	50,000
警察署少年補導員	25,000
社会を明るくする運動	50,000
青少年育成協議会	50,000
若松区老人クラブ連合会	100,000
計(8 団体)	405,000

(3) その他事業

生活困窮世帯への助成 3 世帯 (各 5,000 円)

3 収益事業

内容	金額
競艇場自販機設置 (5 台)	1,581,849

4 研修事業

福祉協力員研修

区分	実施日	人員・会場	内容
新任	R6. 7. 10	45 人 若松市民会館	・地域福祉活動について ・校(地)区社協の活動について ・先輩から実際の活動について ・困った時の相談先について
現任 (地域の未来づくり講座)	R6. 10. 28	45 人 クレカ若松	・活動者確保について事例から考える 事例紹介、パネルディスカッション

5 その他事業

(1) ボランティア連絡協議会への支援

- ・各種会議の開催 (代表者会 5 回、総会)
- ・「福祉とボランティアの集い」の開催
- ・ボランティアウィークでの広報スライド上映

(2) フードドライブの実施

- ・実施時期 通年
- ・寄付先 若松区役所のちをつなぐネットワークコーナー

◇八幡東区事務所運営事業

1 区事務所運営事業

(1) 正副会長会議

実施日	人員・会場	内容
R6. 5. 15	5 人 八幡東区社会福祉センター	・ 令和 5 年度事業報告・決算について
R7. 2. 12	5 人 八幡東区社会福祉センター	・ 令和 7 年度事業計画・予算について

(2) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R6. 5. 23	14 人 八幡東区社会福祉センター	・ 令和 5 年度事業報告・決算について
R7. 2. 19	14 人 八幡東区社会福祉センター	・ 令和 7 年度事業計画・予算について

(3) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R6. 7. 19	35 人 八幡東区社会福祉センター	・ 令和 6 年度実施事業について ・ 令和 5 年度八幡東区社会福祉協議会事業報告について 等
R7. 2. 14	36 人 八幡東区社会福祉センター	・ 令和 7 年度 ふれあいネットワーク活動推進事業助成金申請について ・ 令和 7 年度八幡東区社会福祉協議会事業計画について 等

(4) 区社協だよりの発行

年 4 回 24,000 部/回 年間 96,000 部発行

(5) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
26	314,000	9	30,000	35	344,000

(6) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	4	105,000
篤志寄付金	10	1,102,733
計	14	1,207,733

(7) 無料又は低額診療券発行 2 件

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 520 枚

(2) 年長者作品展

開催期間	会場	出品者数	来場者数
R6.9.9 ~ R6.9.13	八幡東区社会 福祉センター	320	476

(3) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
八幡保護区保護司会	100,000
八幡東区老人クラブ連合会	90,000
八幡東区民生委員児童委員協議会	70,000
母子寡婦福祉会八幡東地区	50,000
八幡東子ども会連絡協議会	100,000
八幡東区青少年育成会協議会	100,000
「小さな親切」運動八幡東区支部	30,000
八幡東防犯協会連合会	50,000
八幡東区子どもまつり実行委員会	50,000
皿倉山健康ウォーク実行委員会	100,000
市民センター (11 館)	546,412
八幡東区ボランティア連絡協議会	40,000
2001 ヒビッキー	40,000
I0V 国際交流折り紙ボランティア	8,500
みずかみかずよ顕彰会	45,000
ファビュラス北九州	45,000
計 (26 団体)	1,464,912

(4) 女性応援事業「ひるまの星」

実施日	人員・会場	内容
毎月第3月曜日	延べ181人 八幡東区社会福祉センター	ひきこもり・生きづらさを感じている女性の居場所サロンを12回開催
R6.7.16	12人 八幡東区社会福祉センター	「健康講座」 戸畑リハビリテーション病院 理学療法士 志田 啓太郎 氏
R7.1.14	16人 八幡東区社会福祉センター	「やっと気づいた△でもいいという生き方」 上野 正 氏

(5) 男性のためのふれあい料理教室

実施日	人員・会場	内容
R7.3.15	17人 高見市民センター	料理を通じて、男性の地域活動のきっかけとする講座を食生活改善推進員協議会、槻田第二地区社協と共同で実施

3 研修事業

(1) 福祉協力員研修

区分	実施日	人員・会場	内容
合同	R6.8.19	35人 八幡東区社会福祉センター	・「社会福祉協議会の事業について」 ・「いのちをつなぐネットワーク・地域包括支援センターについて」 ・「ふれあいネットワーク活動について」
合同	R6.10.23	17人 八幡東区社会福祉センター	・権利擁護セミナー

4 収益事業

内容	金額	備考
健康増進機器設置	386,100	延べ利用者 4,970 人
自動販売機設置	53,500	

5 その他事業

(1) ボランティア連絡協議会への支援

- ・定例会の開催10回、イベント参加3回、主催事業の実施支援3回

(2) ボランティアまっりの開催

実施日	人員・会場	内容
R6. 8. 2～8. 3	延べ 733 人 (内協力ボランティア 67 人) 八幡東区社会福祉センター	第 19 回八幡東区ボランティアまつり 手話 de ヨガ・聴覚障害者との交流・点訳、手話体験やおりがみ体験など、福祉教育とボランティア団体との交流・啓発を目的としたイベントを実施

(3) ボランティア団体、企業等との連携事業

実施日	人員・会場	内容
R6. 8. 7	24 人 大蔵市民センター	大蔵ウェルクラブでの福祉教育 対象：児童 3 人 ① 車いす体験 ② 高齢者疑似体験 ③ 認知症に付いて（読み聞かせ）
R6. 4. 28	4,500 人 (内協力ボランティア 20 人) 八幡中央区商店街	第 75 回八幡東区子どもまつり参画 (わなげ・パターゴルフ・読み聞かせ)
R6. 12. 17	100 人 (内協力ボランティア 27 人) 八幡東区社会福祉センター	「クリスマスプチマルシェ」事業 ＊ボランティア団体による賑わいづくり
R7. 2. 10	34 人 八幡東区社会福祉センター	健康増進講座「食品添加物って安全なの？」 北九州市立大学国際環境工学部 環境生命工学科 教授 森田 洋 氏
R7. 3. 3	100 人 (内協力ボランティア 20 人) 八幡東区社会福祉センター	「おひなマルシェ」事業 ＊ボランティア団体による賑わいづくり

◇八幡西区事務所運営事業

1 区事務所運営事業

(1) 正副会長会議

実施日	人員・会場	内容
R6. 5. 14	3 人 八幡西区役所	・令和 5 年度事業報告について ・令和 5 年度収支決算について

(2) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R6. 5. 23	11 人 八幡西区役所	・令和 5 年度事業報告について ・令和 5 年度収支決算について
R7. 2. 25	14 人 八幡西区役所	・令和 7 年度事業計画について ・令和 7 年度収支予算について

(3) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R6. 4. 25	35 人 八幡西区役所	・令和 6 年度八幡西区事務所事務分掌について ・令和 6 年度北九州市社会福祉協議会会長表彰について 他
R6. 6. 27	34 人 八幡西区役所	・令和 6 年度 FNW 助成金決定及び交付について ・ココロ・ツナグ作品展について ・ふれあいネットワーク活動 30 周年に関する主な取組について 他
R6. 9. 27	33 人 八幡西区役所	・賛助会員及び赤い羽根共同募金への協力について ・小地域福祉活動計画策定状況について 他
R7. 1. 16	33 人 八幡西区役所	・令和 6 年度報告及び令和 7 年度申請について ・校(地)区社協活動状況自己点検シートについて 他

(4) 区社協だよりの発行

年 4 回 70,000 部/回 年間 280,000 部発行

(5) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
98	1,020,000	1,566	1,867,000	1,664	2,887,000

(6) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	25	518,100
篤志寄付金	17	667,288
計	42	1,185,388

(7) 年長者・障害者作品展（ココロ・ツナグ・作品展）

開催期間	会場	出展数	来場者数
R6.9.9～9.14	北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー	190	850
R6.9.16～9.29	イオンタウン黒崎 タウンホール	31（受賞作品）	－

(8) 無料又は低額診療券発行 0 件

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 1,864 枚

(2) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
八幡西区シニアクラブ連合会	70,000
八幡西区青少年育成会協議会	12,500
八幡西地区学校警察連絡協議会	25,000
八幡西子ども会育成連絡協議会	170,000
北九州市母子寡婦福祉会八幡西地区	50,000
八幡西区愛の献血推進協議会	10,000
北九州市八幡西区遺族連合会	18,000
八幡保護区保護司会	100,000
八幡西区子どもまつり実行委員会	110,000
計（9 団体）	565,500

3 収益事業

内容	金額
オリジナルポロシャツ・ ジャンパーの販売	18,240

4 研修事業

(1) 福祉協力員研修

区分	実施日	人員・会場	内容
新任	R6. 6. 21	40 人 八幡西生涯 学習センター	「社会福祉活動の要 ふれあいネットワーク活動」
			「福祉協力員としての心がまえ」 陣原地区社協 会長 吉野 ヤス子 氏
現任	R6. 11. 12	41 人 八幡西生涯 学習センター	「わたしたち福祉協力員 ～ひとりじゃないと感じられるまちへ～」 北九州市立大学 地域創生学群 准教授 坂本 毅啓 氏

5 その他事業

(1) ボランティア連絡協議会への支援

- ・総会の開催 1 回、役員会の開催 6 回、ボランティア講座 2 回、バス研修 1 回

◇戸畑区事務所運営事業

1 区事務所運営事業

(1) 正副会長会議

実施日	人員・会場	内容
R6. 5. 23	10 人 戸畑区役所	・第 1 回戸畑区社会福祉協議会運営委員会の議案について
R7. 2. 6	9 人 戸畑区役所	・第 2 回戸畑区社会福祉協議会運営委員会の議案について

(2) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R6. 6. 6	25 人 戸畑区役所	・運営委員会委員の交代による新委員の委嘱について ・令和 5 年度事業報告について ・令和 5 年度収支決算について
R7. 2. 13	20 人 戸畑区役所	・令和 7 年度事業計画（案）について ・令和 7 年度収支予算（案）について

(3) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R6. 4. 25	17 人 戸畑区役所	・戸畑区事務所職員紹介 ・令和 6 年度賛助会員加入のお願いについて ・校(地)区社協の活動報告 他
R6. 7. 18	20 人 戸畑区役所	・令和 6 年度新任福祉協力員等研修について ・ふくしの出前講演について ・新任役員研修の報告 他
R6. 9. 19	20 人 戸畑区役所	・実習生の紹介・活動発表 ・赤い羽根共同募金 物品購入について ・地域歳末事業助成金申請書等の提出について ・現任福祉協力員研修について ・令和 6 年度北九州市社会福祉大会のご案内 他
R6. 11. 20	18 人 戸畑区役所	・自己点検シートの作成について ・研修「ふくしマークビンゴについて」 ・ふくしのまちづくり講座について 他

R7. 2. 20	26 人 戸畑区役所	・ふれあいネットワーク活動助成金 令和 6 年度報告書兼令和 7 年度申請書の提出について ・住民主体による生きがい・健康づくりの場推進事業（サロン）について ・令和 7 年度ボランティア活動保険等について 他
-----------	---------------	---

(4) 区社協だよりの発行

年 2 回 18,000 部/回 年間 36,000 部発行

(5) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
3	50,000	153	167,000	156	217,000

(6) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	0	0
篤志寄付金	13	294,789
計	13	294,789

(7) 無料又は低額診療券発行 1 件

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 456 枚

(2) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
戸畑区老人クラブ連合会	54,000
戸畑区子ども会連合会	64,000
戸畑区社会を明るくする運動推進委員会	50,000
戸畑区青少年育成会協議会	21,000
北九州市母子寡婦福祉会戸畑地区	57,000
戸畑保護区保護司会	21,000
年長者いこいの家運営委員会(14 団体)	140,000
計 (20 団体)	407,000

(3) 校(地)区社協活動助成金

校(地)区数	助成金額
14 校(地)区	780,000

3 研修事業

(1) 福祉協力員研修

区分	実施日	人数・会場	内容
新任	R6. 9. 27	19 人 戸畑区役所	「社協について学ぼう ふれあいネットワーク活動」
現任	R6. 11. 27	27 人 戸畑区役所	1 部「認知症について知ろう」 2 部「地域包括支援センターの役割について」

4 収益事業

内 容	金 額
駐車場賃借料	518,130
自動販売機設置（2 台）	13,688

5 その他事業

(1) 区事務所運営事業

- ・とばた菖蒲まつり 2024 福祉バザー出展

(2) ボランティア連絡協議会への支援

- ・定例役員会の開催 7 回 参加者 47 人
- ・総会 参加者 40 人

◇常設委員会

1 表彰審査委員会

実施日	人員・会場	内容
R5. 7. 28	4 人 ウエルとばた	1 被表彰候補者の審査・答申について

2 民間社会福祉施設整備資金貸付審査委員会：申請 0 件のため開催なし

3 民間社会福祉事業従事者共済事業運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R6. 12. 17	11 人 ウエルとばた	1 委員長の選任について 2 令和 5 年度事業報告について 3 令和 7 年度事業計画（案）について

4 総合企画委員会

実施日	人員・会場	内容
R6. 7. 30	11 人 ウエルとばた	1 北九州市地域福祉活動第六次計画の点検・評価について (1) 令和 5 年度（3 年次）北九州市社会福祉協議会事業報告について (2) 第六次計画の推進状況及び目標達成に向けた今後の取組について 2 北九州市社会福祉協議会 中期経営計画について 3 その他 (1) 寄附や賛助会員への賛同及び周知について (2) 各種 SNS の紹介について (3) 北九州市社会福祉協議会のボランティア活動について
R7. 2. 17	12 人 ウエルとばた	1 北九州市地域福祉活動第六次計画を踏まえた取組について (1) 令和 7 年度（5 年次）の取組について ① 令和 7 年度 北九州市社会福祉協議会事業計画（案）について ② 他団体からの取組について 2 北九州市社会福祉協議会 中期経営計画について 3 北九州市地域福祉活動計画第 7 次計画策定に向けた令和 7 年度北九州市社会福祉協議会 総合企画委員会の取組について

5 生活福祉資金調査委員会：申請 0 件のため開催なし

6 権利擁護・市民後見センター 運用委員会

実施日	人員・会場	内容
R6. 4. 17	8 人 オンライン	・令和 5 年度 事業実施状況について ・令和 6 年度 会計監査について（会計監査員選出）
R6. 10. 16	7 人 オンライン	・令和 6 年度 上半期事業実施状況について ・法人後見事業 受任案件進捗状況について
R6. 11. 20	6 人 オンライン	・法人後見事業 受任検討
R7. 2. 19	8 人 オンライン	・北九州市社会貢献型市民後見人養成研修修了者 フォローアップ研修について ・令和 7 年度 事業計画について ・令和 7 年度 運用委員会日程について ・法人後見事業 受任案件について ・運用委員会の臨時開催について ・支援員の新規採用年齢の引上げについて
計 4 回		法人後見受任審査人数 2 人 内訳 ・認知症高齢者1人(後見1人、保佐0人、補助0人) ・知的障害者1人(後見1人、保佐0人、補助0人) ・精神障害者0人(後見0人、保佐0人、補助0人)

7 ボランティア・市民活動センター運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R6. 6. 28	13 人 ウェルとばた	・令和 6 年度の運営委員会の取組について ・令和 5 年度事業報告及び令和 6 年度事業計画について ・令和 7 年度事業方針策定にかかわる意思聴取について
R7. 3. 4	13 人 オンライン 併用 ウェルとばた	・今年度の主要事業について (1) ボランティアウィーク 2024 について (2) 小・中学生向け「ふくしの出前授業」実施状況について (3) 令和 6 年度第 1～3 四半期報告について ・令和 7 年度事業計画(案)について ・「シルバーひまわりサービス」利用料の改定(案)について ・「北九州市社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター等要綱」の廃止について

8 北九州シニアネットワークアカデミー運営・改善委員会

実施日	人員・会場	内容
R6. 8. 26	7 人 穴生学舎	・ 第 4 期指定管理における運営状況について ・ 令和 5 年度事業報告及び収支決算 ・ 令和 6 年度事業の進捗状況 ・ 第 5 期指定管理について ・ 穴生学舎改修工事について
R7. 2. 18	6 人 穴生学舎	・ 指定管理者の指定について ・ 第 4 期指定管理における運営状況について ・ 第 5 期指定管理における取組について ・ 令和 6 年度年長者研修大学校合同修了式について